

帳票システム構築支援 uCosminexus ^{イーユーアール} EUR

uCosminexus EUR 概説

概説書

3020-7-531-40

対象製品

適用 OS : Windows 7 , Windows Vista , Windows XP

P-26D2-5684 uCosminexus EUR : イーユーアール Designer 08-70

P-26D2-5784 uCosminexus EUR : イーユーアール Developer ¹ ² 08-70

P-26D2-5384 uCosminexus EUR : イーユーアール Viewer 08-70

適用 OS : Windows Server 2003 , Windows Server 2008

P-24D2-5784 uCosminexus EUR : イーユーアール Print Service ² 08-70

P-24D2-5984 uCosminexus EUR : イーユーアール Print Service Enterprise ² 08-70

P-F24D2-57843 uCosminexus EUR : イーユーアール Print Service - Cipher option 08-20

R-1521D-18 uCosminexus EUR : イーユーアール Print Manager 08-70

R-1521D-28 uCosminexus EUR : イーユーアール Print Manager - Report Server 08-70

適用 OS : HP-UX 11i V2(IPF) , HP-UX 11i V3(IPF)

P-1JD2-5181 uCosminexus EUR : イーユーアール Print Service 08-70

P-1JD2-5381 uCosminexus EUR : イーユーアール Print Service Enterprise 08-70

P-F1JD2-51813 uCosminexus EUR : イーユーアール Print Service - Cipher option 08-20

R-1921D-18 uCosminexus EUR : イーユーアール Print Manager 08-70

R-1921D-28 uCosminexus EUR : イーユーアール Print Manager - Report Server 08-70

適用 OS : AIX 5L V5.3 , AIX V6.1 , AIX V7.1

P-1MD2-5181 uCosminexus EUR : イーユーアール Print Service 08-70

P-1MD2-5381 uCosminexus EUR : イーユーアール Print Service Enterprise 08-70

R-1M21D-18 uCosminexus EUR : イーユーアール Print Manager 08-70

R-1M21D-28 uCosminexus EUR : イーユーアール Print Manager - Report Server 08-70

適用 OS : AIX 5L V5.3 , AIX V6.1

P-F1MD2-51813 uCosminexus EUR : イーユーアール Print Service - Cipher option 08-20

適用 OS : Red Hat Enterprise Linux 5 (AMD/Intel 64) , Red Hat Enterprise Linux 5 (x86) , Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform (AMD/Intel 64) , Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform (x86) , Red Hat Enterprise Linux AS 4 (AMD64 & Intel EM64T) , Red Hat Enterprise Linux AS 4 (x86) , Red Hat Enterprise Linux ES 4 (AMD64 & Intel EM64T) , Red Hat Enterprise Linux ES 4 (x86)

P-9SD2-5181 uCosminexus EUR : イーユーアール Print Service 08-70

P-9SD2-5381 uCosminexus EUR : イーユーアール Print Service Enterprise 08-70

P-F9SD2-51813 uCosminexus EUR : イーユーアール Print Service - Cipher option 08-20

R-1S21D-18 uCosminexus EUR : イーユーアール Print Manager 08-70

R-1S21D-28 uCosminexus EUR : イーユーアール Print Manager - Report Server 08-70

注 1

EUR Developer は、EUR 帳票作成機能 (EUR Form 帳票) も提供します。稼働する環境を次に示します。

- ・ Windows Vista
- ・ Windows XP

注 2

次に示す製品を同梱しています。

- ・ P-2463-2354 DABroker

これらの製品は、ISO9001 および TickIT の認証を受けた品質マネジメントシステムで開発されました。

輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

商標類

Acrobat は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。

ActiveX は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Adobe, および Reader は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

AIX は、米国およびその他の国における International Business Machines Corporation の商標です。

AIX 5L は、米国およびその他の国における International Business Machines Corporation の商標です。

AMD は、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。

BSAFE は、EMC Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

ESC/P は、セイコーエプソン(株)の商標です。

GIF は、米国 CompuServe Inc. が開発したフォーマットの名称です。

HP-UX は、Hewlett-Packard Company のオペレーティングシステムの名称です。

Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Itanium は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国 及びその他の国における登録商標または商標です。

JavaScript は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国 及びその他の国における登録商標または商標です。

JSP は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国 及びその他の国における登録商標または商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

LIPSIII は、キヤノン(株)が開発した言語仕様です。

Microsoft および Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft および MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft および Visual Basic は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft および Visual C++ は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft .NET は、お客様、情報、システムおよびデバイスを繋ぐソフトウェアです。

Microsoft Excel は、米国 Microsoft Corporation の商品名称です。

Microsoft Office Excel は、米国 Microsoft Corporation の商品名称です。

Microsoft Office Word は、米国 Microsoft Corporation の商品名称です。

Microsoft SQL Server は、米国 Microsoft Corporation の商品名称です。

Microsoft Word は、米国 Microsoft Corporation の商品名称です。

ODBC は、米国 Microsoft Corporation が提唱するデータベースアクセス機構です。

OLE は、米国 Microsoft Corporation が開発したソフトウェア名称です。

ORACLE は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国 及びその他の国における登録商標または商標です。

Oracle は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国 及びその他の国における登録商標または商標です。

Oracle 及び Oracle 10g は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国 及びその他の国における登録商標または商標です。

Oracle 及び Oracle9i は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国 及びその他の国における登録商標または商標です。

Oracle 及び Oracle Database 11g は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国 及びその他の国における登録商標または商標です。

PostScript は、米国 Adobe Systems, Inc. が開発した言語仕様です。

QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

Red Hat は、米国およびその他の国で Red Hat, Inc. の登録商標もしくは商標です。

RSA は、EMC Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Sun は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国 及びその他の国における登録商標または商標です。

Sun Microsystems は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国 及びその他の国における登録商標または商標です。

UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

紙の番人は、日立公共システムエンジニアリング株式会社の登録商標です。

中ゴシック BBB は、株式会社モリサワとアドビシステムズ社が共同開発したフォントで承認外の複製は禁止されており、それらの書体名は株式会社モリサワの商標です。

リュウミン L-KL は、株式会社モリサワとアドビシステムズ社が共同開発したフォントで承認外の複製は禁止されており、それらの書体名は株式会社モリサワの商標です。

プログラムプロダクト「P-F24D2-57843, P-F1JD2-51813, P-F1MD2-51813 および P-F9SD2-51813」は、EMC Corporation の RSA BSAFE(R) ソフトウェアを搭載しています。

マイクロソフト製品のスクリーンショットの使用について

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

マイクロソフト製品の表記について

このマニュアルでは、マイクロソフト製品の名称を次のように表記しています。

製品名称	表記
ActiveX(R)	ActiveX
Microsoft(R) Excel Version 2002 Microsoft(R) Office Excel 2003 Microsoft(R) Office Excel 2007 Microsoft(R) Office Excel 2010	Excel

製品名称	表記		
Microsoft(R) SQL Server 2000 Microsoft(R) SQL Server 2005 Microsoft(R) SQL Server 2008 Microsoft(R) SQL Server 2008 R2	SQL Server		
Microsoft(R) Visual Basic(R) .NET 2003 Microsoft(R) Visual Basic(R) 2005 SP1 Microsoft(R) Visual Basic(R) 2008	Visual Basic		
Microsoft(R) Visual Basic(R) Scripting Edition	VBScript		
Microsoft(R) Visual C++(R) 2005 SP1 Microsoft(R) Visual C++(R) 2008	Visual C++		
Microsoft(R) Visual C# 2005 SP1 Microsoft(R) Visual C# 2008	Visual C#		
Microsoft(R) Windows(R) 7 Professional Microsoft(R) Windows(R) 7 Enterprise Microsoft(R) Windows(R) 7 Ultimate	Windows 7	Windows	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard Edition Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise Edition	Windows Server 2003		Windows Server 2003
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard Edition Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise Edition	Windows Server 2003 R2	Windows Server 2003	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard x64 Edition Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise x64 Edition	Windows Server 2003 R2 x64		
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard x64 Edition Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise x64 Edition	Windows Server 2003 x64		
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard without Hyper-V™ Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise without Hyper-V™	Windows Server 2008	Windows Server 2008	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Standard Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Enterprise Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Datacenter	Windows Server 2008 R2		
Microsoft(R) Windows Vista(R) Business Microsoft(R) Windows Vista(R) Enterprise Microsoft(R) Windows Vista(R) Ultimate	Windows Vista		
Microsoft(R) Windows(R) XP Professional Operating System Microsoft(R) Windows(R) XP Home Edition Operating System	Windows XP		

製品名称	表記
Microsoft(R) Word Version 2002 Microsoft(R) Office Word 2003 Microsoft(R) Office Word 2007 Microsoft(R) Office Word 2010	Word

発行

2011年7月 3020-7-531-40

著作権

All Rights Reserved. Copyright (C) 2008, 2011, Hitachi, Ltd.

変更内容

変更内容 (3020-7-531-40)

uCosminexus EUR Designer 08-70

uCosminexus EUR Developer 08-70

追加・変更内容	変更箇所
グリッド間隔，繰り返し間隔，および文字ピッチを指定するときに，LPI または CPI 単位での指定ができるようになりました。	1.1.4(2)，1.2.1(1)
アイテムやグリッドなどの位置・サイズを指定するときに，小数点以下第 2 位まで指定できるようになりました。	
Word 2010 形式，Excel 2010 形式の Word/Excel 文書を変換できるようになりました。	

uCosminexus EUR Viewer 08-70

追加・変更内容	変更箇所
バージョン 08-70 の EUR Designer で設計した帳票を出力できるようになりました。	1.2.3(1)

uCosminexus EUR Developer 08-70

uCosminexus EUR Print Service 08-70

uCosminexus EUR Print Service Enterprise 08-70

追加・変更内容	変更箇所
適用 OS に AIX V7.1 が追加されました。 (uCosminexus EUR Print Service，uCosminexus EUR Print Service Enterprise のみ)	1.1.3(3)，1.2.4(1)， 1.2.5(1)
Excel 形式ファイルを Excel 2010 で表示，編集できるようになりました。 (uCosminexus EUR Print Service Enterprise のみ)	1.1.2(4)，1.1.4(9)， 1.2.5(1)，3.3
文書情報設定ファイルのキーワード TITILE に書式を設定することで， EURPS_MAX_SPOOL_PAGES を設定した場合に印刷ジョブ名の連番の表示形式を変更できるようになりました。	1.2.4(1)，1.2.5(1)

uCosminexus EUR Print Manager 08-70

uCosminexus EUR Print Manager - Report Server 08-70

追加・変更内容	変更箇所
指定したページ数で印刷データを分割できるようになりました。	1.2.6(1)，3.2.4
入力データ中のキーワードで印刷データを仕分けて，別々の印刷先に出力できるようになりました。	
適用 OS に AIX V7.1 が追加されました。	1.1.3(4)，1.2.6(1)
蓄積ファイルの蓄積期限日を日数で指定できるようになりました。	

追加・変更内容	変更箇所
ダウンロードパッケージ（CAB形式ファイル）でのインストールの場合、EUR Print Manager - Client Print ActiveX または EUR Print Manager - Client Preview ActiveX を標準ユーザ権限でインストールできるようになりました。	

単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

はじめに

このマニュアルは、次に示すプログラムプロダクトの概要および使い方について説明したものです。

EUR シリーズ

- uCosminexus EUR：イーユーアール Designer
- uCosminexus EUR：イーユーアール Developer
- uCosminexus EUR：イーユーアール Viewer
- uCosminexus EUR：イーユーアール Print Service
- uCosminexus EUR：イーユーアール Print Service Enterprise
- uCosminexus EUR：イーユーアール Print Service - Cipher option
- uCosminexus EUR：イーユーアール Print Manager
- uCosminexus EUR：イーユーアール Print Manager - Report Server

以降、「EUR：イーユーアール」を「EUR」と表記します。

対象読者

このマニュアルは、uCosminexus EUR (End - User Reporting： ”イーユーアール” と読みます) とはどのような製品であるか、どんなことができるのか、uCosminexus EUR を使用する利点はどのようなものかを知りたい方を対象にしています。

このマニュアルの GUI の説明で使用する記号

このマニュアルでは、次に示す記号を使用して GUI を説明しています。

記 号	意 味
< >	文字キーを表します。
< > + < >	+ の前のキーを押したまま、後ろのキーを押すことを表します。
[]	メニュー項目、ダイアログ名、ダイアログのボタンを表します。
[] - []	メニュー項目を連続して選択することを表します。 (例) [ファイル] - [開く] [ファイル]メニューから [開く]メニューを選択することを表します。

目次

1	概要	1
1.1	EUR とは	2
1.1.1	製品体系	3
1.1.2	システム構成	4
1.1.3	適用 OS	14
1.1.4	関連プログラム	15
1.2	EUR バージョン 8 の新機能	21
1.2.1	EUR Designer の新機能	22
1.2.2	EUR Developer の新機能	24
1.2.3	EUR Viewer の新機能	24
1.2.4	EUR Print Service の新機能	25
1.2.5	EUR Print Service Enterprise の新機能	27
1.2.6	EUR Print Manager の新機能	31
2	EUR の特長	33
2.1	帳票を設計するときの特長	34
2.1.1	簡単に帳票を設計できる	34
2.1.2	既存の資産を活用できる	38
2.2	帳票をサーバ環境，またはクライアント環境で出力するときの特長	41
2.2.1	サーバで大量に印刷できる	41
2.2.2	サーバで PDF 形式ファイルを出力できる	43
2.2.3	帳票を Excel 形式ファイルに出力できる	44
2.2.4	帳票を配布してクライアント環境で印刷できる	46
2.3	Web 環境で帳票を出力するときの特長	48
2.3.1	PDF に出力した帳票を配布できる（PDF 形式ファイルの利用）	48
2.3.2	Web 環境で伝票を印刷できる（EUR 形式ファイルの利用）	49
2.3.3	Web 上で帳票をダウンロードして印刷できる	51
2.3.4	環境に応じた柔軟なサーバ構成にできる	53
2.3.5	帳票を検索したり再印刷したりできる	53
2.4	分散環境で帳票を出力するときの特長	56
2.4.1	帳票を分散した拠点に配布して印刷できる	56
2.5	帳票を海外拠点で活用するときの特長	58
2.5.1	英語，中国語，日本語の多国語に対応できる	58

3

EUR シリーズの製品紹介	61
3.1 開発環境	62
3.1.1 EUR Designer	62
3.1.2 EUR Developer	63
3.2 実行環境	64
3.2.1 EUR Viewer	64
3.2.2 EUR Print Service	64
3.2.3 EUR Print Service Enterprise	65
3.2.4 EUR Print Manager	65
3.3 各製品で使用できる機能	67
3.4 インターフェース	72
3.4.1 クライアント環境での帳票の出力	72
3.4.2 サーバ環境での帳票の出力	73
3.4.3 分散環境での帳票の出力	74

付録

付録 A このマニュアルの参考情報	77
付録 A.1 関連マニュアル	78
付録 A.2 EUR バージョン 8 でのマニュアル体系の変更	79
付録 A.3 このマニュアルでの表記	80
付録 A.4 このマニュアルで使用する略語	82
付録 A.5 KB (キロバイト) などの単位表記について	83
付録 B 用語解説	84

索引

101

1

概要

EUR (End - User Reporting : ” イーユーアール ” と読みます) は、多種多様な帳票を簡単なマウス操作で設計できます。パーソナルユースから基幹業務にも適用できる帳票を設計および出力できるソフトウェアです。この章では EUR のシステム構成、前提 OS、関連プログラム、および各バージョンの新機能について説明します。

1.1 EUR とは

1.2 EUR バージョン 8 の新機能

1.1 EUR とは

帳票は、日々の業務と密接に関係しています。業務の IT 化が進むのに伴い、帳票の作成や出力する業務も IT 化が進んでいます。また、帳票の出力形態も紙から電子データへと移行しています。

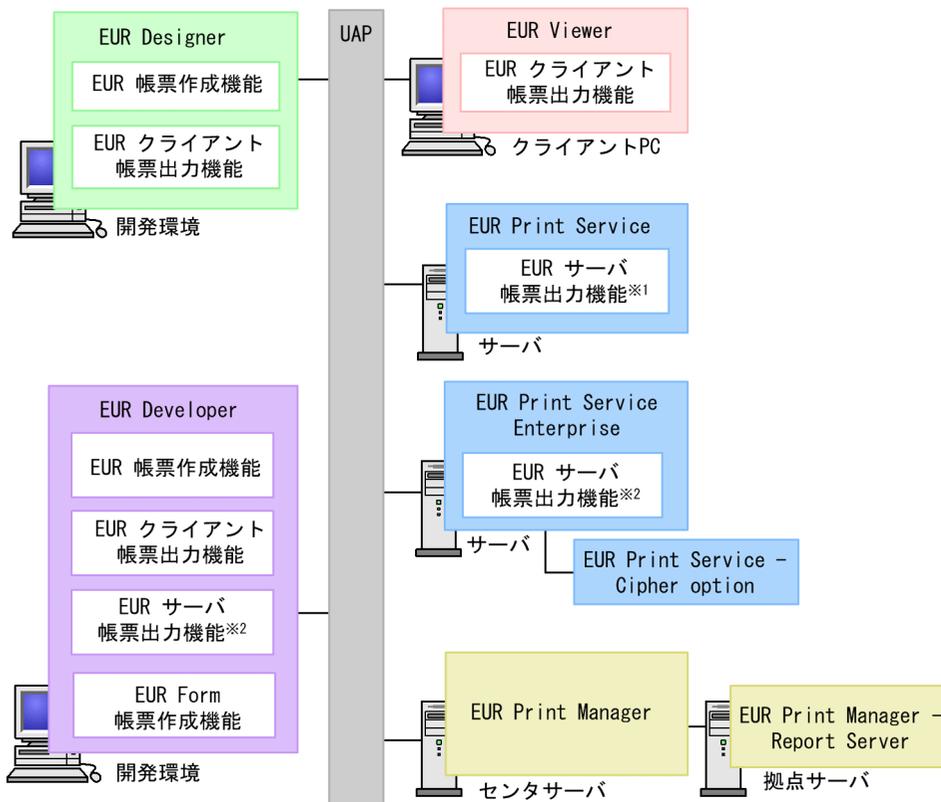
帳票を簡単に電子化し、出力・表示ができる各種のソフトウェアが発売されています。しかし、使いこなすまでに時間が掛かったり、本格的な帳票を設計しようとするとしてもプログラミングが必要になったり使い勝手が悪いこともあります。また、一度設計した帳票のメンテナンスが容易ではなかったり、帳票のデータを入れ替えて印刷するのにプログラムでの細かな指示が必要だったり、管理が容易にできないこともあります。

これらの問題を解決する製品として帳票システム構築支援 uCosminexus EUR を提供します。EUR は、日本独特の複雑な帳票を作成できるエディタ機能、多彩な出力形式、帳票システムの Web 化、帳票の電子フォーム化など、さまざまな機能を備えています。

1.1.1 製品体系

EUR シリーズの製品体系を次の図に示します。

図 1-1 EUR シリーズの製品体系



注 1
プリンタ，および CSV 形式ファイルに出力できます。

注 2
プリンタや CSV 形式ファイルに加え，PDF 形式ファイル，EUR 形式ファイル，および Excel 形式ファイルに出力できます。

開発環境の EUR 帳票作成機能で作成した帳票は，クライアント PC，サーバ，および拠点サーバから出力できます。

また，EUR Developer では，開発環境のマシン 1 台で帳票を出力するまでの動作を確認できます。

1. 概要

1.1.2 システム構成

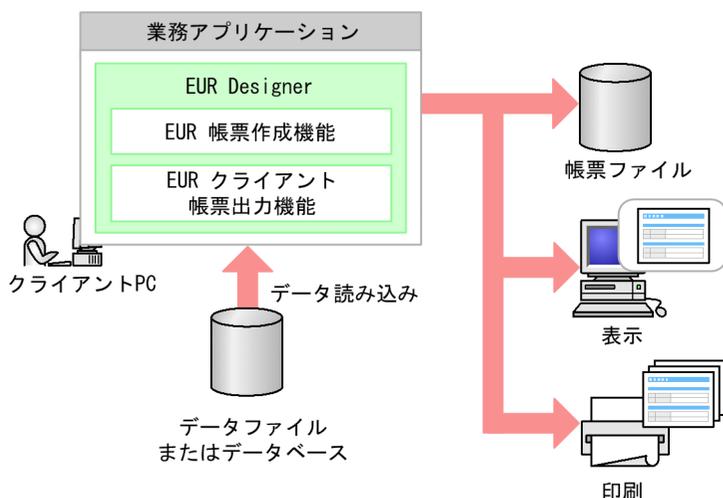
EUR では、製品ごとに次のようなシステム構成で帳票を出力しています。

(1) EUR Designer でのシステム構成

EUR Designer では、EUR 帳票作成機能で作成した帳票を、EUR クライアント帳票出力機能を使ってプリンタに出力します。

EUR Designer を使用したシステム構成例を次に示します。

図 1-2 EUR Designer を使用したシステム構成例



EUR 帳票作成機能では、帳票にデータや文字、線、図形などを配置して帳票ファイルを生成します。

生成された帳票ファイルは、EUR 帳票作成機能の画面上からプレビューで表示したり、印刷したりできます。帳票ファイルを表示・印刷するときは、帳票ファイルとデータファイル（またはデータベースのデータ）を読み込んで表示・印刷します。

apgrpt コマンド、OLE オートメーション、OCX、または DLL インターフェース関数を利用して、EUR クライアント帳票出力機能呼び出すこともできます。設計した帳票の表示や出力を業務アプリケーションで作成すると、効率良く帳票を出力できます。

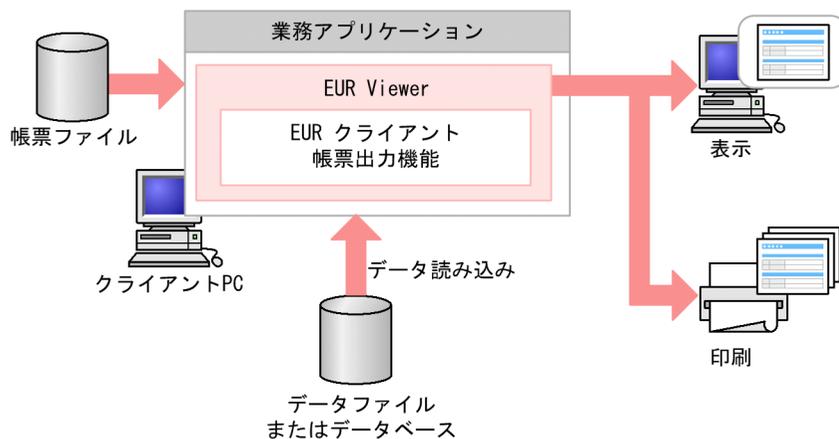
また、EUR 帳票作成機能で生成した帳票ファイルは、EUR Viewer、EUR Print Service、EUR Print Service Enterprise、および EUR Print Manager での帳票出力時の入力ファイルとなります。

(2) EUR Viewer でのシステム構成

クライアント環境で帳票を出力するときは、EUR Viewer の EUR クライアント帳票出力機能を使用します。

EUR Viewer を使用したシステム構成例を次に示します。

図 1-3 EUR Viewer を使用したシステム構成例



EUR 帳票作成機能で作成した帳票ファイルを EUR クライアント帳票出力機能で表示・印刷できます。開発環境と実行環境を分けてインストールできるので、システムコストを削減できます。

また、EUR Viewer では、帳票の作成およびレイアウトの変更ができませんので、帳票の改ざんを防止できます。EUR クライアント帳票出力機能は、印刷物が少量の場合に適しています。

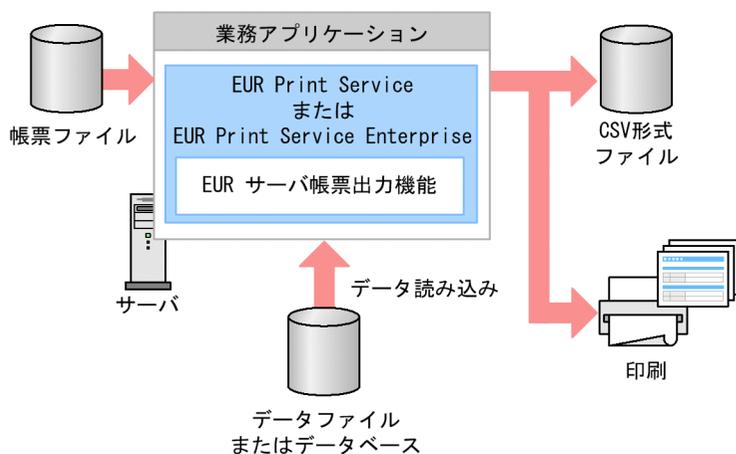
1. 概要

(3) EUR Print Service , または EUR Print Service Enterprise でのシステム構成

サーバ環境で帳票を出力するときは、EUR Print Service , または EUR Print Service Enterprise の EUR サーバ帳票出力機能を使用します。

EUR Print Service , または EUR Print Service Enterprise を使用したシステム構成例を次に示します。

図 1-4 EUR Print Service , または EUR Print Service Enterprise を使用したシステム構成例



EUR 帳票作成機能で作成した帳票ファイルを EUR サーバ帳票出力機能で出力できます。出力先は、Windows では任意の Windows プリンタに対応しています。HP-UX , AIX , または Linux では LIPSIII 対応プリンタ , PostScript Level2 対応プリンタ , および ESC/P 対応プリンタに対応しています。また、CSV 形式ファイルで帳票を出力することもできます。

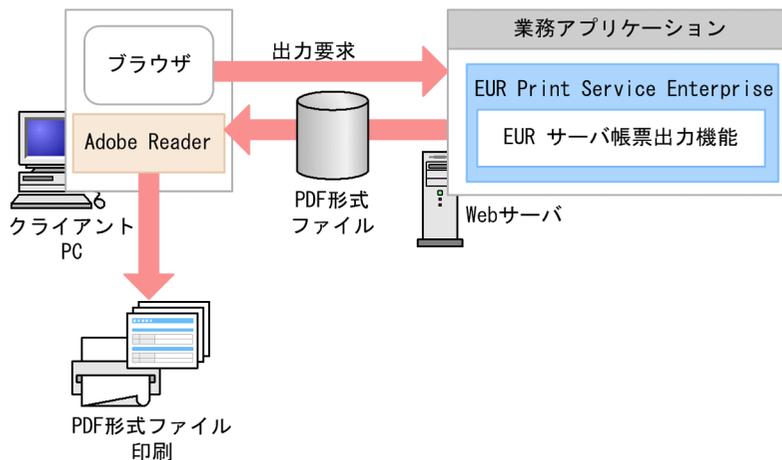
帳票を出力するとき、メモリ上には最小限のデータを一定量だけ展開するので、メモリ所要量はデータ件数に依存しません。このため、大量に印刷する場合もシステムリソースを最小限に抑えることができます。

(a) PDF 形式ファイルでの帳票出力

EUR Print Service Enterprise を使用すると、PDF 形式ファイルにも出力できます。

PDF 形式ファイルを出力する場合の EUR Print Service Enterprise を使用したシステム構成例を次に示します。

図 1-5 EUR Print Service Enterprise を使用したシステム構成例 (PDF 形式ファイルを出力する場合)



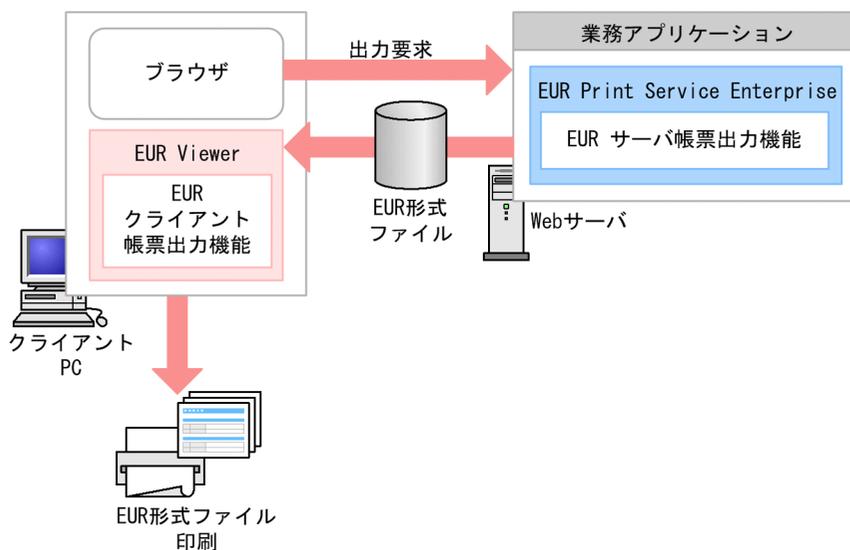
1. 概要

(b) EUR 形式ファイルでの帳票出力

設計した帳票を EUR 形式ファイル（帳票定義ファイルとデータファイルを一つのパッケージにしたファイル）に出力できます。EUR 形式ファイルは、インターネットを介して企業間を接続する Web アプリケーションなどで利用できます。EUR 形式ファイルに出力するときは、EUR Print Service Enterprise を使用します。また、EUR 形式ファイルをクライアント環境で出力するときは、EUR Viewer を使用します。

EUR Print Service Enterprise を使用したシステム構成例を次に示します。

図 1-6 EUR Print Service Enterprise を使用したシステム構成例（EUR 形式ファイルを出力する場合）

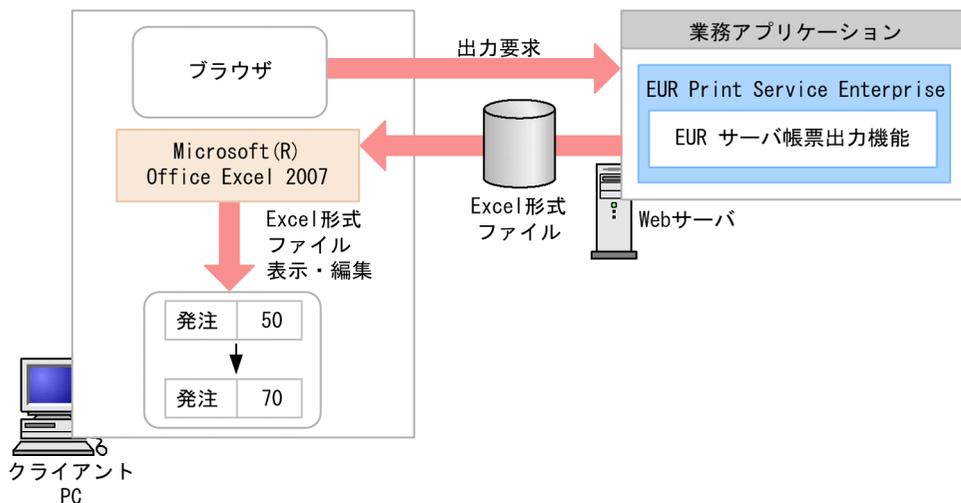


(c) Excel 形式ファイルでの帳票出力

設計した帳票を Excel 形式ファイルに出力できます。Excel 形式ファイルに出力するときは、EUR Print Service Enterprise を使用します。

Excel 形式ファイルを出力する場合の EUR Print Service Enterprise を使用したシステム構成例を次に示します。

図 1-7 EUR Print Service Enterprise を使用したシステム構成例（Excel 形式ファイルを出力する場合）



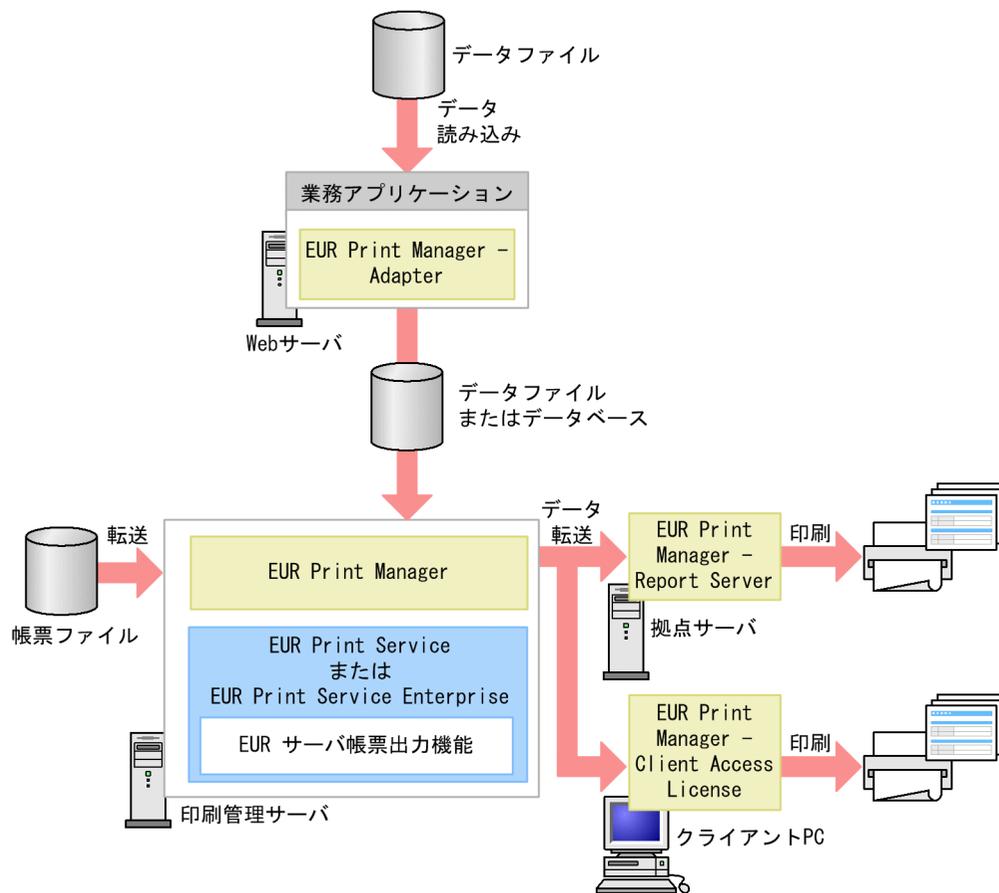
1. 概要

(4) EUR Print Manager でのシステム構成

分散印刷環境で帳票を出力するときは、EUR Print Manager を使用します。

EUR Print Manager を使用したシステム構成例を次に示します。

図 1-8 EUR Print Manager を使用したシステム構成例



EUR 帳票作成機能で作成した帳票ファイルを、業務アプリケーションを使って EUR Print Manager に転送します。EUR Print Manager を介して EUR Print Service または EUR Print Service Enterprise の EUR サーバ帳票出力機能が帳票ファイルを印刷データに変換します。Web サーバから拠点サーバやクライアント PC に印刷データを転送し、プリンタに出力します。

また、EUR 形式ファイル、PDF 形式ファイル、および Excel 形式ファイルを出力することもできます。

なお、EUR 形式ファイル、PDF 形式ファイル、および Excel 形式ファイルを出力・閲覧する場合は、次の製品が必要です。

EUR 形式ファイルを出力・閲覧する場合

サーバに EUR Print Service Enterprise が、クライアント PC に EUR クライアント帳票出力機能が必要です。

PDF 形式ファイルを出力・閲覧する場合

サーバに EUR Print Service Enterprise が、クライアント PC に Adobe Reader が必要です。

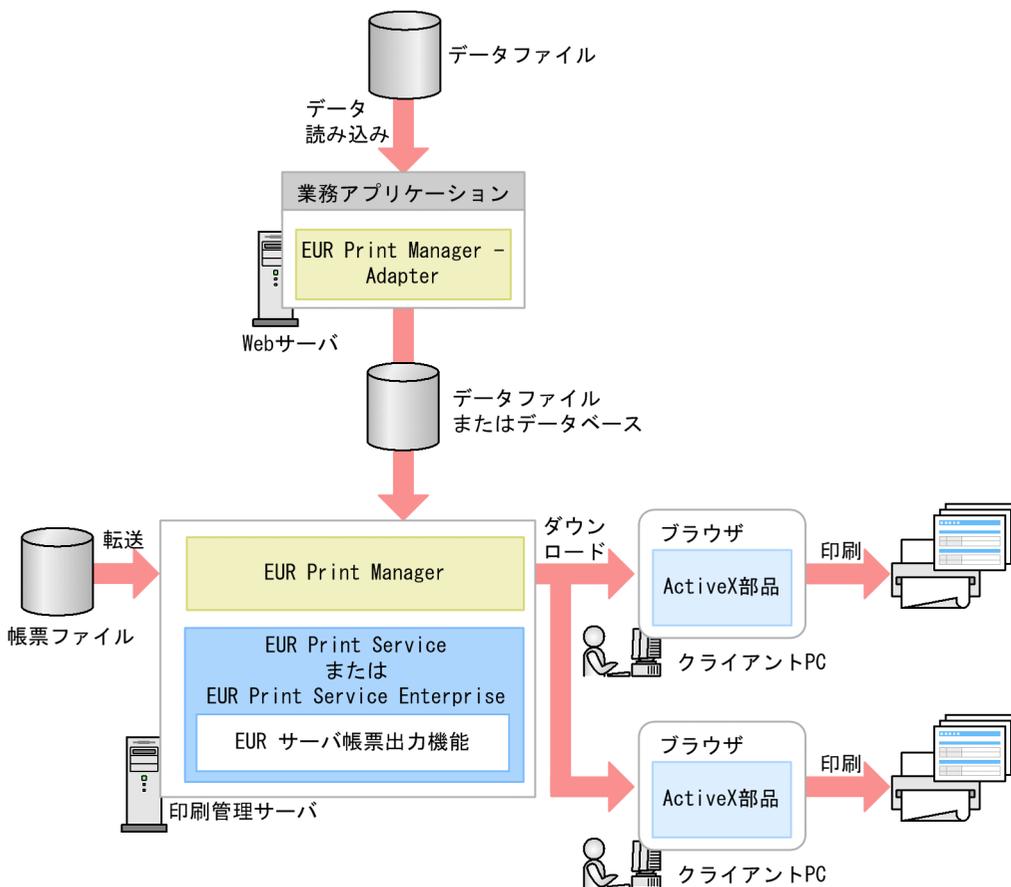
Excel 形式ファイルを出力・閲覧する場合

サーバに EUR Print Service Enterprise が、クライアント PC に Microsoft(R) Office Excel 2007、または Microsoft(R) Office Excel 2010 が必要です。

(a) Web ブラウザを使用したクライアント PC での印刷

Web ブラウザを使用してクライアント PC で印刷する場合は、ActiveX(R) 部品を使用します。Web ブラウザを使用したシステム構成例を次に示します。

図 1-9 Web ブラウザを使用したシステム構成例



1. 概要

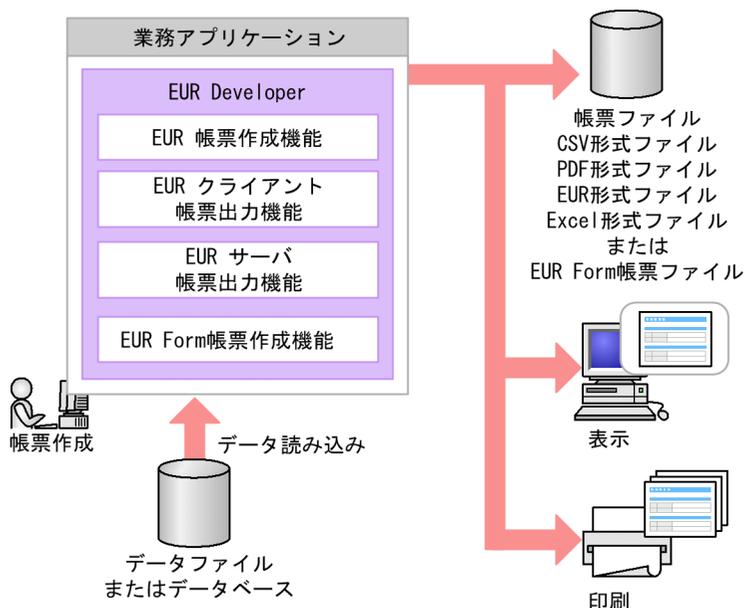
ただし、ActiveX 部品を使用するには、EUR Print Manager - Client Print ActiveX、または EUR Print Manager - Client Preview ActiveX が必要です。

(5) EUR Developer でのシステム構成

帳票を設計しているクライアント環境で帳票ファイルの作成からサーバでの帳票出力結果を確認したいときは、EUR Developer を使用します。

EUR Developer を使用したシステム構成例を次に示します。

図 1-10 EUR Developer を使用したシステム構成例



EUR Developer では、EUR 帳票作成機能で作成した帳票ファイルを、次の出力先に出力します。

- EUR クライアント帳票出力機能を使ってプリンタに出力します。
- EUR サーバ帳票出力機能を使ってプリンタ、CSV 形式ファイル、PDF 形式ファイル、EUR 形式ファイル、および Excel 形式ファイルに出力します。
- EUR Form 帳票作成機能を使って、電子フォームに活用できる EUR Form 帳票ファイルに出力します。

1. 概要

1.1.3 適用 OS

EUR シリーズのバージョン 08-70 , およびバージョン 08-20 の適用 OS について説明します。

(1) EUR Designer および EUR Developer の適用 OS

EUR Designer , および EUR Developer の適用 OS を次に示します。

OS 名	適用 OS
Windows	Windows 7 , Windows Vista , Windows XP

(2) EUR Viewer の適用 OS

EUR Viewer の適用 OS を次に示します。

OS 名	適用 OS
Windows	Windows 7 , Windows Vista , Windows XP

(3) EUR Print Service , EUR Print Service Enterprise , および EUR Print Service - Cipher option の適用 OS

EUR Print Service , EUR Print Service Enterprise , および EUR Print Service - Cipher option の適用 OS を次に示します。

OS 名	適用 OS
Windows	Windows Server 2003 , Windows Server 2008
HP-UX	HP-UX 11i V2(IPF) , HP-UX 11i V3(IPF)
AIX	AIX 5L V5.3 , AIX V6.1 , AIX V7.1
Linux	Red Hat Enterprise Linux 5 (AMD/Intel 64) Red Hat Enterprise Linux 5 (x86) Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform(AMD/Intel 64) Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform(x86) Red Hat Enterprise Linux AS 4 (AMD64 & Intel EM64T) Red Hat Enterprise Linux AS 4 (x86) Red Hat Enterprise Linux ES 4 (AMD64 & Intel EM64T) Red Hat Enterprise Linux ES 4 (x86)

注 AIX V7.1 は , EUR Print Service - Cipher option に対応していません。

(4) EUR Print Manager の適用 OS

EUR Print Manager の適用 OS を次に示します。

OS 名	適用 OS
Windows	Windows Server 2003 , Windows Server 2008
HP-UX	HP-UX 11i V2(IPF) , HP-UX 11i V3(IPF)
AIX	AIX 5L V5.3 , AIX V6.1 , AIX V7.1
Linux	Red Hat Enterprise Linux 5 (AMD/Intel 64) Red Hat Enterprise Linux 5 (x86) Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform (AMD/Intel 64) Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform (x86) Red Hat Enterprise Linux AS 4 (AMD64 & Intel EM64T) Red Hat Enterprise Linux AS 4 (x86) Red Hat Enterprise Linux ES 4 (AMD64 & Intel EM64T) Red Hat Enterprise Linux ES 4 (x86)

EUR Print Manager - Report Server の適用 OS を次に示します。

OS 名	適用 OS
Windows	Windows Server 2003 , Windows Server 2008
HP-UX	HP-UX 11i V2(IPF) , HP-UX 11i V3(IPF)
AIX	AIX 5L V5.3 , AIX V6.1 , AIX V7.1
Linux	Red Hat Enterprise Linux 5 (AMD/Intel 64) Red Hat Enterprise Linux 5 (x86) Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform (AMD/Intel 64) Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform (x86) Red Hat Enterprise Linux AS 4 (AMD64 & Intel EM64T) Red Hat Enterprise Linux AS 4 (x86) Red Hat Enterprise Linux ES 4 (AMD64 & Intel EM64T) Red Hat Enterprise Linux ES 4 (x86)

1.1.4 関連プログラム

EUR シリーズのバージョン 08-70 の関連プログラムについて説明します。

(1) データベースからデータを読み込む場合

次に示す関連ソフトウェアのどれかと連携することで、帳票設計に必要なデータを準備できます。

DABroker の言語モードが Shift JIS のとき

- P-2463-2254 DABroker 03-05 以降
- P-2463-2354 DABroker 03-15 以降
- P-2463-2364 DABroker 03-15 以降
- P-1B63-2351 DABroker 03-05 以降
- P-9D63-2251 DABroker 03-05 以降
- P-1M63-2251 DABroker 03-05 以降

1. 概要

- P-1J63-2451 DABroker 03-07 以降

DABroker の言語モードが UTF-8 で、かつ使用するデータベースが HiRDB または Oracle のとき

- P-2463-2254 DABroker 03-11-/A 以降
- P-2463-2354 DABroker 03-15 以降
- P-2463-2364 DABroker 03-15 以降
- P-9D63-2251 DABroker 03-13 以降
- P-1J63-2451 DABroker 03-13 以降
- P-1M63-2251 DABroker 03-13 以降

DABroker の言語モードが UTF-8 で、かつ使用するデータベースが SQL Server のとき

- P-2463-2354 DABroker 03-16 以降
- P-2463-2364 DABroker 03-16 以降

データベースに HiRDB を利用するとき

- P-1B62-1B71 HiRDB/Run Time Version 7 07-00 以降
- P-1B62-1C71 HiRDB/Developer's Kit Version 7 07-00 以降
- P-1B62-1D71 HiRDB/Run Time Version 7(64) 07-00 以降
- P-1B62-1E71 HiRDB/Developer's Kit Version 7(64) 07-00 以降
- P-2662-1174 HiRDB/Run Time Version 7 07-00 以降
- P-2662-1274 HiRDB/Developer's Kit Version 7 07-00 以降
- P-9D62-1B71 HiRDB/Run Time Version 7 07-00 以降
- P-9D62-1C71 HiRDB/Developer's Kit Version 7 07-00 以降
- P-9D62-1D71 HiRDB/Run Time Version 7(64) 07-00 以降
- P-9D62-1E71 HiRDB/Developer's Kit Version 7(64) 07-00 以降
- P-1M62-1B71 HiRDB/Run Time Version 7 07-00 以降
- P-1M62-1C71 HiRDB/Developer's Kit Version 7 07-00 以降
- P-1M62-1D71 HiRDB/Run Time Version 7(64) 07-00 以降
- P-1M62-1E71 HiRDB/Developer's Kit Version 7(64) 07-00 以降
- P-1B62-1B81 HiRDB/Run Time Version 8 08-00 以降
- P-1B62-1C81 HiRDB/Developer's Kit Version 8 08-00 以降
- P-1B62-1D81 HiRDB/Run Time Version 8(64) 08-00 以降
- P-1B62-1E81 HiRDB/Developer's Kit Version 8(64) 08-00 以降
- P-2662-1184 HiRDB/Run Time Version 8 08-00 以降
- P-2662-1284 HiRDB/Developer's Kit Version 8 08-00 以降
- P-9D62-1B81 HiRDB/Run Time Version 8 08-00 以降
- P-9D62-1C81 HiRDB/Developer's Kit Version 8 08-00 以降
- P-9D62-1D81 HiRDB/Run Time Version 8(64) 08-00 以降
- P-9D62-1E81 HiRDB/Developer's Kit Version 8(64) 08-00 以降
- P-1M62-1B81 HiRDB/Run Time Version 8 08-00 以降

- P-1M62-1C81 HiRDB/Developer's Kit Version 8 08-00 以降
- P-1M62-1D81 HiRDB/Run Time Version 8(64) 08-00 以降
- P-1M62-1E81 HiRDB/Developer's Kit Version 8(64) 08-00 以降
- P-2662-1194 HiRDB/Run Time Version 9 09-00 以降
- P-2662-1294 HiRDB/Developer's Kit Version 9 09-00 以降
- P-2662-3294 HiRDB/Developer's Suite Version 9 09-00 以降
- P-1J62-1D91 HiRDB/Run Time Version 9(64) 09-00 以降
- P-1J62-1E91 HiRDB/Developer's Kit Version 9(64) 09-00 以降
- P-1J62-3591 HiRDB Server Version 9 09-00 以降
- P-1J62-3691 HiRDB Server with Additional Function Version 9 09-00 以降

データベースに Oracle を利用するとき

- Oracle9i 9.0.1
- Oracle9i 9.2.0
- Oracle 10g 10.1.0
- Oracle 10g 10.2.0
- Oracle Database 11g 11.1.0
- Oracle Database 11g R2 11.2.0

データベースに SQL Server を利用するとき

- Microsoft(R) SQL Server 2000
- Microsoft(R) SQL Server 2005
- Microsoft(R) SQL Server 2008
- Microsoft(R) SQL Server 2008 R2

(2) Word または Excel 文書を EUR 帳票に変換する場合

Word または Excel 文書を EUR 帳票に変換する場合、次に示す関連ソフトウェアのどれかが必要です。

Word 文書のとき

- Microsoft(R) Word Version 2002
- Microsoft(R) Office Word 2003
- Microsoft(R) Office Word 2007
- Microsoft(R) Office Word 2010

Excel 文書のとき

- Microsoft(R) Excel Version 2002
- Microsoft(R) Office Excel 2003
- Microsoft(R) Office Excel 2007
- Microsoft(R) Office Excel 2010

1. 概要

(3) SEWB+ で定義した最上位結合項目からデータを読み込む場合

次に示す関連ソフトウェアをインストールすることで、帳票設計に必要なデータを準備できます。

Windows 7 および Windows Vista のとき

- P-2451-1434 SEWB+ 基本開発環境 セット 03-00 以降

Windows XP のとき

- P-2651-1524 SEWB+/REPOSITORY-BROWSER 02-00 以降
- P-2651-8324 SEWB+/CONSTRUCTION 02-00 以降

または

- P-2451-1434 SEWB+ 基本開発環境 セット 03-00 以降

(4) OLE オートメーション，OCX インターフェースを使用する場合

OLE オートメーション，OCX インターフェースを使用する場合，次に示す関連ソフトウェアのどれかが必要です。

- Microsoft(R) Visual Basic(R) .NET 2003
- Microsoft(R) Visual Basic(R) 2005 SP1
- Microsoft(R) Visual Basic(R) 2008

(5) DLL インターフェースを使用する場合

DLL インターフェースを使用する場合，次に示す関連ソフトウェアのどれかが必要です。

- Microsoft(R) Visual Basic(R) .NET 2003
- Microsoft(R) Visual Basic(R) 2005 SP1
- Microsoft(R) Visual Basic(R) 2008
- Microsoft(R) Visual C++(R) 2005 SP1
- Microsoft(R) Visual C++(R) 2008
- Microsoft(R) Visual C# 2005 SP1
- Microsoft(R) Visual C# 2008

(6) データベースアクセス定義でデータ表示ウィンドウを使用する場合

データ表示ウィンドウを使用する場合は，次に示す関連ソフトウェアのどちらかが必要です。

- Microsoft(R) .NET Framework Version 2.0 再頒布可能パッケージ (x86)
- Microsoft(R) .NET Framework 3.0 再頒布可能パッケージ

また，英語ロケール以外（中国語ロケールまたは日本語ロケール）で使用するときは，それぞれの言語に対応した .NET Framework Language Pack が必要です。

(7) JP1 と連携して仕分け印刷する場合

JP1 と連携して仕分け印刷する場合は、次に示す関連ソフトウェアが必要です。

Windows Server 2003 のとき

- P-2412-6M74 JP1/Network Printing System 07-00 以降

Windows 2000 のとき

- P-2412-6M74 JP1/Network Printing System 07-00 以降

(8) PDF 形式ファイルを開覧する場合

PDF 形式ファイルを開覧する場合は、次に示す関連ソフトウェアが必要です。

- Windows 版 Adobe(R) Reader(R) 7 以降

(9) Excel 形式ファイルを開覧・出力する場合

- Microsoft(R) Office Excel 2007
- Microsoft(R) Office Excel 2010

(10) JavaBeans 起動部品を使用して帳票を出力する場合

次に示すセットのどちらかを使用することで、JavaBeans 起動部品を使用して、帳票を出力できます。

- Java™2 SDK, Standard Edition 1.4
- Java™2 Platform Standard Edition Development Kit 5.0

(11) ActiveX 起動部品を使用する場合

次に示す関連ソフトウェアのどれかを使用することで、ActiveX 起動部品を使用して、帳票を出力できます。

(a) Web 環境で動作するとき

関連ソフトウェアは、OS によって次のように異なります。

OS が Windows Server 2008 のとき

- Microsoft(R) Internet Information Services 7.0

OS が Windows Server 2003 のとき

- Microsoft(R) Internet Information Services 6.0

(b) アプリケーションを作成するとき

- Microsoft(R) Visual Basic(R) .NET 2003
- Microsoft(R) Visual Basic(R) 2005 SP1
- Microsoft(R) Visual Basic(R) 2008

1. 概要

- Microsoft(R) Visual C# 2005 SP1
- Microsoft(R) Visual C# 2008

(12) 日立電子帳票システムと連携する場合

日立電子帳票システムと連携する場合は、次に示す関連ソフトウェアが必要です。

- C-7810-200 HOPSS3/AS REV/OSE 07-00 以降

(13) 紙の番人と連携して PDF 形式ファイルを出力する場合

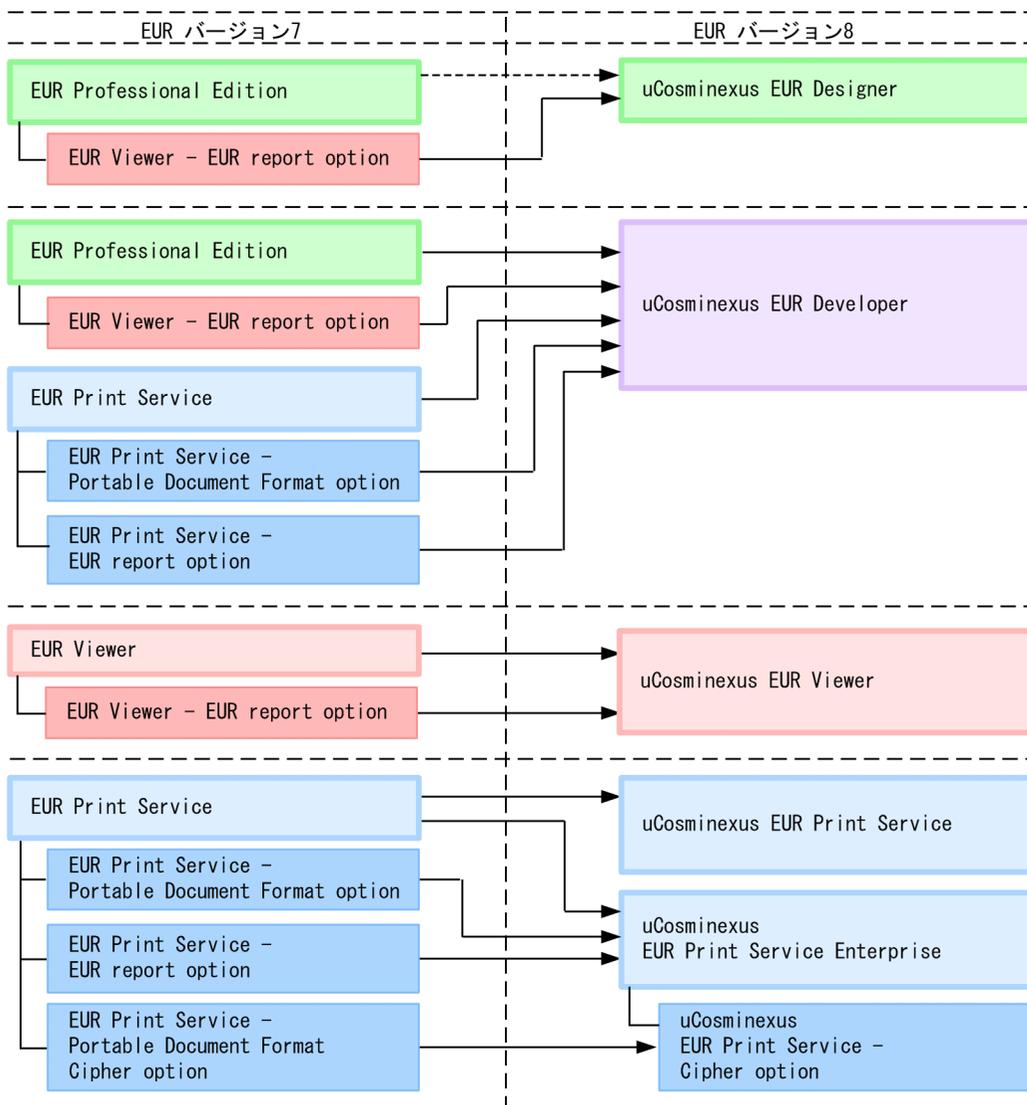
紙の番人と連携して PDF 形式ファイルを出力する場合は、次に示す関連ソフトウェアが必要です。

- (a) 複写検知画像または地紋透かしを PDF に埋め込むとき
 - 紙の番人 PDF 機能 03-00
- (b) PDF 形式ファイルに埋め込むための複写検知画像を作成するとき
 - 紙の番人 複写検知デザインエディタ 03-01
- (c) 地紋透かしの検証を行うとき
 - 紙の番人 改ざん検知機能 03-01

1.2 EUR バージョン 8 の新機能

EUR 製品は、バージョン 8 で次のように製品体系を変更しました。

図 1-11 EUR バージョン 8 での製品体系の変更



(凡例)

- ▶: 製品のすべての機能を移行先の製品へ引き継ぎます。
- -▶: Form帳票作成機能を除く、すべての機能を移行先の製品へ引き継ぎます。
- : □で示す製品の付加製品であることを示します。

この節では、EUR 製品のバージョン 8 での新機能を説明します。

1. 概要

1.2.1 EUR Designer の新機能

EUR Designer の新機能について説明します。各機能の詳細については、マニュアル「EUR 帳票設計」を参照してください。

(1) バージョン 08-70 の新機能

LPI, CPI での指定に対応

グリッド間隔, 繰り返し間隔, および文字ピッチを指定するときに, LPI または CPI 単位での指定ができるようになりました。

メインフレームで出力していた帳票を移行するとき, LPI または CPI で指定すれば, アイテムの位置がずれません。

小数点以下第 2 位での指定に対応

アイテムやグリッドなどの位置・サイズを指定するときに, 小数点以下第 2 位まで指定できるようになりました。

Word/Excel 文書の変換機能が Word 2010 形式, Excel 2010 形式に対応

Word 2010 形式, Excel 2010 形式の Word/Excel 文書を変換できるようになりました。

(2) バージョン 08-50 の新機能

EUR フォントファイル作成ツールの提供

EUR Print Service Enterprise で提供されていた EUR フォントファイル作成ツールが, EUR Designer で使用できるようになりました。開発環境で EUR フォントファイルを作成して, 実行環境に配布できます。

ログ採取レベルが「起動履歴」の場合に出力される内容の変更

ログ採取レベルが「起動履歴」の場合に, ユーザが操作した内容 (OCX の場合はメソッド履歴, DLL インターフェース関数の場合は関数履歴) が出力されるようになりました。

なお, 「起動履歴」は, EUR をインストールした直後に設定されているログ採取レベルです。

(3) バージョン 08-30 の新機能

先頭ページ・最終ページの範囲の指定に対応

先頭ページ・最終ページの範囲を, キーブレイクによる改ページで区切られた範囲に従うか, ページ番号の初期化に従うかを指定できるようになりました。

先頭ページ・最終ページの範囲は, [レポートのプロパティ] ダイアログの [レポートの構成] タブで指定できます。

まとめ表示の一括指定に対応

まとめ表示の階層を, 一括で指定できるようになりました。[まとめ表示] ダイアロ

グで設定すれば、まとめ表示の階層の優先順位や、集計行で分断するかどうかの設定を一括で指定できます。

まとめ表示のときに罫線をまとめるかどうかの指定に対応

まとめ表示をするときに、アイテムの罫線はまとめないで行ごとに引かれた状態になるように設定できるようになりました。

(4) バージョン 08-20 の新機能

Windows 7 対応

適用 OS に Windows 7 が追加されました。

コマンドからの帳票定義情報ファイルの入出力に対応

帳票定義情報ファイルの入出力機能をコマンドでも実行できるようになりました。

帳票印刷時に使用する文字のサイズ指定に対応

帳票印刷時に使用する文字のサイズについて、次のどちらのサイズで印刷するか指定できるようになりました。

- 帳票設計時に指定した数値の小数部を切り捨てたフォントサイズ
- 帳票設計時に指定した数値のフォントサイズ

環境変数による環境設定ファイルの指定に対応

環境変数で環境設定ファイルのファイル名を指定できるようになりました。

(5) バージョン 08-00 の新機能

プロポーショナルフォントに対応

帳票内に可変ピッチフォント（プロポーショナルフォント）を使用できるようになりました。

入力データの和暦対応

和暦の日付を入力データとして使用できるようになりました。

任意書式の指定に対応

文字列データの書式を任意に設定できるようになりました。

例えば、「1234567」という文字列の書式を「"〒"XXX"-XXXX」と指定すると、「〒 123-4567」と出力されます。

ワードラップ対応

文字アイテム中の英単語が行の末尾から次の行にわたってしまう場合に、英単語全体を次の行に送るかどうかを指定できるようになりました。

サポートする文字集合の追加

英語ロケールについて、CP1252 の文字集合の文字を出力できるようになりました。

1. 概要

1.2.2 EUR Developer の新機能

EUR Developer は、EUR Designer および EUR Print Service Enterprise を統合した製品です。各製品の新機能については、次の個所を参照してください。

- 1.2.1 EUR Designer の新機能
- 1.2.4 EUR Print Service の新機能
- 1.2.5 EUR Print Service Enterprise の新機能

なお、EUR Developer の適用 OS は Windows 7、Windows Vista、および Windows XP です。

(1) バージョン 08-30 の新機能

JavaBeans 起動部品のサンプルを提供

JavaBeans 起動部品を使用して帳票を出力するときに流用できるサンプルコードを提供しました。

(2) バージョン 08-10 の新機能

ダイアログからのコマンド指定に対応

EUR サーバ帳票出力機能で出力するときのコマンドをダイアログから指定できるようになりました。ダイアログでは、バッチファイルも生成できます。

1.2.3 EUR Viewer の新機能

EUR Viewer の新機能について説明します。各機能の詳細については、マニュアル「EUR 帳票設計」または「EUR クライアント帳票出力」を参照してください。

(1) バージョン 08-70 の新機能

バージョン 08-70 で作成した帳票に対応

バージョン 08-70 の EUR Designer で設計した帳票を出力できるようになりました。

(2) バージョン 08-50 の新機能

バージョン 08-50 で作成した帳票に対応

バージョン 08-50 の EUR Designer で設計した帳票を出力できるようになりました。

(3) バージョン 08-30 の新機能

バージョン 08-30 で作成した帳票に対応

バージョン 08-30 の EUR Designer で設計した帳票を出力できるようになりました。

(4) バージョン 08-20 の新機能

Windows 7 対応

適用 OS に Windows 7 が追加されました。

ダイアログからの各種ファイル指定に対応

EUR クライアント帳票出力機能での帳票出力時に、帳票ファイル、マッピングデータファイル、ユーザ定義データファイルなどをダイアログから指定できるようになりました。

帳票印刷時に使用する文字のサイズ指定に対応

帳票印刷時に使用する文字のサイズについて、次のどちらのサイズで印刷するか指定できるようになりました。

- 帳票設計時に指定した数値の小数部を切り捨てたフォントサイズ
- 帳票設計時に指定した数値のフォントサイズ

環境変数による環境設定ファイルの指定に対応

環境変数で環境設定ファイルのファイル名を指定できるようになりました。

バージョン 08-20 で作成した帳票に対応

バージョン 08-20 の EUR Designer で設計した帳票を出力できるようになりました。

(5) バージョン 08-00 の新機能

バージョン 08-00 で作成した帳票に対応

バージョン 08-00 の EUR Designer で設計した帳票を出力できるようになりました。

1.2.4 EUR Print Service の新機能

EUR Print Service の新機能について説明します。各機能の詳細については、マニュアル「EUR サーバ帳票出力」を参照してください。

(1) バージョン 08-70 の新機能

AIX V7.1 対応

適用 OS に AIX V7.1 が追加されました。

印刷ジョブ名の書式指定に対応

文書情報設定ファイルのキーワード TITLE に書式を設定することで、EURPS_MAX_SPOOL_PAGES を設定した場合に印刷ジョブ名の連番の表示形式を変更できるようになりました。

(2) バージョン 08-50 の新機能

EUR フォントファイル作成ツールの提供

EUR Print Service Enterprise で提供されていた EUR フォントファイル作成ツール

1. 概要

が、EUR Print Service で使用できるようになりました。これにより、Windows 環境で作成した外字を EUR フォントファイルに登録し、UNIX / Linux 環境で出力できるようになりました。

外字ファイルからの外字出力に対応

Windows 環境で、外字ファイルを指定して外字を出力できるようになりました。

両面印刷に関する機能の追加

プリンタでの両面印刷について、次のことができるようになりました。

EUR からの Windows プリンタの両面印刷指定に対応

Windows 環境のプリンタで両面印刷するかどうかを EUR から設定できるようになりました。

用紙のとじ代方向の指定に対応

用紙のとじ代の方向を指定できるようになりました。

偶数ページ印刷時の余白入れ替えに対応

偶数ページを印刷するときに用紙の余白の位置を入れ替えるかどうかを指定できるようになりました。

(3) バージョン 08-30 の新機能

指定したページ数での印刷ジョブの分割に対応

印刷ジョブの最大ページ数を指定できるようになりました。これにより、膨大なページ数の帳票をプリンタで印刷する場合、指定したページ数以上になったときは複数の印刷ジョブに分けて印刷できるようになりました。

環境設定ファイルのダイアログからの作成に対応

環境設定ファイルを [EUR サーバ環境設定ファイルエディタ] ダイアログから作成できるようになりました。

(4) バージョン 08-20 の新機能

帳票印刷時に使用する文字のサイズ指定に対応

帳票印刷時に使用する文字のサイズについて、次のどちらのサイズで印刷するか指定できるようになりました。

- 帳票設計時に指定した数値の小数部を切り捨てたフォントサイズ
- 帳票設計時に指定した数値のフォントサイズ

コマンド、プロパティ、メソッド、および環境変数による環境設定ファイルの指定に対応

コマンド、プロパティ、メソッドおよび環境変数で環境設定ファイルのファイル名を指定できるようになりました。

テスト印刷機能の追加

テスト用に出力した帳票の不正使用を防ぐため、テスト印刷用の文字列を重ねて出力できるようになりました。

Windows Server 2008 R2 対応

適用 OS に Windows Server 2008 R2 が追加されました。

(5) バージョン 08-10 の新機能

サービス名の指定の省略可否を変更

データベースの接続設定で、ポート番号の登録時にサービス名「DABROKER_SV」の指定を省略できるようになりました。サービス名「DABROKER_SV」の指定を省略した場合、ポート番号には「40179」が設定されます。

(6) バージョン 08-00 の新機能

プロポーショナルフォントに対応

可変ピッチフォント（プロポーショナルフォント）を指定した帳票を出力できるようになりました。

対応するロケールの変更

UNIX / Linux 版の EUR Print Service で、対応するロケールの切り替え方法が変更になりました。

サポートする文字集合の追加

英語ロケールについて、CP1252 と ISO8859-15 の文字集合の文字を出力できるようになりました。

Windows Server 2008 対応

適用 OS に Windows Server 2008 が追加されました。

Red Hat Enterprise Linux 5 (IPF) 対応

適用 OS に Red Hat Enterprise Linux 5 (IPF) , Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform (IPF) が追加されました。

AIX V6.1 対応

適用 OS に AIX V6.1 が追加されました。

DABroker の同梱

Windows 版の EUR Print Service に、DABroker が同梱されました。

1.2.5 EUR Print Service Enterprise の新機能

EUR Print Service Enterprise では、EUR Print Service の新機能に、EUR 形式ファイル出力、PDF 形式ファイル、および Excel 形式ファイル出力での新機能が追加されています。EUR Print Service の新機能については、「1.2.4 EUR Print Service の新機能」を参照してください。また、各機能の詳細については、マニュアル「EUR サーバ帳票出力」を参照してください。

1. 概要

(1) バージョン 08-70 の新機能

AIX V7.1 対応

適用 OS に AIX V7.1 が追加されました。

Excel 形式ファイル出力が Excel 2010 に対応

Excel 形式ファイルを Excel 2010 で表示，編集できるようになりました。

印刷ジョブ名の書式指定に対応

文書情報設定ファイルのキーワード TITLE に書式を設定することで，
EURPS_MAX_SPOOL_PAGES を設定した場合に印刷ジョブ名の連番の表示形式を
変更できるようになりました。

(2) バージョン 08-50 の新機能

EUR フォントファイル作成ツールの統合

EUR フォントファイル作成ツールを，Windows 版 EUR Print Service Enterprise
にインストールされる「expedf32.exe」に統合しました。これにより，Windows 環
境で作成した外字を EUR フォントファイルに登録し，UNIX / Linux 環境で出力
できるようになりました。

ビューアプレファレンス機能の追加

出力した PDF 形式ファイルを開いたときに，ページの拡大 / 縮小や PDF のページ
サイズに合わせて用紙を選択するかどうかを設定できるようになりました。
この内容は，PDF 形式ファイルを開いたときに実行するビューアプレファレンス機
能で設定できます。

PDF バージョン 1.7 に対応

出力する PDF 形式ファイルのバージョンに 1.7 を指定できるようになりました。

(3) バージョン 08-20 の新機能

Windows Server 2008 R2 対応

適用 OS に Windows Server 2008 R2 が追加されました。

(4) バージョン 08-10 の新機能

帳票の Excel 形式ファイル出力に対応

帳票を Excel 形式ファイル (*.xlsx) に出力できるようになりました。Excel 形式
ファイルは Excel 2007 で表示，編集できます。

Excel 形式ファイルに出力する前の帳票 (.fms)

HITACHI Report - 作業状況.FMS - [帳票]

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 繰り返し(R) 集計(S) データ(D) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

100%

関連会社・協力会社社員作業状況 (部別)

09年 2月05日

2008年 11月							2008年 12月								
部	人員	平均追加作業時間	出勤率	長時間作業人員			最高追加作業時間	部	人員	平均追加作業時間	出勤率	長時間作業人員			最高追加作業時間
				40HR以上	100HR以上	3ヶ月80以上						40HR以上	100HR以上	3ヶ月80以上	
企画	219.8	7.5	93.8	5	0	0	79	企画	218	9.3	93.3	14	1	0	122
設計	154.8	7.2	94.6	2	0	0	44	設計	152	11.6	93.5	12	0	0	86.5
総販	219.8	7.5	93.8	5	0	0	79	総販	218	9.3	93.3	14	1	0	122
品証	154.8	7.2	94.6	2	0	0	44	品証	152	11.6	93.5	12	0	0	86.5
管理	219.8	7.5	93.8	5	0	0	79	管理	218	9.3	93.3	14	1	0	122
開発	154.8	7.2	94.6	2	0	0	44	開発	152	11.6	93.5	12	0	0	86.5
研究	219.8	7.5	93.8	5	0	0	79	研究	218	9.3	93.3	14	1	0	122
総務	154.8	7.2	94.6	2	0	0	44	総務	152	11.6	93.5	12	0	0	86.5
人事	219.8	7.5	93.8	5	0	0	79	人事	218	9.3	93.3	14	1	0	122
経理	154.8	7.2	94.6	2	0	0	44	経理	152	11.6	93.5	12	0	0	86.5
合計	1873.0	73.5	940.5	35	0	0	615.0	合計	1850.0	104.5	934.0	130	5	0	1037.5

マウスをクリックまたは、ドラッグしてアイテムを選択します

Excel 形式ファイルに出力した帳票 (.xlsx)

作業状況 - Microsoft Excel

ホーム 挿入 ページレイアウト 表 形式 データ 校閲 表示 Acrobat

MS Pゴシック - 11

標準

貼り付け

クリップボード

フォント

配置

数値

条件付き書式

テーブルとして書式設定

セルのスタイル

スタイル

セル

編集

挿入

削除

並び替えとフィルター

検索

関連会社・協力会社社員作業状況 (部別)

08年 2月03日

2008年 11月							2008年 12月								
部	人員	平均追加作業時間	出勤率	長時間作業人員			最高追加作業時間	部	人員	平均追加作業時間	出勤率	長時間作業人員			最高追加作業時間
				40HR以上	100HR以上	3ヶ月80以上						40HR以上	100HR以上	3ヶ月80以上	
企画	220	8	94	5	0	0	79	企画	218	9	93	14	1	0	122
設計	155	7	95	2	0	0	44	設計	152	12	94	12	0	0	86
総販	220	8	94	5	0	0	79	総販	218	9	93	14	1	0	122
品証	155	7	95	2	0	0	44	品証	152	12	94	12	0	0	86
管理	220	8	94	5	0	0	79	管理	218	9	93	14	1	0	122
開発	155	7	95	2	0	0	44	開発	152	12	94	12	0	0	86
研究	220	8	94	5	0	0	79	研究	218	9	93	14	1	0	122
総務	155	7	95	2	0	0	44	総務	152	12	94	12	0	0	86
人事	220	8	94	5	0	0	79	人事	218	9	93	14	1	0	122
経理	155	7	95	2	0	0	44	経理	152	12	94	12	0	0	86
合計	1873.0	73.5	940.5	35	0	0	615.0	合計	1850.0	104.5	934.0	130	5	0	1037.5

コマンド

1. 概要

(5) バージョン 08-00 の新機能

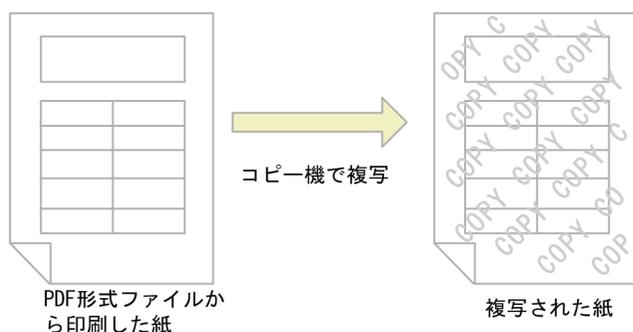
プロポーショナルフォントに対応

可変ピッチフォント（プロポーショナルフォント）を指定した帳票を PDF 形式ファイルに出力できるようになりました。

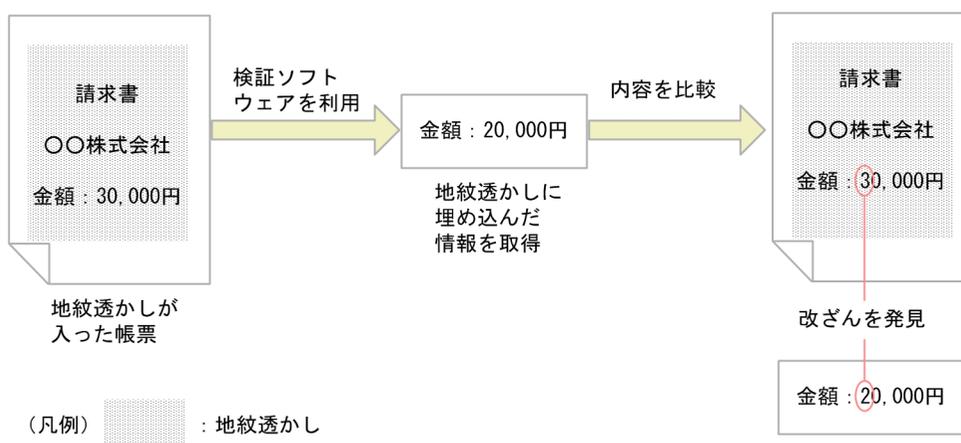
複写検知機能および偽造・改ざん検知機能の追加

PDF 形式ファイルを出力するときに、印刷後の複写、偽造および改ざんを検知するための情報を埋め込めるようになりました。連携製品の「紙の番人」と組み合わせると、次のことができます。

- PDF 形式ファイルを印刷するとき、帳票内に複写検知用の画像を貼り付けて印刷します。PDF 形式ファイルを印刷した紙を複写すると、複写された紙に複写模様が表示されます。



- PDF 形式ファイルを印刷するとき、用紙内の指定した部分に地紋透かしを印刷します。専用の検証ソフトウェアを利用すると、地紋透かしに埋め込んだ情報を取り出すことができます。用紙に印刷した情報を地紋透かしに埋め込んでおくことで、元の文書から偽造または改ざんされているかどうか調べられます。



PDF でフォントを置き換えて出力する場合に使用できる文字集合の変更

PDF でフォントを置き換えて出力する場合、Windows ANSI の文字を使用できるようになりました。

Windows Server 2008 対応

適用 OS に Windows Server 2008 が追加されました。

Red Hat Enterprise Linux 5 (IPF) 対応

適用 OS に Red Hat Enterprise Linux 5 (IPF) , Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform (IPF) が追加されました。

AIX V6.1 対応

適用 OS に AIX V6.1 が追加されました。

DABroker の同梱

Windows 版の EUR Print Service Enterprise に、DABroker が同梱されました。

1.2.6 EUR Print Manager の新機能

EUR Print Manager の新機能について説明します。各機能の詳細については、マニュアル「EUR Print Manager 帳票出力」を参照してください。

(1) バージョン 08-70 の新機能

AIX V7.1 対応

適用 OS に AIX V7.1 が追加されました。

印刷データの分割機能を追加

指定したページ数で印刷データを分割できるようになりました。例えば、次のときに便利です。

- ページ数の多い帳票や印刷データ量の大きい帳票を印刷したいとき
- ユーザの扱いやすい単位（プリンタの用紙カセットの給紙枚数など）で印刷データを操作したいとき

仕分け印刷機能を追加

入力データ中のキーワードで印刷データを仕分けて、別々の印刷先に出力できるようになりました。

例えば、地区、フロアをキーワードにして出力を実行すると、各地区、各フロアにあるプリンタへ、配布先ごとのデータに仕分けして出力できます。

蓄積期限日の日数指定をサポート

蓄積ファイルの蓄積期限日を日数で指定できるようになりました。

また、蓄積期限日のデフォルト値を、環境設定ファイルで変更できるようになりました。

ActiveX クライアントのユーザ権限でのインストールに対応

ダウンロードパッケージ（CAB 形式ファイル）でのインストールの場合、EUR

1. 概要

Print Manager - Client Print ActiveX または EUR Print Manager - Client Preview ActiveX を標準ユーザ権限でインストールできるようになりました。

2

EUR の特長

この章では、EUR シリーズの各製品の特長を、使用する場面ごとに説明します。

2.1 帳票を設計するときの特長

2.2 帳票をサーバ環境、またはクライアント環境で出力するときの特長

2.3 Web 環境で帳票を出力するときの特長

2.4 分散環境で帳票を出力するときの特長

2.5 帳票を海外拠点で活用するときの特長

2.1 帳票を設計するときの特長

この節では、帳票を設計するときの特長について説明します。

2.1.1 簡単に帳票を設計できる

EUR での帳票設計には、プログラミングの知識は必要ありません。プログラミングの知識は必要ないので、専門知識がない方でも簡単に帳票を設計できます。

EUR での帳票設計は、帳票で使用するデータを画面上に切り貼りする感覚で行います。帳票の仕様に変更が生じて、簡単に修正できます。

帳票設計でできることを次に示します。

データを表形式で表示できる

EUR では読み込んだ CSV ファイルやデータベースのデータを、ウィンドウに表形式で表示できます。

データ読み込みの詳細については、マニュアル「EUR 帳票設計」を参照してください。

データベースを利用できる

EUR では、データベースに接続して必要なデータを抽出し、帳票に読み込むことができます。EUR で接続できるデータベースは、HiRDB、Oracle、SQL Server、XDM/RD E2 (HiRDB クライアント接続経由) です。

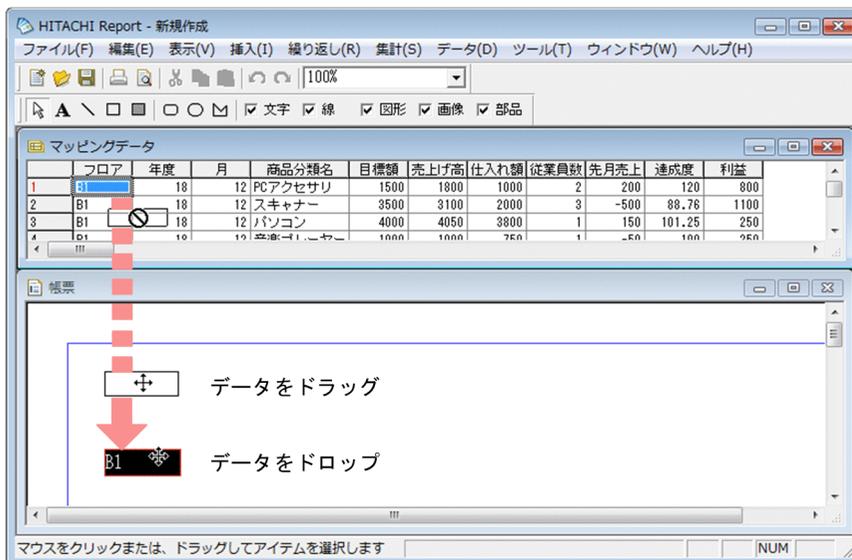
帳票設計時のデータベースとの接続やデータの抽出は、画面操作で指定できるので、データベースと接続するためのアプリケーションを開発する必要がありません。そのため、SQL を意識することなく、帳票とデータベースとの接続から、抽出するデータの条件などの選択、データの抽出までをスムーズにできます。また、抽出するデータの件数と抽出するデータを表形式で確認できるので、EUR に取り込む前に内容の間違いなどを確認できます。

データベースからのデータの読み込みの詳細については、マニュアル「EUR 帳票設計」を参照してください。

ドラッグアンドドロップでデータを配置できる

データを表示するウィンドウに取り込んだデータは、帳票を設計するウィンドウにドラッグアンドドロップで貼り付けることができます。データを表示するウィンドウをデータウィンドウ、帳票を設計するウィンドウを帳票ウィンドウといいます。データウィンドウからの貼り付けのイメージを次の図に示します。

図 2-1 データウィンドウからの貼り付けのイメージ



データウィンドウからの貼り付けの詳細については、マニュアル「EUR 帳票設計」を参照してください。

任意の位置にアイテムを配置できる

EUR の帳票には、データウィンドウのデータ以外のデータや図形も配置できます。帳票上に配置するデータおよび図形のことをアイテムといいます。

EUR で設計する帳票は、プリンタの行および桁に拘束されません。アイテムは帳票上の任意の位置に配置できます。

帳票に配置できるアイテムの詳細は、マニュアル「EUR 帳票設計」を参照してください。

帳票を素早く作成できる

EUR では、紙帳票の画像をスキャナなどで読み込んで、プレプリント用紙の印刷イメージを帳票ウィンドウに表示できます。印刷したい数値や文字をプレプリント用紙に合わせてきれいに配置できるので、プリンタで出力して確認しながら帳票を作成する必要がありません。

読み込んだ帳票の画像データを下敷きといいます。

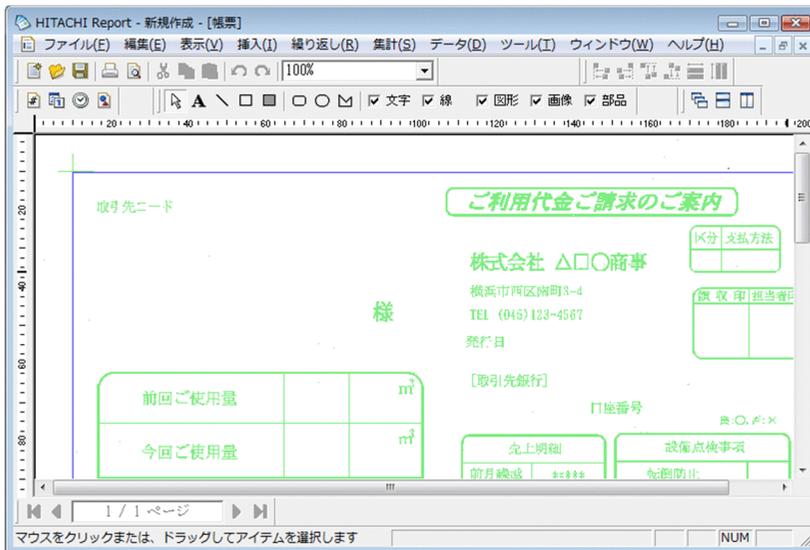
また、下敷きを使用して、既存の紙ベースの帳票を基に帳票を作成できます。既存の紙帳票を表示して、お手本に沿ってデータを配置できるので、既存の帳票と同じデザインの帳票を素早く作成できます。

下敷きの設定の詳細については、マニュアル「EUR 帳票設計」を参照してください。

下敷きとなる画像を読み込むと、次のように表示されます。

2. EUR の特長

図 2-2 下敷き画像の表示例



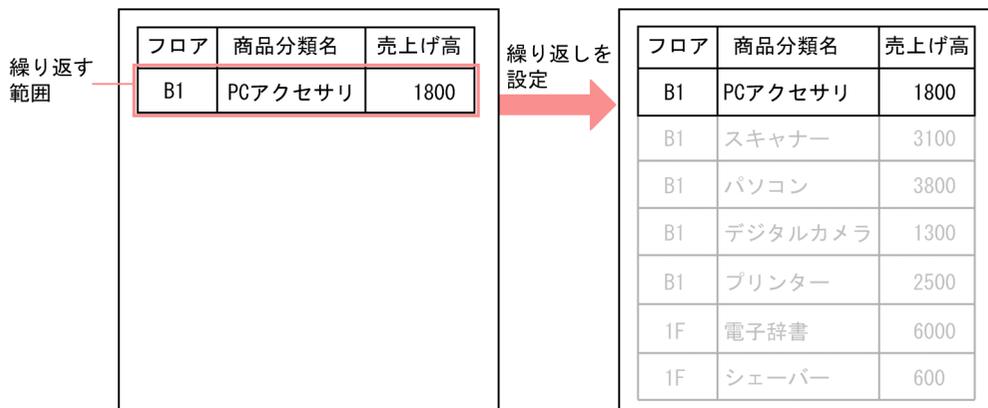
データを自動でレイアウトできる

EUR で表を作成する場合、すべてのデータをドラッグアンドドロップで貼り付ける必要はありません。1 行目のデータだけを貼り付けたあとで、繰り返しを定義すれば、残りのデータが自動でレイアウトされるため、簡単に表を作成できます。

繰り返し定義の設定の詳細については、マニュアル「EUR 帳票設計」を参照してください。

繰り返しのイメージを次の図に示します。

図 2-3 繰り返しのイメージ



2行目以降は自動的に繰り返されて、表が作成される

文字フォントを自動でリサイズできる

文字のフォントを変更すると文字列の大きさが変わり、文字が表示される枠と大きさが合わなくなる場合があります。

EUR では、フォントによるリサイズの設定を使って、枠内に収まるように、文字フォントを自動リサイズできます。

フォントによるリサイズの設定の詳細については、マニュアル「EUR 帳票設計」を参照してください。

プロパティでデータを簡単に修飾できる

帳票ウィンドウに貼り付けたデータは、[アイテムのプロパティ] ダイアログで簡単に修飾できます。[アイテムのプロパティ] ダイアログでは、文字アイテムの前後に文字を付加したり、図形アイテムや線アイテムの色や形を変更したりできます。

[アイテムのプロパティ] ダイアログの詳細については、マニュアル「EUR 帳票設計」を参照してください。

任意の書式が指定できる

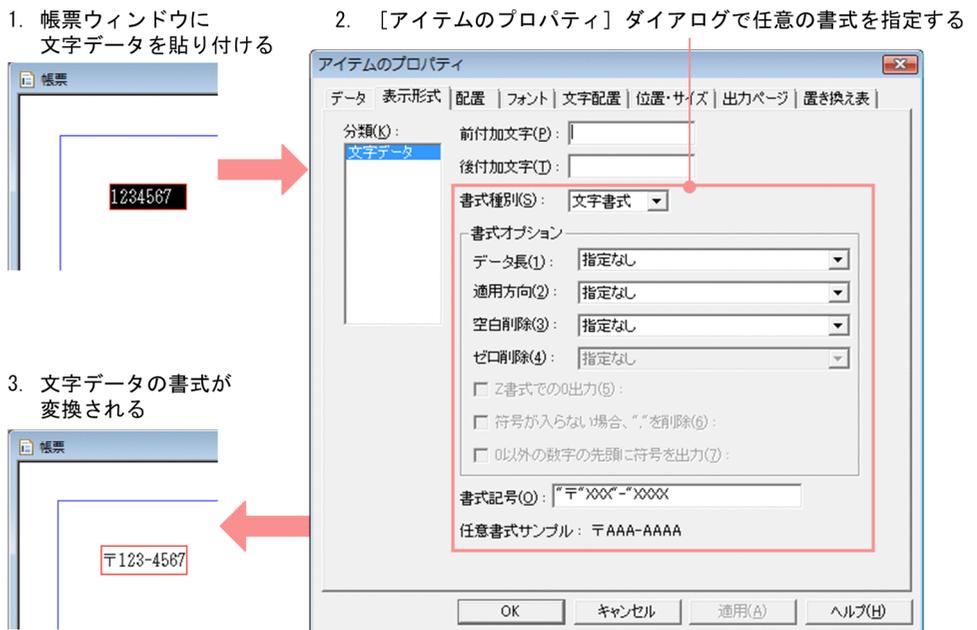
任意書式指定を使うと、データウィンドウの文字データを帳票ウィンドウに配置したとき、任意の書式に変換して表示できます。

7桁の郵便番号の文字データがある場合、3桁目と4桁目の間にハイフンを挿入して表示する書式を設定しておくことで、帳票ウィンドウに配置したときに書式に従ったデータを表示します。

任意書式指定の詳細については、マニュアル「EUR 帳票設計」を参照してください。

任意書式指定の例を次の図に示します。

図 2-4 任意書式指定の例



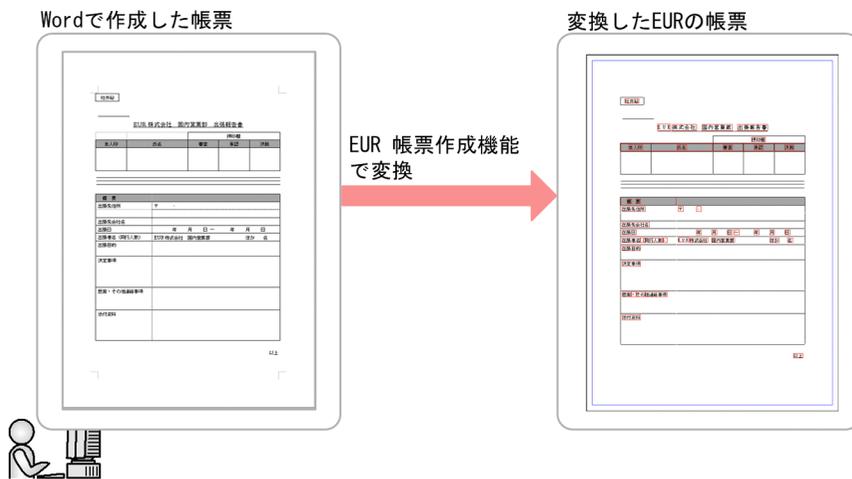
2.1.2 既存の資産を活用できる

(1) Word/Excel 文書の変換

EUR では、Word や Excel で作成した文書から直接 EUR の帳票を作成できます。
[Word/Excel 文書の変換] ダイアログで既存の Word/Excel 文書を指定するだけで、EUR の帳票ファイルに変換します。一度に複数の帳票を変換することもできます。

Word 文書や Excel 文書の文字列、罫線、パターンを、EUR の帳票を構成するアイテムに変換できるので、短時間で帳票を作成できます。

図 2-5 Word/Excel 文書の変換イメージ



Word/Excel 文書の変換の詳細については、マニュアル「EUR 帳票設計」を参照してください。

(2) 複数アイテムの部品化

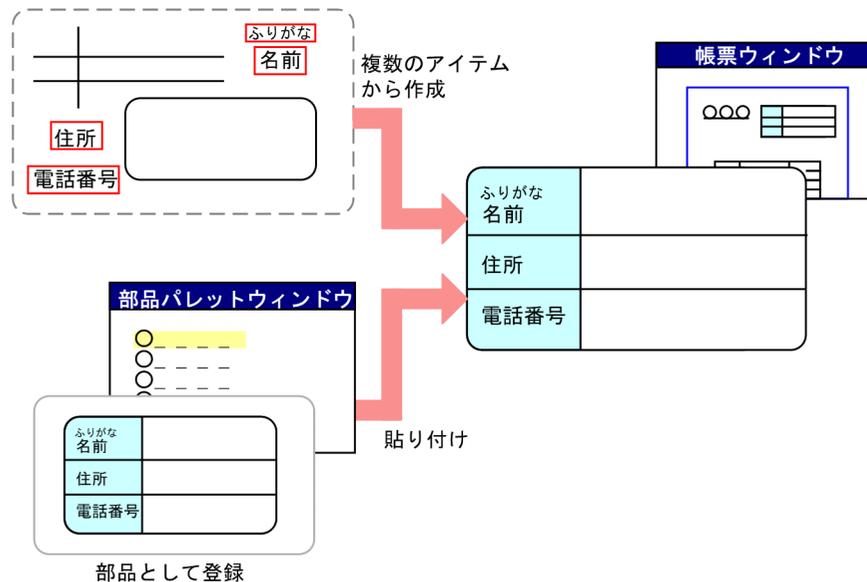
部品登録機能を利用して、複数のアイテムをまとめて一つの部品として登録し、ほかの帳票で利用できます。

例えば、複数のアイテムから作成した宛名ラベルや表のヘッダを、部品として登録することで、一つのアイテムと同じように帳票ウィンドウ上で使用できます。

部品登録機能を利用すると、アイテムを再利用して帳票を定義できます。今まで複数のアイテムから作成していた宛名ラベルや表のヘッダなど共通のアイテムや定形のアイテムを部品として登録でき、帳票を定義する効率が向上します。登録した部品は、複数のユーザに配布できます。サイズや色などの変更ができないので、ユーザが部品を独自に加工してしまうこともありません。

部品登録機能のイメージを次の図に示します。

図 2-6 部品登録機能のイメージ



部品登録機能の詳細については、マニュアル「EUR 帳票設計」を参照してください。

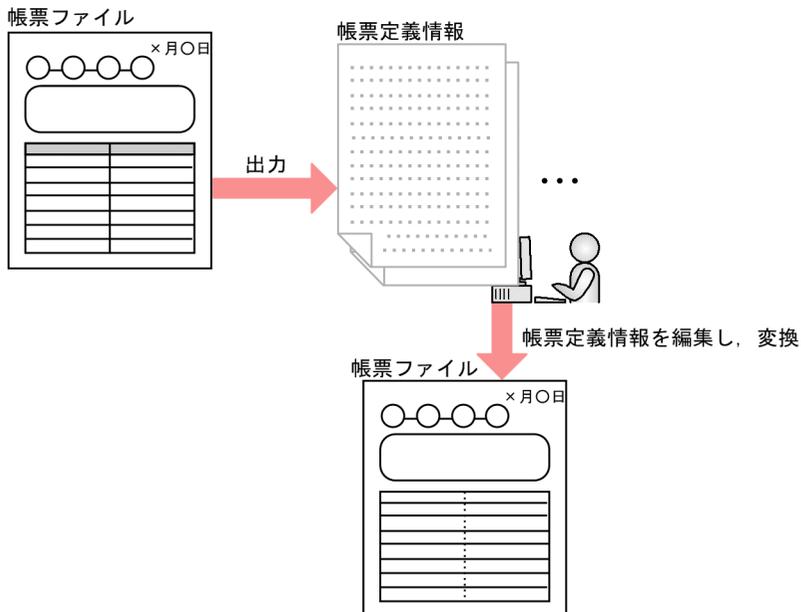
2. EUR の特長

(3) 帳票定義情報の入出力

帳票定義情報の入出力機能を使って、EUR で作成した帳票に定義した内容を、帳票定義情報ファイルとして CSV 形式ファイルで出力できます。CSV 形式ファイルの内容を変更すれば、EUR の画面を開かなくても帳票を編集できます。複数の CSV 形式ファイルを一括して変更することもできます。CSV 形式ファイルを変更後、帳票ファイルに変換することで、CSV 形式ファイルの変更を帳票ファイルに反映します。

帳票定義情報の入出力のイメージを次の図に示します。

図 2-7 帳票定義情報の入出力のイメージ



帳票定義情報の入出力の詳細については、マニュアル「EUR 帳票設計」を参照してください。

2.2 帳票をサーバ環境，またはクライアント環境で出力するときの特長

この節では，帳票をサーバ環境，またはクライアント環境で出力するときの特長について説明します。

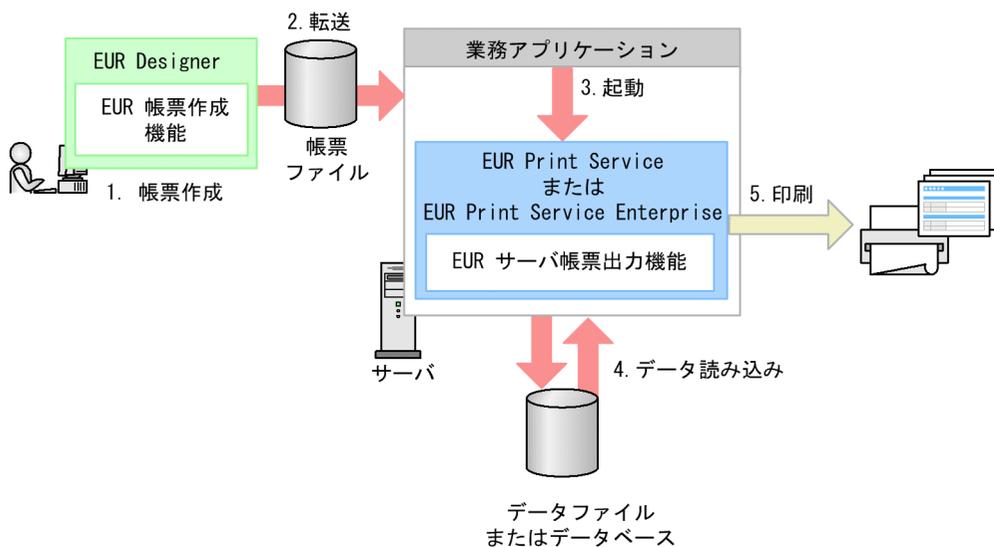
2.2.1 サーバで大量に印刷できる

EUR では，業務アプリケーションからサーバで帳票を大量印刷できます。業務アプリケーションから起動できるようにするために，ActiveX オブジェクトや JavaBeans の起動部品を提供しています。

このとき，サーバには EUR Print Service または EUR Print Service Enterprise が必要です。

業務アプリケーションからサーバで帳票を大量印刷するときの流れを次の図に示します。

図 2-8 サーバで帳票を大量印刷するときの流れ



(凡例) : アプリケーションの機能 : EURの機能

1. EUR 帳票作成機能を使って，帳票を設計します。
2. 出力先のサーバに帳票ファイルを転送します。
3. 業務アプリケーションから，EUR サーバ帳票出力機能を起動します。
4. EUR サーバ帳票出力機能がデータファイルまたはデータベースのデータを読み込み，

2. EUR の特長

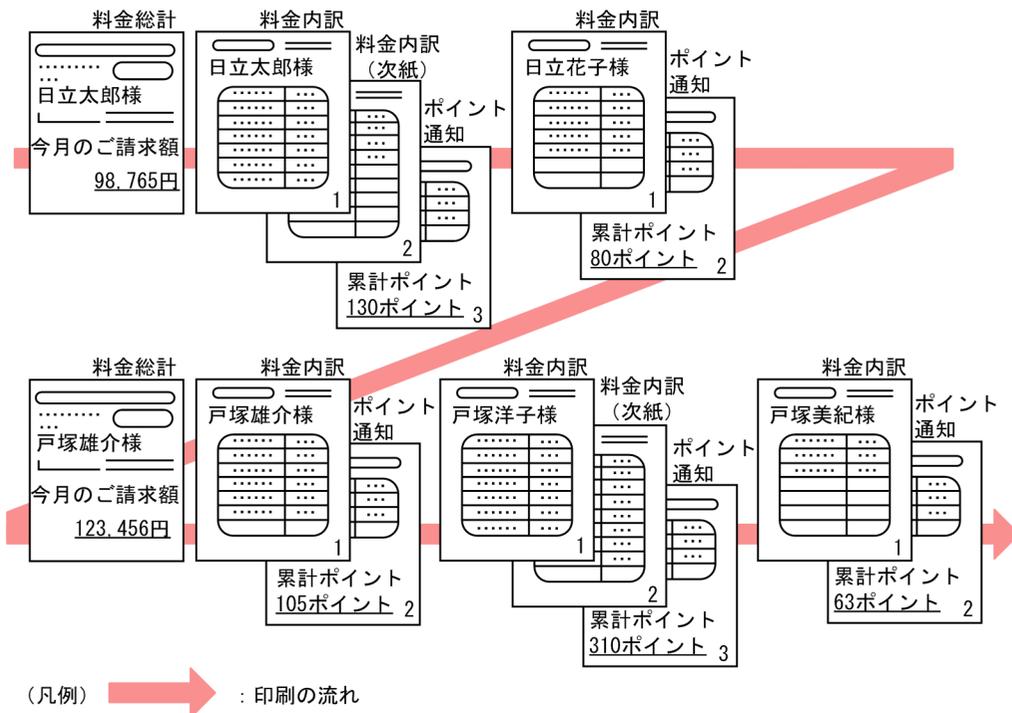
帳票上に流し込みます。

5. サーバに接続されたプリンタから、帳票を印刷します。

(1) 複数の様式をまとめて印刷できる

帳票のフォーマット（様式）、用紙サイズ、用紙の向きなどが異なる複数の帳票を連続して出力できます。例えば次のような帳票を出力できます。

図 2-9 複数様式での帳票の出力例



このような出力方法を複数様式での帳票出力といいます。複数様式での帳票出力を実行することで、仕分けや発送をするときに効率的に作業できます。

複数様式での帳票出力の場合、EUR では入力データのほかに次のファイルが必要になります。

- 必要なフォーマット数分の帳票ファイル（.fms）
- 帳票セット指定ファイル
- 複数様式情報定義ファイル

帳票セット指定ファイルおよび複数様式情報定義ファイルの詳細については、マニュアル「EUR サーバ帳票出力」を参照してください。

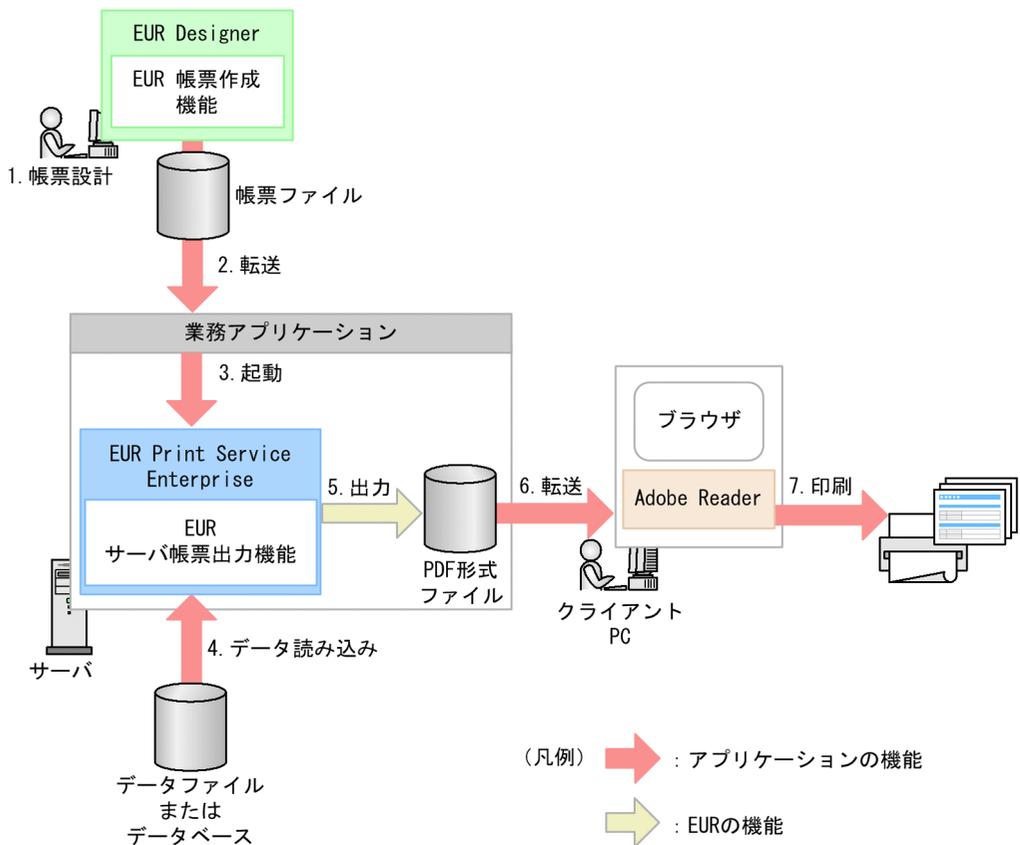
2.2.2 サーバで PDF 形式ファイルを出力できる

EUR では、帳票を PDF 形式ファイルに出力できます。PDF 形式ファイルに出力することで、Web ブラウザと Adobe Reader を使用した、インターネット上での帳票システムを構築できます。

このとき、サーバには EUR Print Service Enterprise が必要です。

帳票を PDF 形式ファイルに出力するときの流れを次の図に示します。

図 2-10 帳票を PDF 形式ファイルに出力するときの流れ



1. EUR 帳票作成機能を使って、帳票を設計します。
2. PDF 形式ファイルを出力するサーバに帳票ファイルを転送します。
3. 業務アプリケーションから、EUR サーバ帳票出力機能を起動します。
4. EUR サーバ帳票出力機能がデータファイルまたはデータベースのデータを読み込み、帳票上に流し込みます。
5. EUR サーバ帳票出力機能が PDF 形式ファイルを出力します。

2. EUR の特長

6. PDF 形式ファイルを要求のあったクライアント PC に転送します。

7. 転送された PDF 形式ファイルを印刷します。

出力する PDF 形式ファイルは暗号化できます。暗号化とは、データの改ざんや情報の漏洩を防ぐために、ファイルに対するユーザの操作をパスワードで限定する機能です。PDF 形式ファイルを暗号化するときは、EUR Print Service Enterprise に付加製品の EUR Print Service - Cipher option を組み合わせます。

また、電子帳票システムと連携することで、作成した PDF 形式ファイルを電子保管できます。帳票を電子保管すると、帳票の検索や参照が簡単にできます。また、電子メールを利用して帳票を配信できます。

(1) PDF 形式ファイルの仕分け出力

帳票を PDF 形式ファイルに出力するとき、指定した基準でデータを分割し、データのまとまりごとに異なる PDF 形式ファイルに出力できます。これを PDF 形式ファイルの仕分け出力といいます。また、仕分け出力する PDF 形式ファイルを暗号化することもできます。これを PDF 形式ファイルの暗号化仕分け出力といいます。

PDF 形式ファイルを仕分け出力、または暗号化仕分け出力する場合、次のファイルが必要になります。

- PDF 形式ファイルを仕分け出力する場合
PDF 仕分け定義ファイルが必要です。
- PDF 形式ファイルを暗号化仕分け出力する場合
PDF 仕分け定義ファイルと暗号化設定ファイルが必要です。

PDF 仕分け定義ファイルは、PDF 形式ファイルを仕分け出力する場合と PDF 形式ファイルを暗号化仕分け出力する場合とで定義内容が異なります。

PDF 仕分け定義ファイル、および暗号化設定ファイルの詳細については、マニュアル「EUR サーバ帳票出力」を参照してください。

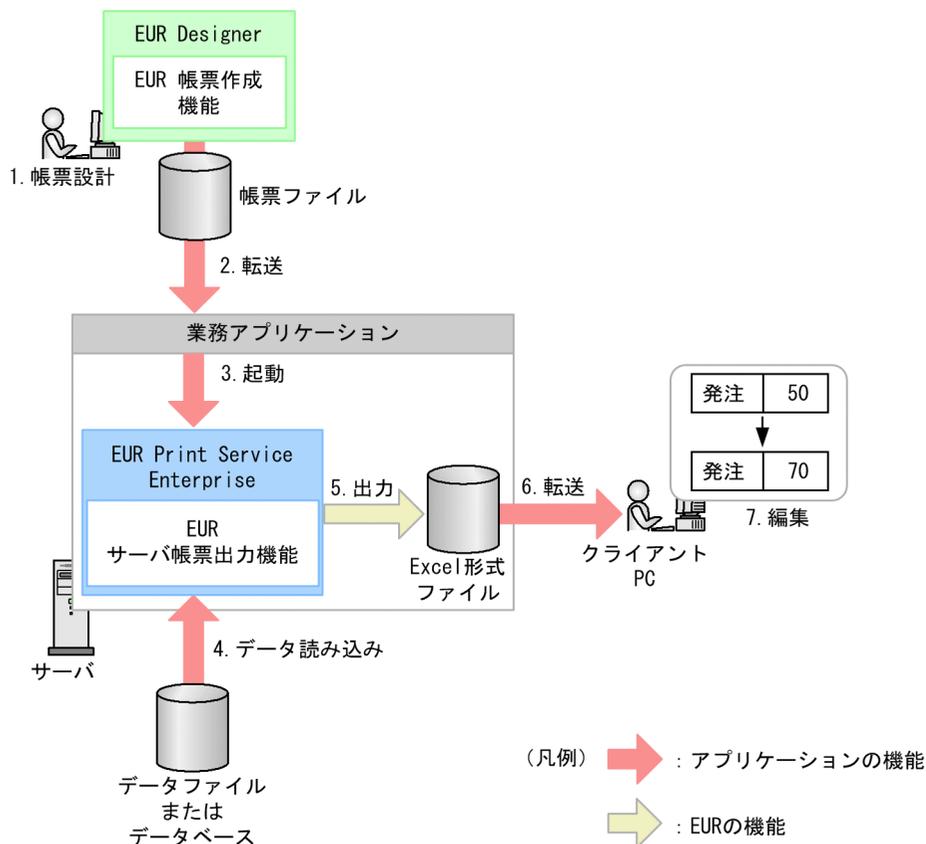
2.2.3 帳票を Excel 形式ファイルに出力できる

EUR では、帳票を Excel 形式ファイルに出力できます。Excel 形式ファイルに出力することで、帳票の出力結果を編集できます。例えば値を Excel で修正したり、出力した数値を基に Excel でグラフを作成したりできます。

このとき、サーバには EUR Print Service Enterprise が必要です。

帳票を Excel 形式ファイルに出力するときの流れを次の図に示します。

図 2-11 帳票を Excel 形式ファイルに出力するときの流れ



1. EUR 帳票作成機能を使って、帳票を設計します。
2. Excel 形式ファイルを出力するサーバに帳票ファイルを転送します。
3. 業務アプリケーションから、EUR サーバ帳票出力機能を起動します。
4. EUR サーバ帳票出力機能がデータファイルまたはデータベースのデータを読み込み、Excel 上に流し込みます。
5. EUR サーバ帳票出力機能が Excel 形式ファイルを出力します。
6. Excel 形式ファイルを要求のあったクライアント PC に転送します。
7. 転送された Excel 形式ファイルを編集します。

Excel 形式ファイル出力の詳細については、マニュアル「EUR サーバ帳票出力」を参照してください。

また、Excel 形式ファイルでは EUR の帳票イメージを Excel のセル上に再現するため、Excel 形式ファイルに出力したときの見た目が異なったり、一部のアイテムが出力されなかったりします。よって、Excel 形式ファイルに出力するときは、帳票設計時にも注意が

2. EUR の特長

必要です。帳票設計時の注意事項については、マニュアル「EUR 帳票設計」を参照してください。

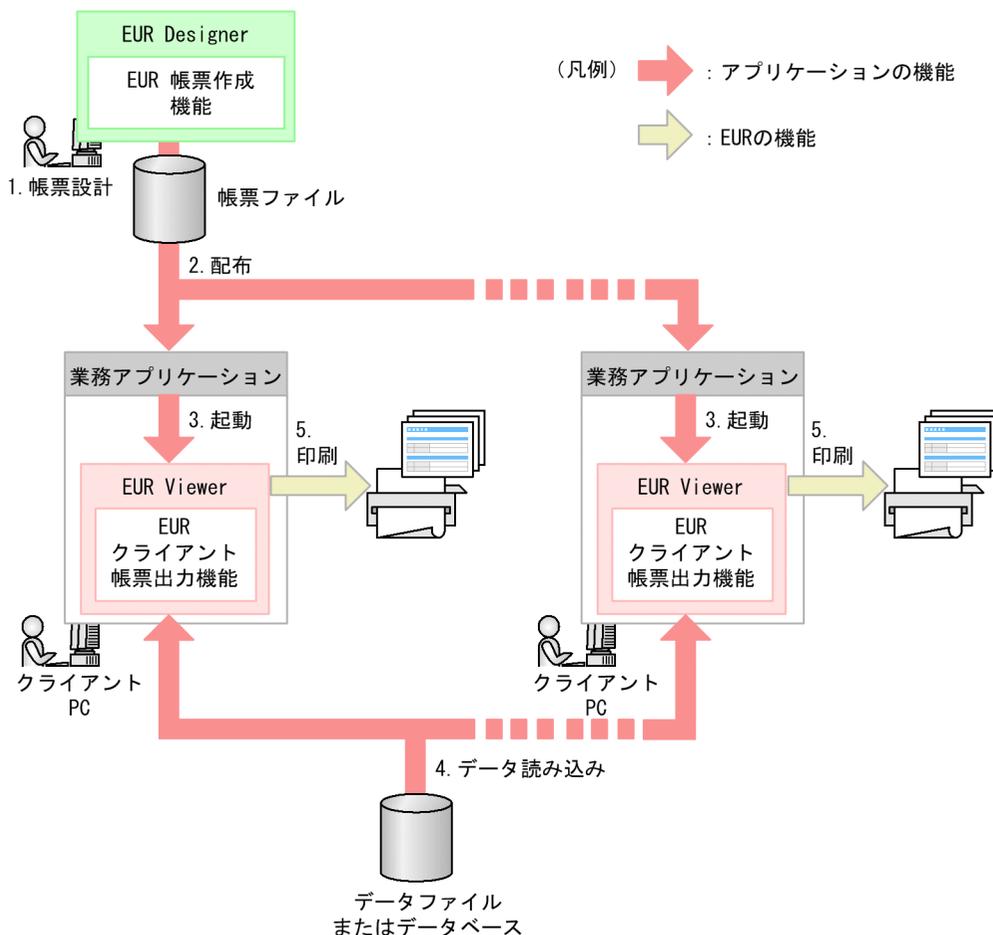
2.2.4 帳票を配布してクライアント環境で印刷できる

EUR では、帳票を配布してクライアント環境で印刷できます。例えば、システム部門が設計した帳票をほかの部門に配布し、クライアント環境の業務アプリケーションから印刷することができます。

このとき、クライアント PC には CSV 形式のデータファイルか、データベースのデータが必要です。また、クライアント PC に EUR Viewer をインストールする必要があります。

帳票をクライアント PC に配布して印刷する流れを次の図に示します。

図 2-12 帳票をクライアント PC に配布して印刷する流れ



1. EUR 帳票作成機能を使って、帳票を設計します。

2. 帳票を出力するクライアント PC に帳票ファイルを配布します。
3. 業務アプリケーションから、EUR クライアント帳票出力機能を起動します。
4. EUR クライアント帳票出力機能がデータファイルまたはデータベースのデータを読み込み、帳票上に流し込みます。
5. 帳票ファイルを印刷します。

EUR ではクライアント環境の業務アプリケーションから EUR を呼び出すために、次のインターフェースを提供しています。

- apgrpt コマンド
- OLE オートメーション
- OCX
- DLL インターフェース関数

クライアント環境での帳票出力で使用できるインターフェースの詳細については、マニュアル「EUR クライアント帳票出力」を参照してください。

(1) 帳票の改ざん防止

EUR Viewer は、帳票の表示・印刷だけを実行する製品です。帳票の内容を編集することはできないため、クライアント PC からの帳票の改ざんを防止できます。

(2) 問題発生時のログ採取機能

クライアント PC で問題が発生したときに、ログを採取できます。ログファイルには、EUR での処理の経過もしくはプリンタドライバ、または OS 上で発生したエラーなど、処理中に発生した情報のログを出力します。

ログオプション設定ツールおよび EUR ログメンテナンスツールを使用することで、クライアント PC の環境に合わせたログファイルのメンテナンスオプションを設定できます。ログオプション設定ツールおよび EUR ログメンテナンスツールの詳細については、マニュアル「EUR クライアント帳票出力」を参照してください。

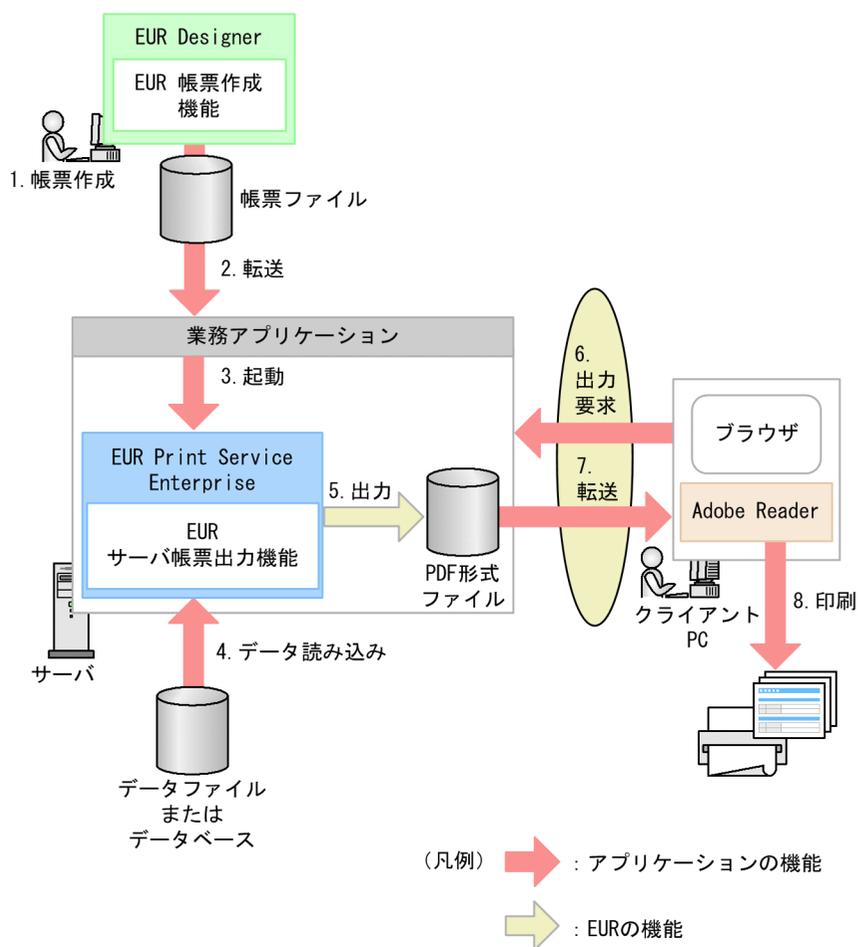
2.3 Web 環境で帳票を出力するときの特長

この節では、帳票を Web 環境で出力するときの特長について説明します。

2.3.1 PDF に出力した帳票を配布できる（PDF 形式ファイルの利用）

EUR では、PDF 形式ファイルを Web 上で配布して印刷できます。Web 上での PDF 形式ファイル印刷の流れを次の図に示します。

図 2-13 Web 上での PDF 形式ファイル印刷の流れ



1. EUR 帳票作成機能を使って、帳票を設計します。
2. PDF 形式ファイルを出力するサーバに帳票ファイルを転送します。

3. 業務アプリケーションから、EUR サーバ帳票出力機能を起動します。
4. EUR サーバ帳票出力機能がデータファイルまたはデータベースのデータを読み込み、帳票上に流し込みます。
5. EUR サーバ帳票出力機能が PDF 形式ファイルを出力します。
6. クライアント PC が業務アプリケーションに、PDF 形式ファイルの出力を要求します。
7. PDF 形式ファイルを要求のあったクライアント PC に転送します。
8. 転送された PDF 形式ファイルを印刷します。

このとき、クライアント PC では Adobe Reader を使用します。ブラウザ上では転送された PDF 形式ファイルをプレビューしてから印刷できます。

また、出力する PDF 形式ファイルは暗号化できます。暗号化については、「2.2.2 サーバで PDF 形式ファイルを出力できる」を参照してください。

(1) Adobe Reader の画面の制御

EUR では、PDF 形式ファイルを Adobe Reader で開くときに、次のことができます。

- PDF 形式ファイルを開いたときのツールやメニューの表示状態を設定したり、帳票を全画面表示したりといった、ビューアプレファレンスを実行できます。
- 「ページを開く」などのメニューを操作したときに、エラーを出したり、メールを送信したりといった、Acrobat JavaScript で指定した機能を実行できます。

Adobe Reader の動作を指定するためには、ビューアプレファレンス定義ファイルまたは Acrobat JavaScript 定義ファイルが必要です。ファイルの詳細については、マニュアル「EUR サーバ帳票出力」を参照してください。

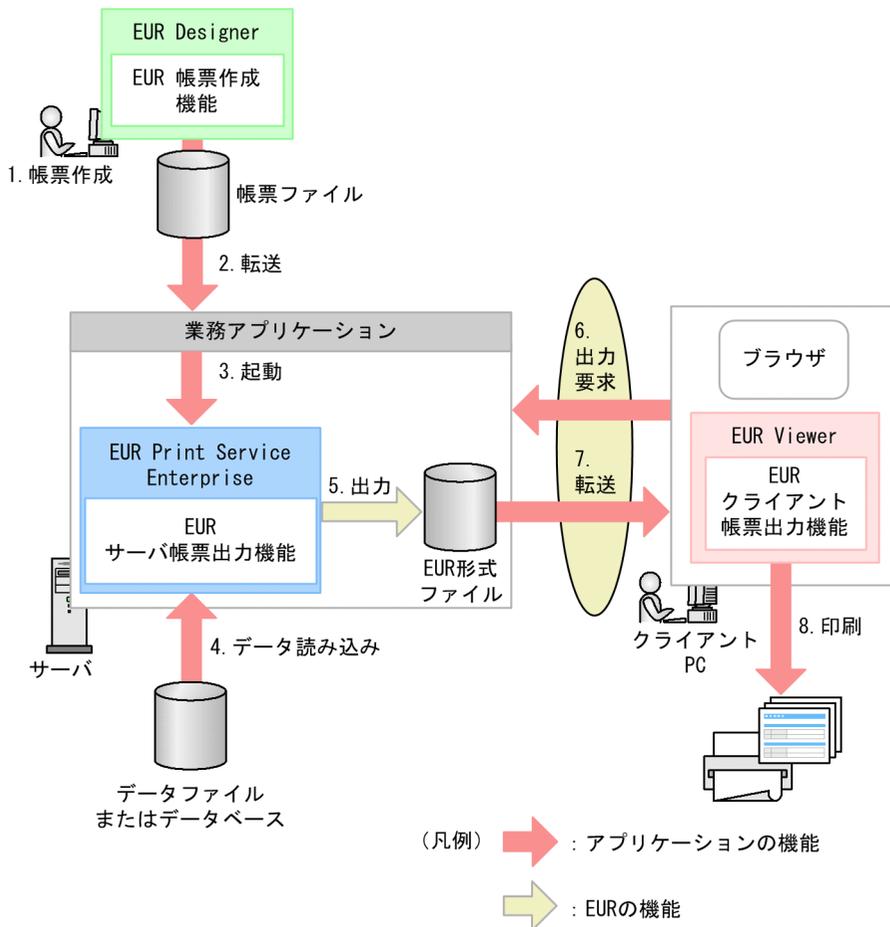
2.3.2 Web 環境で伝票を印刷できる (EUR 形式ファイルの利用)

EUR では設計した帳票を EUR 形式ファイルに出力して、Web 上で配布できます。EUR 形式ファイルとは、帳票ファイル、データファイル、および画像ファイルを結合して 1 ファイルに変換したファイルです。1 ファイルにまとめているので、Web 上で帳票を利用するときに便利です。

Web 上での EUR 形式ファイル印刷の流れを次の図に示します。

2. EUR の特長

図 2-14 Web 上での EUR 形式ファイル印刷の流れ



1. EUR 帳票作成機能を使って、帳票を設計します。
2. EUR 形式ファイルを出力するサーバに帳票ファイルを転送します。
3. 業務アプリケーションから、EUR サーバ帳票出力機能を起動します。
4. EUR サーバ帳票出力機能がデータファイルまたはデータベースのデータを読み込み、帳票上に流し込みます。
5. EUR サーバ帳票出力機能が EUR 形式ファイルを出力します。
6. クライアント PC が業務アプリケーションに、EUR 形式ファイルの出力を要求します。
7. EUR 形式ファイルを要求のあったクライアント PC に転送します。
8. 転送された EUR 形式ファイルを印刷します。

このとき、クライアント PC では EUR Viewer を使用します。

(1) 精密な伝票の印刷

EUR 形式ファイルでは、帳票印刷時に印刷位置を補正したり、バーコードの補正情報を指定したりできます。このため、プレプリント用紙に印刷する場合や、印刷するデータにバーコードが含まれる場合など、精密な伝票を印刷するときに有効です。

印刷位置の補正やバーコードの補正情報は、プリンタ定義ファイルに指定します。プリンタ定義ファイルの詳細については、マニュアル「EUR クライアント帳票出力」を参照してください。

(2) プレビュー画面の表示・非表示を指定

EUR 形式ファイルをクライアント PC で印刷するときに、プレビュー画面を表示してから印刷するか、プレビュー画面を表示しないで直接印刷するかどうかを選択できます。

プレビュー画面の表示・非表示は eurer コマンドで指定します。eurer コマンドの詳細については、マニュアル「EUR クライアント帳票出力」を参照してください。

(3) 問題発生時のログ採取機能 (Web 環境での印刷)

Web 環境で帳票を印刷する場合も、クライアント PC で問題が発生したときにはログを採取できます。ログ採取機能の詳細については「2.2.4(2) 問題発生時のログ採取機能」を参照してください。

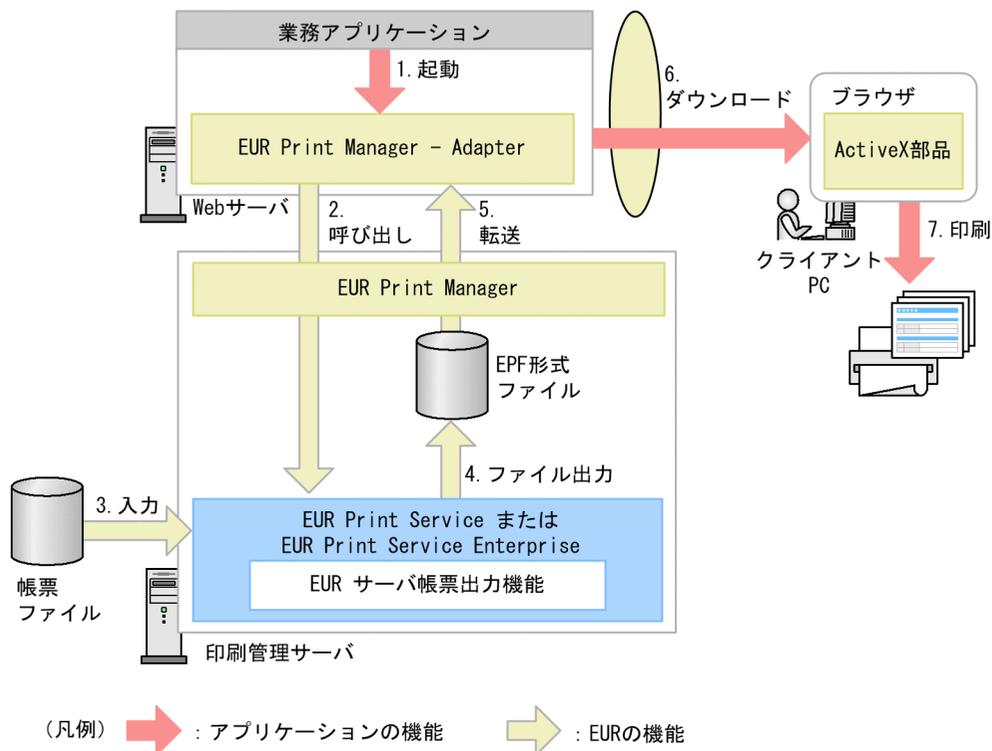
2.3.3 Web 上で帳票をダウンロードして印刷できる

EUR では設計した帳票を EPF 形式ファイルに出力することで、Web 上からダウンロードして印刷できます。

Web 上で EPF 形式ファイルをダウンロードして印刷する流れを次の図に示します。

2. EUR の特長

図 2-15 Web 上で EPF 形式ファイルをダウンロードして印刷する流れ



1. 業務アプリケーションから，EUR Print Manager - Adapter を起動します。
2. EUR Print Manager - Adapter が，印刷管理サーバ（印刷処理情報を振り分けるサーバ）の EUR Print Manager を呼び出します。
3. 配布された帳票ファイルを入力します。
4. EUR サーバ帳票出力機能を使用して，EPF 形式ファイルを出力します。
5. 出力された EPF 形式ファイルを，Web サーバに転送します。
6. クライアント PC の Web ブラウザに，EPF 形式ファイルをダウンロードします。
7. ダウンロードされた EPF 形式ファイルを印刷します。

このとき，クライアント PC には新しいソフトウェアをインストールする必要はありません。ActiveX 部品を使用することで，HTML の画面内に帳票を直接埋め込んで表示できます。

Adobe Reader や EUR Viewer を使用すると，PDF 形式ファイル，EUR 形式ファイルを出力することもできます。

(1) クライアント環境にデータを残さない処理方式

ActiveX 部品を使用すると、ダウンロードした帳票のデータを残しません。帳票のイメージは、ファイルではなくメモリ上に保持されます。

2.3.4 環境に応じた柔軟なサーバ構成にできる

(1) アプリケーションサーバと帳票サーバの切り離し

アプリケーションサーバと帳票サーバを分離した構成は、通信処理が複雑になります。

EUR Print Manager では、入力データの転送を自動で処理するため、アプリケーションサーバと帳票サーバを簡単に切り離すことができます。そのため、環境に応じた柔軟なサーバ構成にできます。

アプリケーションサーバと帳票サーバを切り離すことで、次のことができます。

- 業務ごとに使用している複数のアプリケーションサーバから帳票処理だけを分離して、帳票サーバに集約できます。
- アプリケーションサーバと複数の帳票サーバで構成したシステムを構築して、一時的に負荷が集中する帳票処理を負荷分散できます。

また、帳票サーバを切り離すことで、アプリケーションサーバの負担を軽減できます。

(2) 印刷リクエストの並列処理を制御

印刷リクエストが集中した場合、EUR Print Manager で、マルチスレッドによる印刷リクエスト処理の並列処理数を指定することで、印刷管理サーバの処理負荷を軽減できます。

印刷リクエスト処理の並列処理数の指定については、マニュアル「EUR Print Manager 帳票出力」を参照してください。

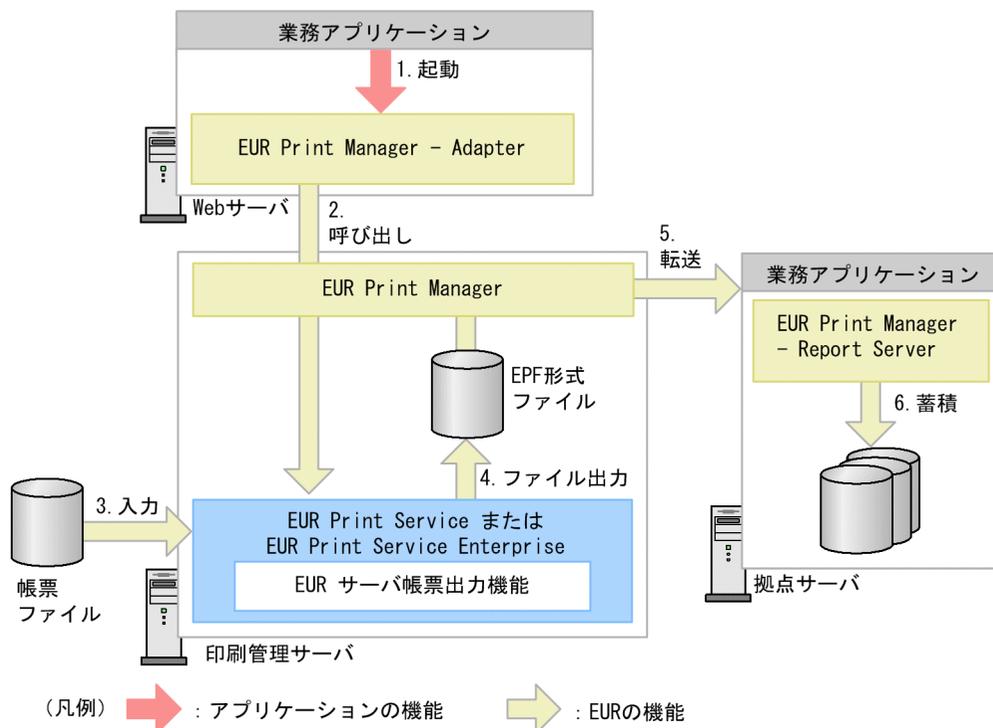
2.3.5 帳票を検索したり再印刷したりできる

EUR Print Manager では、帳票をサーバ内に蓄積して、帳票を検索したり、印刷要求があったときに呼び出して印刷したりできます。一度印刷したデータも蓄積しておけば再印刷できます。帳票をサーバに蓄積し、任意の時点で印刷する方法を蓄積印刷といいます。

帳票をサーバに蓄積する流れを次の図に示します。

2. EUR の特長

図 2-16 帳票をサーバに蓄積する流れ



1. 業務アプリケーションから、EUR Print Manager - Adapter を起動します。
2. EUR Print Manager - Adapter が、印刷管理サーバの EUR Print Manager を呼び出します。
3. 配布された帳票ファイルを入力します。
4. EUR サーバ帳票出力機能を使用して、EPF 形式ファイルを出力します。
5. EPF 形式ファイルを拠点サーバに転送します。
6. 拠点サーバに蓄積します。

蓄積した帳票は、そのまま拠点サーバで印刷したり、クライアント PC に配布して印刷したり、ブラウザからダウンロードして印刷したりできます。

帳票 (EPF 形式ファイル) を蓄積するとき、EPF 形式ファイルには検索のための属性情報を付けて蓄積されます。EPF 形式ファイルに属性情報が付けられたものを蓄積ファイルといいます。蓄積ファイルは、EUR Print Manager - Report Server Adapter の RS-ActiveX 起動部品、RS-Java 起動部品、または RS- コマンド起動部品によって、次に示す操作ができます。

- 蓄積フォルダにある蓄積ファイルの一覧取得
- 蓄積ファイルの属性値取得

- 蓄積ファイルの属性値変更
- 蓄積ファイルの取得
- 蓄積ファイルの削除
- 蓄積期限切れ蓄積ファイルの一括削除

蓄積印刷および各起動部品の詳細についてはマニュアル「EUR Print Manager 帳票出力」を参照してください。

(1) ネットワーク負荷の軽減

蓄積ファイルでは、EPF 形式ファイルは圧縮されています。このため、EPF 形式ファイルをそのままプリンタスプールに出力して印刷する場合に比べて、印刷処理でのネットワーク負荷を軽減できます。

また、配信先を切り換えながら複数クライアントにデータを配信できるので、定期的な一斉配信も簡単にできます。

(2) プリントスプールの負荷を軽減

印刷リクエストが集中すると、帳票サーバ内に一時保存される印刷データが増え、プリンタスプールの負荷が増大します。

蓄積印刷を利用して計画的に出力することで、プリンタスプールの負荷を軽減できます。

(3) 蓄積した帳票を GUI 画面で操作

蓄積した帳票は GUI 画面から検索できます。検索結果は画面上に一覧表示されます。帳票の印刷イメージや、印刷済みかどうかなどのステータスを確認してから印刷できるので、膨大な量の帳票が蓄積されている場合でも、目的の帳票を簡単に探すことができます。

なお、蓄積ファイルに対してアクセスを制限することもできます。

2.4 分散環境で帳票を出力するときの特長

この節では、分散環境で帳票を出力するときの特長について説明します。

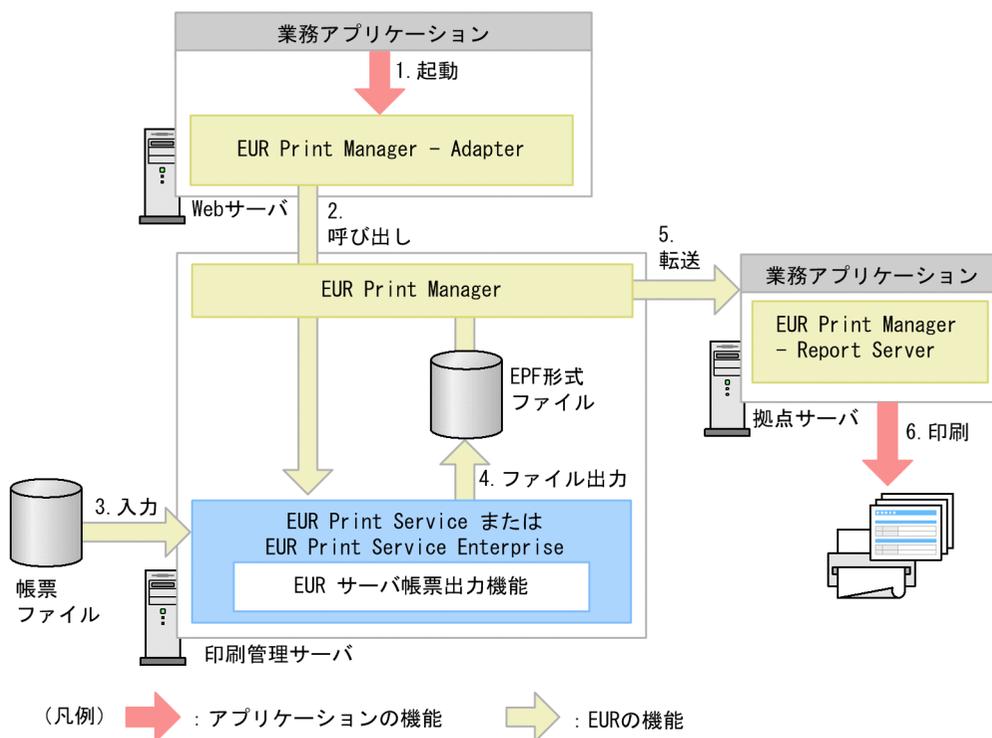
2.4.1 帳票を分散した拠点に配布して印刷できる

EUR Print Manager では、帳票を分散した拠点に配布して、拠点ごとに配置されたプリンタに自動で印刷できます。複数の拠点やクライアント PC のプリンタやトレイに振り分けができるので、多種多量の帳票を効率良く印刷できます。

(1) 拠点サーバでの印刷

帳票を分散した拠点サーバに配布して印刷する流れを次の図に示します。

図 2-17 帳票を分散した拠点サーバに配布して印刷する流れ



1. 業務アプリケーションから、EUR Print Manager - Adapter を起動します。
2. EUR Print Manager - Adapter が、印刷管理サーバの EUR Print Manager を呼び出します。
3. 配布された帳票ファイルを入力します。
4. EUR サーバ帳票出力機能を使用して、EPF 形式ファイルを出力します。

5. 出力された EPF 形式ファイルを，拠点サーバに転送します。

6. 転送された EPF 形式ファイルを印刷します。

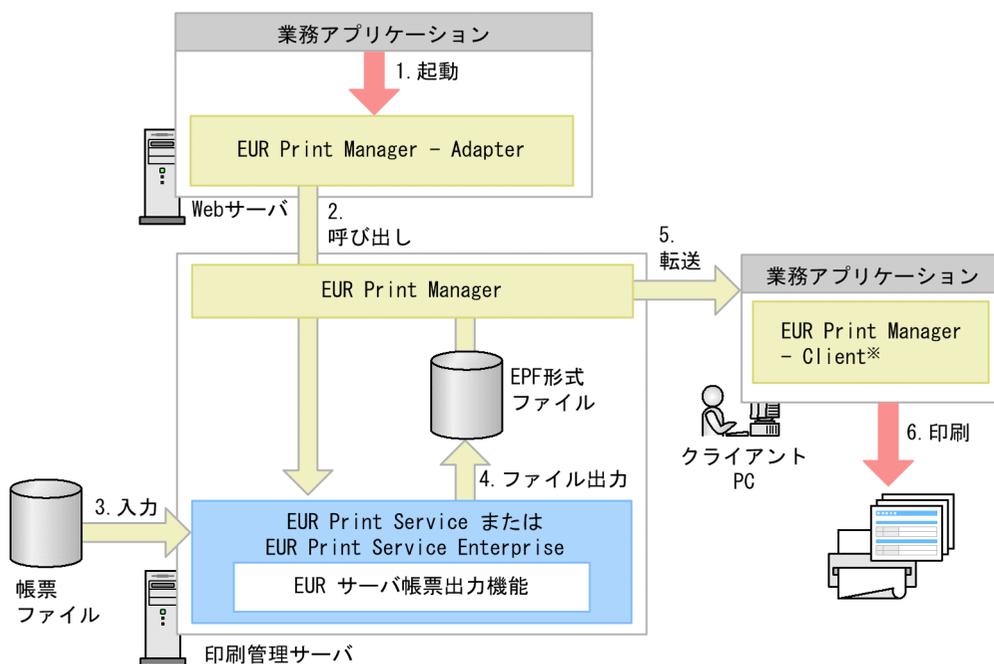
このとき，拠点サーバには EUR Print Manager - Report Server が必要です。

(2) クライアント PC での印刷

EUR Print Manager では，印刷管理サーバからクライアント PC に帳票を振り分けて，クライアント PC で帳票を印刷することもできます。

帳票をクライアント PC に配布して印刷する流れを次の図に示します。

図 2-18 帳票をクライアント PC に配布して印刷する流れ



注※ EUR Print Manager - Clientは，EUR Print Managerのコンポーネントの一つです。

帳票をクライアント PC に配布して印刷する場合，手順 4. までは拠点サーバで印刷する場合と同じです。出力された EPF 形式ファイルは手順 5. でクライアント PC に転送されて，手順 6. で印刷します。

このとき，クライアント PC には EUR Print Manager のコンポーネントの一つである EUR Print Manager - Client が必要です。

2.5 帳票を海外拠点で活用するときの特長

この節では、帳票を海外拠点で活用するときの特長について説明します。

2.5.1 英語，中国語，日本語の多国語に対応できる

EUR では、英語，中国語（簡体字および繁体字），および日本語の作業環境に対応しています。

作業環境のロケールによって、ダイアログやメッセージなどを表示する言語が切り替わります。英語や中国語を母国語とする人は母国語の環境で EUR を操作できるので、企業の海外拠点などで使用する場合に便利です。

英語，および中国語（簡体字）の作業画面を次に示します。

- 英語の作業画面

floor	classified goods	target figure (\$)	the amount sold	flo
B1	light	15,000	18,000	11
B1	answering machine	35,000	31,000	11

- 中国語（簡体字）の作業画面

2006年2月各层营

楼层	商品分类	营业额 (千元)	对上月 差额
	笔记本电脑	1,499.75	599.9
	台式电脑	497.5	▲99.5

楼层	商品分类	营业额 (千元)	对上月
	CD机	180	
	彩电	128.5	

1 / 1 页

点击或拖动鼠标选择项目

ロケールによっては使用できない機能があります。ロケールによって使用できない機能については、「3.3 各製品で使用できる機能」を参照してください。

また、EUR ではロケールに関係なく、英語、中国語、および日本語の混在した帳票を出力できます。

3

EUR シリーズの製品紹介

EUR シリーズには、いろいろな製品があります。これらの製品は、帳票を設計する開発環境と、帳票を印刷する実行環境の二つに大別できます。開発環境は実行環境も内蔵しています。それぞれの製品の特長と使用できる帳票機能について説明します。

-
- 3.1 開発環境
 - 3.2 実行環境
 - 3.3 各製品で使用できる機能
 - 3.4 インターフェース
-

3.1 開発環境

EUR の開発環境の製品には、次の二つがあります。

- EUR Designer（帳票の設計および印刷）
- EUR Developer（帳票の設計、印刷およびサーバ環境を想定した帳票出力の確認）

3.1.1 EUR Designer

EUR Designer は、帳票を設計する製品です。EUR Designer には次の機能が含まれています。

EUR 帳票作成機能

EUR クライアント帳票出力機能

(1) EUR 帳票作成機能

EUR 帳票作成機能は帳票を設計する機能です。EUR 帳票作成機能では、次のことができます。

- 帳票の設計
- 帳票を構成するアイテムの部品化
- データベースからのデータの読み込み
- SEWB+ で開発したアプリケーションと連携したバッチ業務の帳票印刷
(SEWB+ で開発したアプリケーションと連携する場合、SEWB+ で標準化したデータの情報が定義されているデータ項目辞書のレコード定義情報から、フィールド定義情報を作成して、帳票を設計します)
- JP1 と連携して仕分け印刷を実行するための仕分け情報の定義
- 帳票のデータの置き換え定義
- 帳票出力時のデータ置き換え
- 帳票の出力および表示
- 設計した帳票の定義情報を帳票定義情報ファイルとして出力

EUR 帳票作成機能の特長については、次の個所をあわせて参照してください。

- 2.1 帳票を設計するときの特長

(2) EUR クライアント帳票出力機能 (EUR Designer)

EUR クライアント帳票出力機能は、帳票を表示したり出力したりする機能です。ほかのプログラム (Visual Basic, Visual C++, COBOL など) で開発したアプリケーションから呼び出して、帳票を出力できます。

3.1.2 EUR Developer

EUR Developer は、帳票の設計からサーバ環境を想定した出力までを開発環境のマシンで確認できる製品です。EUR Developer には次の機能が含まれています。

EUR 帳票作成機能（「3.1.1(1) EUR 帳票作成機能」を参照）

EUR クライアント帳票出力機能（「3.2.1(1) EUR クライアント帳票出力機能（EUR Viewer）」を参照）

EUR サーバ帳票出力機能（「3.2.3(1) EUR サーバ帳票出力機能（EUR Print Service Enterprise）」を参照）

3.2 実行環境

EUR の実行環境の製品には、次の四つがあります。

- EUR Viewer (クライアント環境での帳票表示・出力)
- EUR Print Service (サーバ環境での帳票出力、および CSV 形式ファイルへの出力)
- EUR Print Service Enterprise (サーバ環境での帳票出力、および CSV・PDF・EUR・Excel 形式ファイルへの出力)
- EUR Print Manager (分散印刷環境での帳票出力)

3.2.1 EUR Viewer

EUR Viewer には、EUR クライアント帳票出力機能が含まれています。

(1) EUR クライアント帳票出力機能 (EUR Viewer)

EUR クライアント帳票出力機能は、システム部門などで開発した帳票を出力するための機能です。

次のことができます。

- 利用者の PC での帳票の表示・印刷
- CSV ファイルやデータベースのデータを自動的に入れ替えて出力
- データベースからデータを読み込んで、帳票を出力
- 帳票の文字列や数値を置き換えて出力
- アプリケーションから呼び出して帳票を出力

また、EUR Viewer では、EUR 形式ファイルを表示および出力できます。

EUR Viewer の特長については、次の個所をあわせて参照してください。

- 2.2.4 帳票を配布してクライアント環境で印刷できる
- 2.3.2 Web 環境で伝票を印刷できる (EUR 形式ファイルの利用)

3.2.2 EUR Print Service

EUR Print Service には、EUR サーバ帳票出力機能が含まれています。

(1) EUR サーバ帳票出力機能 (EUR Print Service)

EUR サーバ帳票出力機能は、大量データの帳票をワークステーションや Windows サーバ環境で出力するための機能です。帳票のデータ量 (レコード件数) が増えても必要なメモリが増加することなく、大量の帳票を出力できます。

次のことができます。

- サーバ環境での帳票印刷
- CSV ファイルやデータベースのデータを自動的に入れ替えて出力
- データベースからデータを読み込んで、帳票を出力
- 帳票の文字列や数値を置き換えて出力
- アプリケーションから呼び出して帳票を出力

また、JP1/Network Printing System が組み込まれている場合、JP1 と連携した仕分け印刷ができます。

EUR Print Service の特長については、次の個所をあわせて参照してください。

- 2.2.1 サーバで大量に印刷できる

3.2.3 EUR Print Service Enterprise

EUR Print Service Enterprise には、EUR サーバ帳票出力機能が含まれています。

(1) EUR サーバ帳票出力機能 (EUR Print Service Enterprise)

EUR Print Service Enterprise のサーバ帳票出力機能では、EUR Print Service のサーバ帳票出力機能に加えて次のことができます。

- 帳票を PDF 形式ファイルに出力
- 帳票を EUR 形式ファイルに出力
- 帳票を Excel 形式ファイルに出力

また、EUR Print Service - Cipher option と組み合わせることで、帳票を PDF 形式ファイル (Adobe Reader 対応) に出力するとき、出力するファイルを暗号化できます。複数の PDF 形式ファイルへの暗号化仕分け出力もできます。

EUR Print Service Enterprise の特長については、次の個所をあわせて参照してください。

- 2.2.2 サーバで PDF 形式ファイルを出力できる
- 2.2.3 帳票を Excel 形式ファイルに出力できる
- 2.3.1 PDF に出力した帳票を配布できる (PDF 形式ファイルの利用)
- 2.3.2 Web 環境で伝票を印刷できる (EUR 形式ファイルの利用)

3.2.4 EUR Print Manager

EUR Print Manager は、Web サーバやアプリケーションサーバとは別に、分散印刷環境として、印刷処理情報を振り分けるサーバ (印刷管理サーバ) を配置し、拠点サーバやクライアント PC のプリンタに自動的に帳票を振り分けて印刷する分散印刷環境を構築するための製品です。

次のことができます。

3. EUR シリーズの製品紹介

- 拠点サーバでの帳票印刷
- クライアント PC での帳票の印刷・表示
- 帳票の印刷データを拠点サーバに蓄積
- 拠点サーバに蓄積されたデータを呼び出して印刷
- 複雑なプリンタ出力の設定を画面で定義
- 複数の形式のファイルを出力
- アプリケーションから呼び出して帳票を出力
- 印刷リクエスト並列処理数を指定
- 印刷データの統合および分割
- 仕分け印刷

印刷管理サーバには EUR Print Manager が必要です。拠点サーバでの印刷をする場合には拠点サーバに EUR Print Manager - Report Server , クライアント PC での印刷をする場合にはクライアント PC に EUR Print Manager のコンポーネントの一つである EUR Print Manager - Client が必要です。

クライアント PC での印刷では、アプリケーションを使って Web ブラウザで帳票を表示することもできます。

EUR Print Manager の特長については、次の個所をあわせて参照してください。

- 2.3.3 Web 上で帳票をダウンロードして印刷できる
- 2.3.4 環境に応じた柔軟なサーバ構成にできる
- 2.3.5 帳票を検索したり再印刷したりできる
- 2.4 分散環境で帳票を出力するときの特長

3.3 各製品で使用できる機能

EURシリーズの各製品で使用できる機能を次の表に示します。

なお、帳票を編集する機能は、EUR Designer、および EUR Developer の EUR 帳票作成機能だけが持つ機能です。そのほかの製品が持つ機能は、EUR 帳票作成機能で作成した帳票を出力する機能です。

ただし、EUR 帳票作成機能 (EUR Form 帳票) については、マニュアル「EUR 帳票設計 (EUR Form 帳票)」を参照してください。

表中では、各製品の名称を次のように省略して表記します。

- EDES : EUR Designer
- EDEV : EUR Developer
- VIEW : EUR Viewer
- EPS : EUR Print Service
- EPSE : EUR Print Service Enterprise

表 3-1 各製品で使用できる機能

項目・機能		仕様	E D E S	E D E V	V I E W	E P S	E P S E
入力可能 ファイル	帳票ファイル	フォームシートファイル (*.fms)					
		レポートファイル (*.agr)				-	-
		EUR 形式ファイル (*.euv / *.eup)				-	-
用紙	用紙サイズ	A3・A4・A5・B4・B5 の縦横、連続紙、任意サイズ					
		はがき、リーガル					
		余白 0mm 用紙の設定					
データ	データ型	文字列、数値、日付、画像、バーコード					
	画像	モノクロ TIFF および GIF					
		カラー TIFF、カラー GIF、Windows ビットマップ、JPEG					
	バーコード	JAN (標準、短縮)、CODE39、CODE128 (コードセット B とコードセット C)、GS1-128 (UCC/EAN-128)、NW-7、ITF、QR コード、カスタマバーコード					

3. EUR シリーズの製品紹介

項目・機能		仕様	E D E S	E D E V	V I E W	E P S	E P S E
	バーコード補正	CODE39, CODE128, GS1-128 (UCC/EAN-128), QR コード					
修飾	データ修飾	前後付加文字, 文字間隔, 行間隔ポイント指定, 配置(上, 下, 右, 左, 中央, 均等), 任意書式指定					
		太字, 斜体					
		横書き, 縦書き					
		ワードラップ					
	数値データ修飾	コンマ表示, 指数表示, 小数点以下桁揃え, ゼロ埋め, 負符号文字・小数点文字の変更					
		ゼロの非表示(ゼロサプレス)					
		0または空白エリアの-(ハイフン)表示/非表示					
		CSV形式ファイル出力での小数点のピリオド出力指定	-	-	-		
	日付データ修飾	西暦, 和暦表示					
	フォント	Windowsに組み込まれた任意のフォントとサイズ					
	罫線	7種類の線種					
	線の幅	4種類の線幅, または任意の線幅指定					
	網掛け	14種類					
	図形	四角形, 角丸四角形, 円, 楕円, 多角形					
	色指定	文字, 罫線, 網掛けのフルカラー出力					
	アイテムの出力	指定したページだけにアイテムを出力					
アイテム内での桁数指定	アイテム枠内に入力できる桁数の指定						
条件付きアイテムの設定	表示・非表示の設定						
書式	繰り返し	データ, 罫線, 図形, 網掛けの縦横繰り返し, 改ブロック, 改ページ, まとめ表示					
	帳票ヘッダ定義	表紙/次紙(1ページ目と2ページ目が異なる様式)					
	集計データの書式の指定	データ修飾, 表示位置の変更					
	オブジェクト連携	OLE オブジェクトの出力	×	×	×	×	×

項目・機能		仕様	E D E S	E D E V	V I E W	E P S	E P S E
編集機能	下書き機能	帳票作成時に参考にする帳票の画像を帳票ウィンドウに表示			-	-	-
	ズーム機能	10% から 800% の範囲で拡大・縮小表示				-	-
	多段 UNDO 機能	直前の操作の取り消し			-	-	-
	多段 REDO 機能	元に戻した操作のやり直し			-	-	-
	サンプルデータ自動生成機能	帳票作成時にサンプルデータを自動生成			-	-	-
	アイテムの部品化	帳票を構成する複数のアイテムを一つの部品として登録, 編集, 貼り付け			-	-	-
演算	集計機能	キー集計および総集計 (合計, 平均, 件数, 最大, 最小)					
		式・関数(四則演算, 論理演算, 文字列演算, 集計関数, 変換関数, 日付関数, 数学関数, 文字列関数, システム関数)				×	×
入力できるデータ	データベース (HiRDB, Oracle, SQL Server, XDM/RD E2)	データベースとの接続					
		データベースのデータを入力して帳票に出力					
	テキストファイル	CSV 形式ファイル, および FIX 形式ファイル					
	SEWB+ 経由	SEWB+ のデータ項目辞書のレコード定義情報からフィールド定義情報の読み込み			-	-	-
データベース連携	データの抽出	データベースの表からフィールドの定義			-	-	-
		抽出条件の設定					
		データの抽出確認			×	×	×
運用	仕分け	仕分けキー, 仕分け先プリンタの定義			-	-	-
		JP1 連携による仕分け印刷 (Windows 版だけ)	×	×	×		
		仕分けキー, 仕分け先 PDF 形式ファイルの定義	×		×	×	
	暗号化	オーナーパスワード, ユーザパスワード, パスワードの暗号化, 印刷, 文書の変更, 内容のコピーまたは抽出, 注釈とフォームフィールドの作成	×	×	×	×	

3. EUR シリーズの製品紹介

項目・機能		仕様	E D E S	E D E V	V I E W	E P S	E P S E
		仕分けキー，仕分け先 PDF 形式ファイル，および暗号化の定義	×	×	×	×	
	一括出力	複数帳票の一括出力	×		×		
		複数様式の帳票出力					
	JP1 連携機能	印刷時のエラーリカバリ					
	プリンタ給紙トレイ指定	トレイコード指定					
	プリンタ印刷位置補正	プリンタ出力時の水平シフト量，および垂直シフト量の指定 PDF 出力時の出力位置補正					
	ログ採取	実行ログ採取機能					
	トレース情報採取	トレース情報採取機能	-		-		
	起動インターフェース	コマンド					
		DLL，OLE オートメーション，OCX				×	×
		ActiveX，JavaBeans	×		×		
	対応プリンタ	Windows 対応プリンタ					
		LIPSIII 対応プリンタ，PostScript Level2 対応プリンタ，および ESC/P 対応プリンタ（UNIX / Linux 版だけ）	-	-	-		
	出力ページ数の取得	帳票を出力したときの出力ページ数をファイルに出力	-		-		
	出力データの置き換え	出力用のデータの内容を，指定した情報に置き換えて出力					
その他	外字対応機能	Unicode，Shift JIS					
	PDF 形式ファイル	しおり機能，解像度の指定	-		-	-	
	EUR 形式ファイル	帳票定義ファイルとデータファイルを一つのパッケージにした EUR 形式ファイルに出力	-		-	-	
	Excel 形式ファイル	Microsoft(R) Office Excel 2007 および Microsoft(R) Office Excel 2010 で表示・編集できる Excel 形式ファイル (*.xlsx) に出力	-		-	-	
	帳票イメージの CSV 形式ファイル出力	EUR で設計した帳票を，帳票イメージで CSV 形式ファイルに出力	-		-		

項目・機能		仕様	E D E S	E D E V	V I E W	E P S	E P S E
	EUR 帳票ファイルの定義情報の出力	EUR で設計した帳票の定義情報を、帳票定義情報ファイルに出力			-	-	-

(凡例)

- : 使用できます
- : 使用できますが、一部制限があります
- × : 使用できません
- : 該当しません

注 EUR Print Service - Cipher option が必要です。

参考

各機能を使用する際の注意事項や制限事項については、次のマニュアルを参照してください。

- EUR Designer , EUR Developer での EUR 帳票作成機能を使用する場合
マニュアル「EUR 帳票設計」を参照してください。
- EUR Designer , EUR Developer , EUR Viewer での EUR クライアント帳票出力機能を使用する場合
マニュアル「EUR クライアント帳票出力」を参照してください。
- EUR Developer , EUR Print Service , EUR Print Service Enterprise での EUR サーバ帳票出力機能を使用する場合
マニュアル「EUR サーバ帳票出力」を参照してください。

3.4 インターフェース

EUR シリーズが提供しているインターフェースについて説明します。

3.4.1 クライアント環境での帳票の出力

EUR 帳票作成機能および EUR クライアント帳票出力機能で提供されているインターフェースを次に示します。それぞれのインターフェースの設定方法については、マニュアル「EUR クライアント帳票出力」を参照してください。

(1) OLE オートメーション

EUR 帳票作成機能、および EUR クライアント帳票出力機能では、OLE オートメーションを開発するためのインターフェースを提供しています。OLE オートメーションは、Visual Basic で作成したアプリケーションで使用できます。

OLE オートメーションを使用すると、アプリケーションと同期を取って印刷できます。

(2) OCX

EUR 帳票作成機能、および EUR クライアント帳票出力機能では、OCX を開発するためのインターフェースを提供しています。OCX は、Visual Basic で作成したアプリケーションで使用できます。OCX を使用すると、EUR を OCX 対応のアプリケーションの部品として登録できます。EUR 部品では、EUR のプロパティをプロパティ設定用の画面で指定できるため、ソースコードの記述を少なくできます。

OCX を使用すると、アプリケーションと同期を取って印刷できます。

(3) DLL 関数

EUR 帳票作成機能、および EUR クライアント帳票出力機能では、DLL を開発するためのインターフェースを提供しています。DLL は、Visual Basic、Visual C++ などで作成したアプリケーションで使用できます。

DLL インターフェース関数を使用すると、アプリケーションと同期を取って印刷できます。

(4) コマンド

EUR 帳票作成機能、および EUR クライアント帳票出力機能では、コマンドから EUR を起動して帳票を出力するために `apgrpt` コマンドを提供しています。`apgrpt` コマンドは、Visual Basic、Visual C++、COBOL で作成したアプリケーションや MS-DOS(R) のバッチファイルなどから使用できます。

EUR 帳票作成機能、および EUR クライアント帳票出力機能では、Web クライアント環

境から帳票を出力するための `eurer` コマンドを提供しています。

参考

Web クライアント環境から帳票を出力するには、EUR で設計した帳票を EUR 形式ファイルにしておく必要があります。

EUR 形式ファイル出力については、マニュアル「EUR サーバ帳票出力」を参照してください。

3.4.2 サーバ環境での帳票の出力

EUR サーバ帳票出力機能で提供されているインターフェースを次に示します。それぞれのインターフェースの設定方法については、マニュアル「EUR サーバ帳票出力」を参照してください。

(1) コマンド

EUR サーバ帳票出力機能では、コマンドから EUR サーバ帳票出力機能を起動して帳票を出力するために `eurps` コマンドを提供しています。`eurps` コマンドは、Visual Basic、Visual C#、COBOL で作成したアプリケーションや JP1 などの運用ツールから使用できます。

(2) ActiveX

EUR サーバ帳票出力機能では、サーバアプリケーションから EUR サーバ帳票出力機能を起動して帳票出力するために、ActiveX オブジェクトを提供しています。ActiveX オブジェクトは、VBScript や Visual Basic で使用できます。

ActiveX オブジェクトを利用することで、Web サーバ上のサーバアプリケーションから帳票を印刷したり、PDF 形式ファイルに出力したりできます。

(3) JavaBeans

EUR サーバ帳票出力機能では、サーバ側で動作する Java プログラムから EUR サーバ帳票出力機能を起動して帳票出力できる JavaBeans 起動部品を提供しています。

Web サーバ側のアプリケーション実行環境 (Java サーブレット、JSP、および EJB) から JavaBeans 起動部品を利用することで、サーバ側のアプリケーションを効率良く作成できます。

JavaBeans 起動部品を利用することで、Web サーバ上のサーバアプリケーションから帳票を印刷したり、PDF 形式ファイルに出力したりできます。

3.4.3 分散環境での帳票の出力

EUR Print Manager で提供されているインターフェースを次に示します。それぞれのインターフェースの設定方法については、マニュアル「EUR Print Manager 帳票出力」を参照してください。

(1) ActiveX

EUR Print Manager では、次の 2 種類の ActiveX 起動部品を提供しています。

- サーバアプリケーションから EUR Print Manager を起動して帳票出力できる ActiveX 起動部品
- サーバアプリケーションから EUR Print Manager - Report Server を起動して、蓄積した印刷データを操作できる RS-ActiveX 起動部品

ActiveX 起動部品は、VBScript や Visual Basic で使用できます。

ActiveX 起動部品を利用することで、Web サーバと印刷サーバを分散サーバ構成で構築できます。印刷結果は、EPF 形式、EUR 形式 PDF 形式、および Excel 形式のどれかを選択できますので、利用形態に合わせた配信形式を選択できます。

(2) Java

EUR Print Manager では、次の 2 種類の Java 起動部品を提供しています。

- サーバ側で動作する Java プログラムから EUR Print Manager を起動して帳票出力できる Java 起動部品
- サーバ側で動作する Java プログラムから EUR Print Manager - Report Server を起動して、蓄積した印刷データを操作できる RS-Java 起動部品

Web サーバ側のアプリケーション実行環境 (Java サブレット, JSP, および EJB) から Java 起動部品を利用することで、サーバ側のアプリケーションを効率良く作成できます。

Java 起動部品を利用することで、Web サーバと印刷サーバを分散サーバ構成で構築できます。印刷結果は、EPF 形式、EUR 形式、PDF 形式、および Excel 形式のどれかを選択できますので、利用形態に合わせた配信形式を選択できます。

(3) COBOL

EUR Print Manager では、COBOL 言語で記述されたプログラムから EUR Print Manager を起動して帳票を出力できる COBOL 起動部品を提供しています。

(4) コマンド

EUR Print Manager では、次の 3 種類のコマンドを提供しています。

- EUR Print Manager の起動や停止を制御できる eurpmctrl コマンド
- EUR Print Manager を起動して、印刷や蓄積を制御できる eurpmc コマンド
- EUR Print Manager - Report Server を起動して、蓄積した印刷データを操作できる eurplsc コマンド

付録

付録 A このマニュアルの参考情報

付録 B 用語解説

付録 A このマニュアルの参考情報

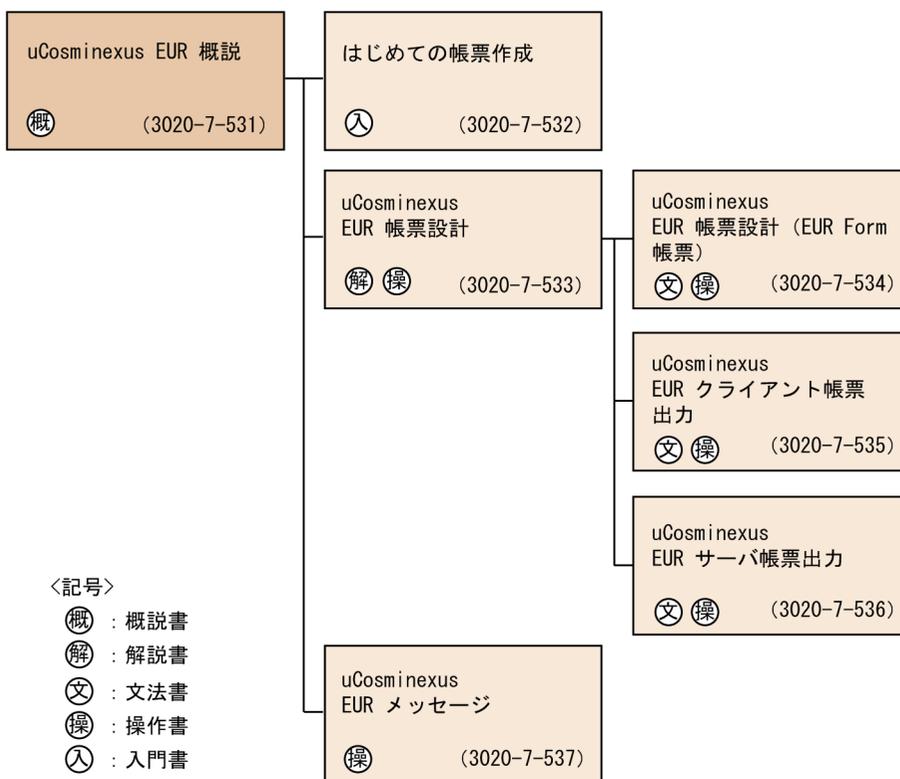
このマニュアルを読むに当たっての参考情報を示します。

付録 A.1 関連マニュアル

関連マニュアルを次に示します。必要に応じてお読みください。

(1) EUR のマニュアル

EUR の関連マニュアルを次に示します。



- uCosminexus EUR 概説 (3020-7-531)
このマニュアルです。EUR とはどのような製品であるか、どんなことができるのか、uCosminexus EUR を使用する利点はどのようなものかについて説明しています。また、シリーズマニュアル内で使用する用語についても説明しています。
- はじめての帳票作成 (3020-7-532)
EUR 帳票作成機能をまだ使用したことのない人向けに、簡単な帳票を作成する方法について説明しています。
- uCosminexus EUR 帳票設計 (3020-7-533)

EUR 帳票作成機能を使用して帳票を設計する方法について説明しています。

- uCosminexus EUR 帳票設計 (EUR Form 帳票) (3020-7-534)
EUR Form 帳票作成機能を使用して EUR Form 帳票を作成する方法について説明しています。
- uCosminexus EUR クライアント帳票出力 (3020-7-535)
EUR クライアント帳票出力機能を使用してクライアント環境で帳票を出力する方法について説明しています。
- uCosminexus EUR サーバ帳票出力 (3020-7-536)
EUR サーバ帳票出力機能を使用してサーバ環境で帳票を出力する方法について説明しています。
- uCosminexus EUR メッセージ (3020-7-537)
EUR を使用しているときに出力されるメッセージについて説明しています。

(2) EUR Print Manager のマニュアル

EUR Print Manager は、EUR Designer で設計した帳票を分散印刷環境で出力する製品です。EUR Print Manager の関連マニュアルを次に示します。

- uCosminexus EUR Print Manager 帳票出力 (3020-7-538)
EUR Print Manager を使用して分散印刷環境で帳票を出力する方法について説明しています。
- uCosminexus EUR Print Manager メッセージ (3020-7-539)
EUR Print Manager を使用しているときに出力されるメッセージについて説明しています。

(3) このマニュアルでのマニュアル名表記

このマニュアルでは、マニュアル名について、次のように表記しています。

マニュアル名	表記
uCosminexus EUR 帳票設計	EUR 帳票設計
uCosminexus EUR 帳票設計 (EUR Form 帳票)	EUR 帳票設計 (EUR Form 帳票)
uCosminexus EUR クライアント帳票出力	EUR クライアント帳票出力
uCosminexus EUR サーバ帳票出力	EUR サーバ帳票出力
uCosminexus EUR メッセージ	EUR メッセージ
uCosminexus EUR Print Manager 帳票出力	EUR Print Manager 帳票出力
uCosminexus EUR Print Manager メッセージ	EUR Print Manager メッセージ

付録 A.2 EUR バージョン 8 でのマニュアル体系の変更

EUR バージョン 8 では、マニュアル体系を変更しました。体系変更後の各マニュアルの記載内容を次の表に示しますので、利用目的に応じてご利用ください。

マニュアル名		記載内容の概略
バージョン 7	バージョン 8	
EUR 概説 (3 章・4 章以外)	uCosminexus EUR 概説	<ul style="list-style-type: none"> 製品・機能概要 EUR シリーズの製品紹介
EUR 概説 (3 章)	uCosminexus EUR 帳票設計	<ul style="list-style-type: none"> 表紙のある帳票の作成概要 複数様式の帳票の作成概要
EUR 概説 (4 章)	はじめての帳票作成	帳票を作成する手順
EUR 帳票設計	uCosminexus EUR 帳票設計	EUR 帳票作成機能を使用した帳票設計
EUR 帳票設計 (EUR Form 帳票)	uCosminexus EUR 帳票設計 (EUR Form 帳票)	EUR 帳票作成機能 (EUR Form 帳票) を使用した帳票設計
EUR 帳票出力	uCosminexus EUR クライアント帳票出力	EUR クライアント帳票出力機能を使用した帳票出力
EUR Print Service 帳票出力	uCosminexus EUR サーバ帳票出力	EUR サーバ帳票出力機能を使用した帳票出力
EUR メッセージ	uCosminexus EUR メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> EUR 帳票作成機能, EUR クライアント帳票出力機能のメッセージ EUR 帳票作成機能 (EUR Form 帳票) のメッセージ EUR サーバ帳票出力機能のメッセージ DABroker のメッセージ

付録 A.3 このマニュアルでの表記

このマニュアルでは、uCosminexus EUR の各製品について、次のように表記しています。

製品名称	表記	
uCosminexus EUR Designer	EUR Designer	
uCosminexus EUR Developer	EUR Developer	
uCosminexus EUR Viewer	EUR Viewer	
uCosminexus EUR Print Service	EUR Print Service	
uCosminexus EUR Print Service Enterprise	EUR Print Service Enterprise	
uCosminexus EUR Print Service - Cipher option	EUR Print Service - Cipher option	
uCosminexus EUR Print Manager	EUR Print Manager	
uCosminexus EUR Print Manager - Report Server	EUR Print Manager - Report Server	
uCosminexus EUR Form Service	EUR Form Service	EUR Form
uCosminexus EUR Form Service - Data Store option	EUR Form Service - Data Store option	

uCosminexus EUR 以外の製品名称などについては、次のように表記しています。

製品名称	表記	
AIX 5L V5.3 AIX V6.1 AIX V7.1	AIX	
COBOL85	COBOL	
DABroker 03-05 以降 DABroker 03-07 以降 DABroker 03-11-/A 以降 DABroker 03-13 以降 DABroker 03-15 以降 DABroker 03-16 以降	DABroker	
HiRDB/Run Time Version 7 07-00 以降 HiRDB/Developer's Kit Version 7 07-00 以降 HiRDB/Run Time Version 7(64) 07-00 以降 HiRDB/Developer's Kit Version 7(64) 07-00 以降 HiRDB/Run Time Version 8 08-00 以降 HiRDB/Developer's Kit Version 8 08-00 以降 HiRDB/Run Time Version 8(64) 08-00 以降 HiRDB/Developer's Kit Version 8(64) 08-00 以降 HiRDB/Run Time Version 9 09-00 以降 HiRDB/Developer's Kit Version 9 09-00 以降 HiRDB/Developer's Suite Version 9 09-00 以降 HiRDB/Run Time Version 9(64) 09-00 以降 HiRDB/Developer's Kit Version 9(64) 09-00 以降 HiRDB Server Version 9 09-00 以降 HiRDB Server with Additional Function Version 9 09-00 以降	HiRDB	
HP-UX 11i V2(IPF) HP-UX 11i V3(IPF)	HP-UX	
Itanium(R) Processor Family	IPF	
JP1/Network Printing System 07-00 以降	JP1/Network Printing System	JP1
JSP™	JSP	
Oracle9i 9.0.1 Oracle9i 9.2.0	Oracle9i	Oracle
Oracle 10g 10.1.0 Oracle 10g 10.2.0	Oracle 10g	
Oracle Database 11g 11.1.0 Oracle Database 11g R2 11.2.0	Oracle 11g	

製品名称	表記
Red Hat Enterprise Linux(R) 5(AMD/Intel 64) Red Hat Enterprise Linux(R) 5(x86) Red Hat Enterprise Linux(R) 5 Advanced Platform(AMD/Intel 64) Red Hat Enterprise Linux(R) 5 Advanced Platform(x86) Red Hat Enterprise Linux(R) AS 4(AMD64 & Intel EM64T) Red Hat Enterprise Linux(R) AS 4(x86) Red Hat Enterprise Linux(R) ES 4(AMD64 & Intel EM64T) Red Hat Enterprise Linux(R) ES 4(x86)	Linux
Software Engineering Workbench+	SEWB+
VOS3 XDM/RD E2	XDM/RD E2

このほか、このマニュアルでは、次に示す表記を使用しています。

- EUR の各製品を区別する必要がない場合は、総称して EUR と表記します。
- EUR Designer , EUR Developer の帳票作成機能を「EUR 帳票作成機能」と表記します。
- EUR Developer の EUR Form 帳票作成機能を「EUR 帳票作成機能 (EUR Form 帳票)」と表記します。
- EUR Designer , EUR Developer , EUR Viewer のクライアント環境での帳票出力機能を「EUR クライアント帳票出力機能」と表記します。
- EUR Developer , EUR Print Service , EUR Print Service Enterprise のサーバ環境での帳票出力機能を「EUR サーバ帳票出力機能」と表記します。

付録 A.4 このマニュアルで使用する略語

このマニュアルで使用する英略語を次に示します。

英略語	英字での表記
COBOL	COmmon Business Oriented Language
CPI	Characters Per Inch
CSV	Comma Separated Value
DLL	Dynamic Linking Library
EJB	Enterprise JavaBeans
EUR	End-User Reporting
GIF	Graphics Interchange Format
HTTP	Hyper Text Transfer Protocol
ID	IDentifier
ISO	International Organization for Standardization

英略語	英字での表記
JIS	Japanese Industrial Standards
LAN	Local Area Network
LPI	Lines Per Inch
MSI	Microsoft Windows Installer
OCX	OLE Custom Control (OLE Control eXtension)
OLE	Object Linking and Embedding
PDF	Portable Document Format
PDL	Page Description Language
JSP	Java Server Pages
UAP	User Application Program
WAN	Wide Area Network
XML	eXtensible Mark-up Language

付録 A.5 KB (キロバイト) などの単位表記について

1KB (キロバイト), 1MB (メガバイト), 1GB (ギガバイト), 1TB (テラバイト) はそれぞれ $1,024$ バイト, $1,024^2$ バイト, $1,024^3$ バイト, $1,024^4$ バイトです。

付録 B 用語解説

(英字)

Acrobat JavaScript ファイル

PDF 形式ファイルに埋め込まれる JavaScript プログラムを指定したファイルです。Acrobat JavaScript ファイルを使用すると、Adobe Reader の「ページを開く」などのメニューを操作したときに、エラーを出力したり、メールを送信したりするなどの機能を設定できます。

CODE128 バーコード

JIS X 0504 で規格化されている「コード 128」です。EUR では「CODE128」と表記します。「CODE128」は、流通、物流などで使われているバーコードです。CODE128 バーコードの表示例を次に示します。



CODE39 バーコード

JIS X 0503 で規格化されている「コード 39」です。EUR では「CODE39」と表記します。「CODE39」は、工場の生産ラインや在庫管理などで使われているバーコードで、OA 機器などでも使われています。CODE39 バーコードの表示例を次に示します。



CODE39 バーコードは、ほかのアプリケーションプログラムでは「Code-39」、「CODE」などと呼ばれています。

eurer コマンド

EUR 形式ファイルのプレビュー、またはプリンタ印刷を指定するコマンドです。eurer コマンドでは、EUR 形式ファイルのプレビュー、またはプリンタ印刷の指定以外に、指定できる項目はありません。

EUR クライアント帳票出力機能

EUR Designer、EUR Developer、EUR Viewer のクライアント環境での帳票出力機能を指します。

EUR 形式ファイル

EUR の独自形式の印刷データファイルです。帳票定義ファイルとデータファイル（マッピングデータファイル、ユーザ定義データファイル、および画像ファイル）を一つのパッケージにしたファイルで、PDF 形式よりもサイズが小さく、ネットワーク負荷を軽減できます。

EUR サーバ帳票出力機能

EUR Developer, EUR Print Service, EUR Print Service Enterprise のサーバ環境での帳票出力機能を指します。

EUR 帳票作成機能

EUR Designer, EUR Developer の帳票作成機能を指します。

GS1-128 (UCC/EAN-128) バーコード

GS1-128 (UCC/EAN-128) バーコードは、国際 EAN 協会が物流情報や商取引情報を表示する流通補足バーコードシンボルとして開発したものです。高度な商品管理や物流管理に対応します。CODE128 をベースにアプリケーションを規格化したバーコードシンボルです。

ITF バーコード

JIS X 0502 で規格化されている「物流商品コード用バーコードシンボル」です。EUR では「ITF」と表記します。

「ITF」は、主に流通情報システムに利用する、物流商品コードとして標準化されているバーコードです。また、身近なところでは、ビデオテープレコーダーへのバーコード予約や図書館の貸出予約などでも使われています。

「ITF」は、1文字を5本の黒バー（2本は太エレメント、3本は細エレメントの構成）で表す、「Interleaved Two of Five」から改良されたバーコードです。現在では、黒バー間の空白を白バーとして有効利用した、数字2桁で一つのバーコードキャラクタを示します。

ITF バーコードの表示例を次に示します。



ITF バーコードには、標準バージョン、拡張バージョン、およびアドオンバージョンがあります。

JAN 標準 / JAN 短縮バーコード

JIS X 0501 で規格化されている「共通商品コード用バーコードシンボル」です。EUR では、「JAN 標準」「JAN 短縮」と表記します。

「JAN 標準」「JAN 短縮」は、主に POS (point of sale) システムを中心とした流通情報システムに利用されているバーコードです。書籍、文具、たばこ、食品など、90% 以上の小売商品に印刷され使われています。

JAN 標準バーコードの表示例を次に示します。



JAN 標準 / JAN 短縮バーコードは、ほかのアプリケーションプログラムでは「JAN-13・JAN-8」、「JAN-標準・JAN-短縮」などと呼ばれています。

NW-7 バーコード

JIS X 0506 で規格化されている「コーダバー」です。EUR では「NW-7」と表記します。

「NW-7」は、宅配便の伝票、図書館、血液銀行、各種会員カードなどで使われているバーコードです。「NW-7」は、1文字を7本の Narrow（細エレメント）と Wide（太エレメント）で表すことを意味しています。

NW-7 バーコードの表示例を次に示します。



PDL ファイル

PDL（ページ記述言語）で書かれたファイルのことです。

QR コード

JIS X 0510 で規格化されている 2次元コードシンボル「QR コード」です。「QR コード」とは、「Quick Response Code」を短く表現した名前です。

JIS で規格化されている、JAN 標準 / JAN 短縮、ITF、CODE39、CODE128、NW-7 は、水平方向に情報を持つものに対して、QR コードは、水平方向と垂直方向に情報を持つので「2次元コード」とも呼ばれています。

2次元コードの特徴を次に示します。

- 多大なデータ量を扱えます。また、英数字、かな、漢字なども扱えます。
- 高密度印字ができます。そのため、縦横 1cm で表現することもできます。
- エラー検出機能と訂正機能があるので、使用環境の悪い場所でも、データを復元できます。
- 360 度全方向から読み取りできます。

これらの特徴から、物流、製造分野では、商品受注管理、商品明細情報など、サービス業では、不正入場を防止するような入場券などで使われています。

QR コードは、情報を白黒交互のマス目（セル）で縦横モザイク上に表現したコードです。QR コードの表示例を次に示します。



SQL

データベースに対して問い合わせたりデータを操作したりするための標準的な言語です。ODBC では、X / Open and SQL Access Group (SAG) SQL CAE (1992 年) に基づく SQL 構文を標準として採用しています。

TWAIN

スキャナやデジタルカメラなどの画像を取り込むための機器と、画像を扱うソフトウェアとの間をスムーズにするための標準規格です。

Windows 標準外字ファイル

Windows の外字エディタで「すべてのフォントにリンクする」を選択した外字が登録される外字

ファイル (EUDC.TTE) のことです。

(ア行)

アイテム

文字、罫線のほか、帳票に配置する角丸四角形や、円などの図形、網掛け、画像データ、バーコードのことです。また、マッピングデータウィンドウから貼り付けたデータもアイテムとして扱います。

文字アイテム

マッピングデータ (データウィンドウから取り込んだ画像データとバーコードデータを除く) および固定文字列の総称です。

線アイテム

帳票上に配置された水平線、垂直線、および矩形線のことです。

図形アイテム

帳票上に配置された網掛けアイテム、角丸四角アイテム、円 / 楕円アイテム、および多角形アイテムです。

網掛けアイテム

帳票上に配置された網掛けです。網掛けアイテムは、図形アイテムの一つです。

角丸四角アイテム

帳票上に配置された、角を丸くした四角形です。角丸四角アイテムは、図形アイテムの一つです。例えば、「明細書」、「領収書」などの文字や、集計した金額などを目立たせるように帳票上に作成しておくことと便利です。

円 / 楕円アイテム

帳票上に配置された円 / 楕円です。円 / 楕円アイテムは、図形アイテムの一つです。例えば、書類の配布先・回覧先を示したり、印を押す場所を示したりするとき、帳票上に作成しておくことと便利です。

多角形アイテム

帳票上に配置された、ユーザが任意に作成した多角形です。多角形アイテムは、図形アイテムの一つです。例えば、矢印や星印など、注意を引きたい個所に作成しておくことと便利です。

画像アイテム

帳票上に配置された、画像データです。画像アイテムには、データウィンドウから貼り付けた画像データと画像ファイルから貼り付けた画像データがあります。画像ファイルから貼り付けた画像データを固定画像といいます。

バーコードアイテム

帳票上に配置されたバーコードのことです。EUR で指定できるバーコードは、JIS X 0501 (JAN 標準, JAN 短縮), X 0502 (ITF), X 0503 (CODE39), X 0504 (CODE128), X 0506 (コーダバー (NW-7)), X 0510 (QR コード), および郵便事業株式会社が定めるカスタマバーコードです。

ページ番号アイテム

帳票の任意の位置に現在のページ番号を表示するアイテムです。

印刷日付アイテム

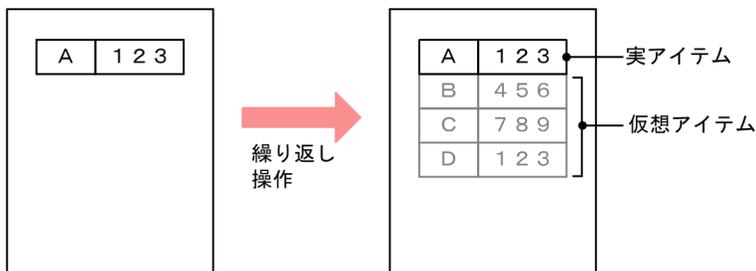
帳票内の任意の位置に、現在の日付を表示するアイテムです。帳票を印刷すると、印刷した日付が表示・印刷されます。

印刷時刻アイテム

帳票内の任意の位置に、現在の時刻を表示するアイテムです。帳票を印刷すると、印刷した時刻が表示・印刷されます。

実アイテム

直接入力した固定文字列、直接貼り付けたデータ、線、図形、および画像です。ユーザが直接編集して属性を設定できるのは、実アイテムだけです。実アイテムに属性を設定すれば、仮想アイテムにはその属性がそのまま反映されます。



仮想アイテム

実アイテムを基に、繰り返しを使用して貼り付けたアイテムです。

(カ行)

改ブロック

特定のフィールドをキーとして設定しておくことで、そのデータが変わった時点で表を強制的に分割する機能です。

改ページ

データ中の特定のフィールドをキーとして指定しておくことで、そのデータが変わった時点で改ページする機能です。

カスタマバーコード

郵便事業株式会社が定めるバーコードです。カスタマバーコードは、郵便物に書かれた住所を機械で読み取りやすいバーコードの形に変えて印字したものです。カスタマバーコードの表示例を次に示します。



可変記号

条件式中の条件値、またはSQLの?パラメタ値に指定する「&」で始まる文字列です。条件値、または?パラメタ値の代わりに可変記号を指定して、実行時に実行値を入力します。

キー集計

データの集計を、キー単位で実行する方法です。

キーブレイク

キーに設定しているデータの内容が切り替わることです。

基準レコード

繰り返しをするときに基準となる、マッピングデータのレコードの位置およびレコード数です。

基準レコード位置

印刷の対象とするレコードの開始位置です。基準レコード位置を設定して必要なデータを貼り付けたあとにデータを繰り返すと、基準レコードより下のフィールドのデータが自動的に貼り付けられます。

基準レコード幅

繰り返しの基準となるレコード数です。複数のレコードを一つの入力レコードとして扱いたいときに設定します。

繰り返し

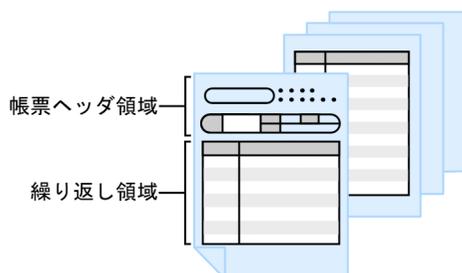
準備した 1 レコード分のデータ、罫線、網掛けなどを選択し、残りのデータを繰り返して自動的に表を作成する機能です。

繰り返し下限位置

繰り返しができる限界の位置です。集計行編集モードで編集できます。

繰り返し領域

帳票ヘッダ領域より下の部分のことです。



グリッド

データウィンドウからデータを帳票に貼り付けたり、罫線を設定したりするときのレイアウトの目安として表示する格子線です。

グリッド補正

アイテムを新規に配置したり、位置や大きさを変更したりしたときに、配置する位置や大きさをグリッドのサイズに合わせて変更することです。

光学式読み取り装置

手書きされた文字、または印刷された文字を光学的に読み取り、読み込んだ文字データをテキストデータに変換する装置です。OCR ともいいます。

固定画像

画像ファイルから直接貼り付けた画像のことです。

固定文字列

帳票ファイルの貼付域に、直接入力した文字列です。固定文字列は、帳票上だけの文字列で、データとはリンクしていません。固定文字列は、帳票が複数ページにわたる場合でも同じ位置に表示されます。また、固定文字列は、繰り返しの対象に指定できます。

(サ行)

最終ページ

すべてのデータが出力された最終のページです。または、帳票が単様式か複数様式かによって次のとおり意味が異なります。

- 単様式の帳票の場合
すべてのデータが出力された最終のページ、または [レポートのプロパティ] ダイアログの [レポートの構成] タブにある [先頭・最終ページの範囲] グループボックスで定義した範囲の最終のページです。集計ページがある場合は、集計ページの一つ前のページが最終ページです。 [先頭・最終ページの範囲] グループボックスは、 [レポートのプロパティ] ダイアログの [レポートの構成] タブにあります。
- 複数様式の帳票の場合
すべてのデータが出力された最終のページ、または複数様式情報定義ファイルのキーワード `resetpagenumber` の設定によってページ番号を初期化したページの一つ前のページです。

サブウィンドウ

帳票ごとに一つのレポート編集ウィンドウが表示されます。レポート編集ウィンドウには、帳票ウィンドウ、マッピングデータウィンドウ、およびユーザ定義データウィンドウの三つが表示されます。この三つのウィンドウを「サブウィンドウ」といいます。

サブ様式グループ

様式グループの中に定義された様式グループのことです。サブ様式グループを定義すると、様式グループのデータを細かく切り分けて、それぞれ異なるフォーマットの帳票に出力できます。

サンプルデータ

データをまだ準備できない状態で、先に帳票を設計しておきたいときに使用できるデータです。

指数

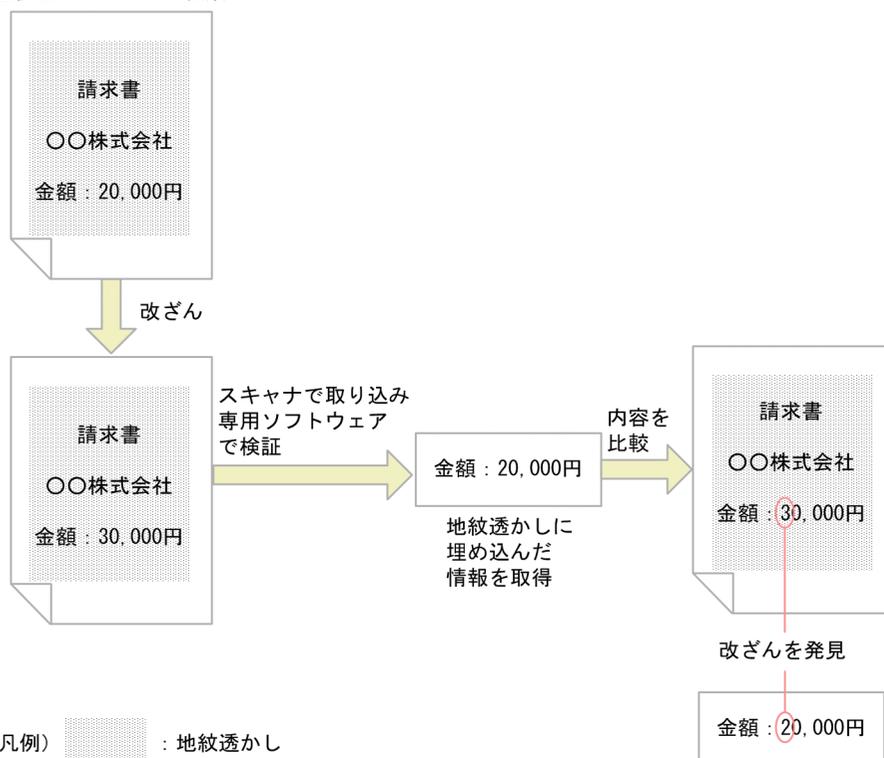
指数表示は、数値の右肩に付記して、累乗を示します。例えば、1,800 は $1.8^E + 3$ 、150 は $1.5^E + 2$ 、0.02 は $2^E - 2$ の表示に変わります。

地紋透かし

PDF 文書の余白部分に細かいドットパターンを描画して、紙面全体に、文書の交付者や交付日次、交付内容などの任意の情報を埋め込む技術です。印刷した文書をスキャナで読み込み、専用の検証ソフトウェアを利用すると、埋め込まれた情報を抽出できます。埋め込まれた情報と印刷された文書と比較することで、文書が偽造・改ざんされていないかを検証できます。

地紋透かしを指定した帳票の例を次に示します。

地紋透かしが入った帳票



集計

フィールドごとの数値データの集計です。集計内容は、合計、平均、最大、最小および件数から選択できます。

集計方法には、キー集計、総集計、ページ集計、帳票ヘッダ集計の四つの方法があります。

集計アイテム

集計結果を表示するアイテムです。

集計行

[集計]メニューから[キー集計]、または[総集計]を実行することで、新しく挿入される行のことです。集計行には、集計アイテムのほか、固定文字列、線、網掛けアイテムなどを自由に配置できます。集計行は、[集計]メニューの[集計行の編集]で操作します。

集計行だけのページを作成したり、編集したりすることもできます。

条件

データを抽出するときに指定すると、データを絞り込んだり、列データを結合したりできます。条件には、比較条件 (=, <, >, >=, <=), NULL 条件, IN 条件, LIKE 条件, BETWEEN 条件, 列演算条件, および表結合条件があります。

条件付きアイテム

条件を満たす項目だけを表示するように、表示条件を設定したアイテムのことです。

仕分け

プリンタや PDF 形式ファイルごとに、帳票のデータを分類して出力することです。

仕分け印刷

帳票のデータを配布先のプリンタごとに分類して出力することです。

仕分け出力

帳票のデータを複数の PDF 形式ファイルに分類して出力することです。

スタートコードバー / ストップコードバー (ITF バルコード)

ITF バルコードのスタートコードバー / ストップコードバーを次に示します。



スタートコードバー ストップコードバー

スタートコードバー / ストップコードバーは、2 進法記号で表され、スタートコードバーは「0000」、ストップコードバーは「100」の固定です。

スプールファイル

印刷を実行するとき、ユーザのハードディスク、またはネットワークプリンタが接続されているコンピュータのハードディスクに生成される、一時的なファイルです。

静的モード

固定ピッチフォントを出力するときの文字幅の計算方法のうちの一つで、フォントの文字幅を固定値として計算する方法のことです。

先頭ページ

すべてのデータが出力された最初のページです。または、帳票が単様式か複数様式かによって次のとおり意味が異なります。

- 単様式の帳票の場合
すべてのデータが出力された最初のページ、または [レポートのプロパティ] ダイアログの [レポートの構成] タブにある [先頭・最終ページの範囲] グループボックスで定義した範囲の最初のページです。 [先頭・最終ページの範囲] グループボックスは、 [レポートのプロパティ] ダイアログの [レポートの構成] タブにあります。
- 複数様式の帳票の場合
すべてのデータが出力された最初のページ、または複数様式情報定義ファイルのキーワード `resetpagenumber` の設定によってページ番号を初期化したページです。

総集計

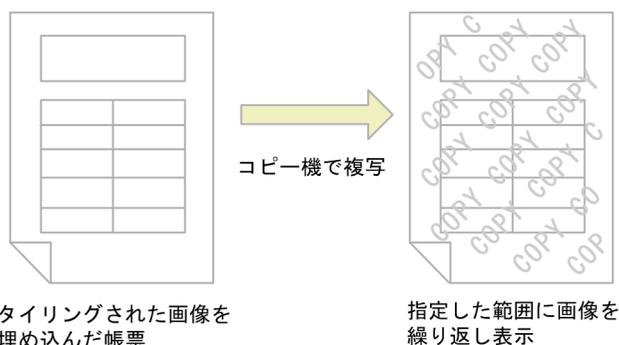
データの集計を、入力データが終了した時点で実行する方法です。

(タ行)

タイリング

画像の表示方法の一つで、同じ画像を繰り返し並べて表示することをいいます。EUR では、帳票の複写を検知する方法として、帳票内にタイリングされた画像を埋め込むことができます。その場合、帳票をコピーすると、指定した範囲全体に複写検知用の画像が繰り返し表示されるため、帳票の不正な複写を防止できます。

タイリングされた画像を埋め込んだ帳票の例を次に示します。



多階層の集計

キー集計を複数のフィールドに設定することです。多階層の集計では、キーフィールドの値がブレイクするごとに集計行が追加されます。

チェックキャラクタ

JIS では「モジュラチェックキャラクタ」ですが、EUR では「チェックキャラクタ」と表記します。

チェックキャラクタは、次に示すバーコード表示の 印で囲んだ部分を指します。表示例は、CODE39 バーコードです。



チェックキャラクタは、バーコードの読み取りの正確性を保つために、ある計算方法に基づいて求めた値を表すキャラクタです。EUR では、[オプション] ダイアログ、または [アイテムのプロパティ] ダイアログで付加指定することで、指定されたデータからチェックキャラクタを求めて表示します。

EUR で表示できるバーコードのうち、次に示すバーコードに付加指定ができます。

JAN 標準 / JAN 短縮バーコード	半角数字
ITF バーコード	半角数字

CODE39 バーコード	半角英字
NW-7 バーコード	半角数字・\$:/./+

CODE128 バーコードは、EUR で固定表示します。QR コードとカスタマバーコードには、チェックキャラクタを指定できません。

帳票出力

EUR 帳票作成機能で設計した帳票を印刷したり、ファイルに出力したりすることです。帳票を設計した環境、クライアント環境、およびサーバ環境でできます。

帳票設計

データを利用して帳票の内容を決定したり、帳票のレイアウトを決定したりするなど、帳票の作成にかかわる作業全般を帳票設計といいます。

帳票セット

帳票ファイルとデータファイル（マッピングデータファイル、またはユーザ定義データファイル）を一まとまりにしたものです。データベースからデータを抽出する場合は、データファイルの代わりに可変記号値定義ファイルを一まとまりにします。

帳票定義

アイテムを配置したり、データを貼り付けたりなど、帳票ウィンドウで帳票のレイアウトを作成することを帳票定義といいます。また、帳票ファイルに定義されている内容を出力した CSV 形式ファイル（帳票定義情報ファイル）を編集することも帳票定義といいます。

帳票ファイル

EUR では、レポートファイル（*.agr）とフォームシートファイル（*.fms）を総称して「帳票ファイル」といいます。

帳票ヘッダアイテム

帳票ヘッダ領域に貼り付けられたアイテムのことです。表紙ページだけに表示されるアイテムなので、編集操作は、表紙ページでしかできません。

帳票ヘッダ区切り線

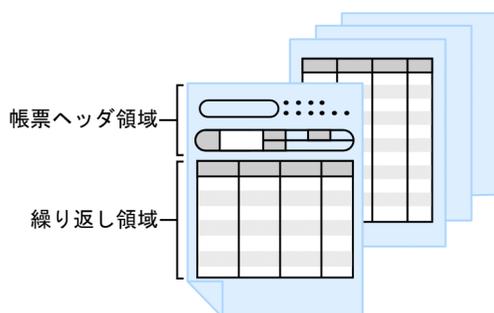
帳票ヘッダ領域と繰り返し領域を分ける線です。

帳票ヘッダ集計

データの集計を、帳票ヘッダ単位で実行する方法です。

帳票ヘッダ領域

表紙にだけ表示されるデータを配置した領域です。表紙には、帳票のタイトルや会社名・住所、データの集計結果など、表紙に表示する内容と、繰り返しで作成する表の一部を表示し、次紙には表の続きだけを表示するようことができます。表紙ページの貼付域の上端から、任意の範囲を帳票ヘッダ領域として確保できます。帳票ヘッダ領域には、帳票ヘッダアイテムを作成できます。



ディクショナリファイル

UNIX 版 EUR 旧製品で設計された帳票の入力データの形式（マッピングデータやユーザ定義データの各項目の属性など）を定義しているファイルです。

訂正レベル

QR コードに損傷が発生した場合、損傷の度合いに応じてデータの復元能力を設定しておくものです。

データキャラクタ

バーコード表示の 印で囲んだ部分のことです（表示例は CODE39 バーコード）。



バーコードの種類によって、次のように表示されます。

- JAN 標準 / JAN 短縮バーコードおよび ITF バーコードの場合
固定表示されます。
- CODE39 バーコード、NW-7 バーコード、および CODE128 バーコードの場合
属性の設定で、「データキャラクタを表示する」を設定したときに表示されます。
- カスタマバーコードおよび QR コードの場合
表示できません。

データキャラクタは、ほかのアプリケーションプログラムでは「ヒューマン文字」、「ヒューマンリーダブルキャラクタ」などと呼ばれています。

データファイル

帳票を設計するための表形式のデータです。データウィンドウへ入力し、このデータウィンドウから印刷に必要なフィールドをドラッグアンドドロップで帳票ファイルに貼り付けて設計します。データファイルは、「CSV 形式および DAT 形式」と「FIX 形式」が使用できます。

動的モード

固定ピッチフォントを出力するときの文字幅の計算方法のうちの一つで、プロポーショナルフォントを出力するときと同じ計算をする方法のことです。

特殊編集行

データ中に特殊編集レベルを設定した行のことです。

特殊編集レベル

繰り返されたデータの特定の行を編集したい場合に付ける分類用のレベルのことです。読み込んだデータがすでに集計データを持っている、またはデータファイルのレコードに対して任意の編集をしたい場合、あらかじめ編集エディタ（メモ帳など）で特殊編集レベルを設定します。このデータを読み込むことによって、帳票上に繰り返されたデータの任意のレコードを集計行編集モードで編集できます。

特殊編集レベルデータ

特殊編集レベルを記述したデータです。

(八行)

貼付域

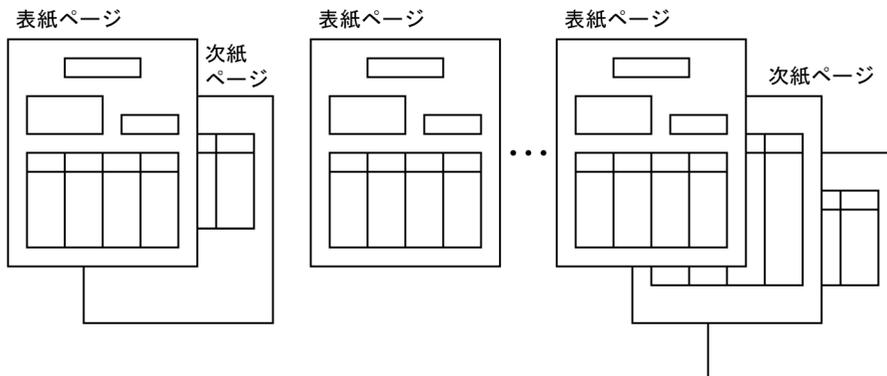
帳票を設計する作業領域で、余白の内側部分を指します。

ビューアプレファレンス

出力した PDF 形式ファイルを Adobe Reader で開いたときに、Adobe Reader の GUI を制御するための設定です。

表紙ページ、次紙ページ

1 ページ目と 2 ページ目以降のページの帳票様式が異なる場合、1 ページ目のページを「表紙ページ」、2 ページ目以降のページを「次紙（つぎし）ページ」といいます。



フィールド

データウィンドウ上で縦方向（列）のデータのまとまりをいいます。共通する属性のデータの集まりです。

フォームシート

設計した帳票で使用しているデータ、データを貼り付ける位置、罫線などの情報を保存したオブジェクトです。

フォームシートファイル形式

設計した帳票を、保存する場合のファイル形式です。

複数様式

複数の異なる様式（帳票）を一つの帳票として扱うことです。複数の様式・出力用データを組み合わせた帳票も複数様式の帳票です。

ブロック

ブロックとは、1 ページ中の一つの表を指します。この表が縦横方向に繰り返して設計された帳票の場合、ブロックには入力するレコードを順番に配置して印刷します。

ページ

「繰り返し」機能によって、作成された用紙の単位です。用意するデータ量によって、ページ数は異なります。

ページ集計

1 ページに出力されるデータ単位で集計する方法です。

（マ行）

マッピングデータ

データウィンドウから取り込んだデータです。マッピングデータには、文字列データ、数値データ、日付データ、画像データおよびバーコードデータがあり、データにリンクしています。マッピングデータは、繰り返しの対象に指定できます。ただし、ユーザ定義データウィンドウから貼り付けたマッピングデータは、同じデータを繰り返します。

まとめ表示

同じフィールド中で同じ内容のデータが連続している場合、連続する同じデータを個々に表示しないで、それらをまとめて表示することです。まとめ表示では、階層ありまたは階層なしが選択できます。

年度、支店、性別の順に、選択したまとめ表示の例を次に示します。

年度	支店	性別	売上げ
96	A	男	12
96	A	男	30
96	A	女	35
96	B	女	25
96	B	男	20
96	C	男	15
96	C	男	40

階層ありのまとめ表示

階層なしのまとめ表示

年度	支店	性別	売上げ
96	A	男	12
			30
		女	35
	B	女	25
		男	20
	C	男	15
			40

年度	支店	性別	売上げ
96	A	男	12
			30
		女	35
	B	女	25
		男	20
	C	男	15
			40

見出し辞書

データベースから抽出する表や列に対して、ユーザが付けた表名や列名を登録する辞書のことです。

見出し情報

見出し辞書に登録される情報です。

メインウィンドウ

EUR を起動すると開くウィンドウです。レポート編集ウィンドウと呼ぶこともあります。

EUR のメインウィンドウ（レポート編集ウィンドウ）のタイトルバーには、「Hitachi Report - 帳票ファイル名」と表示されます。

（ヤ行）

用紙

帳票を設計する用紙です。

帳票を設計する画面上で、帳票のレイアウトのイメージを表示した領域も用紙といえます。

様式グループ

同じ様式で出力するデータのまとまりのことです。

(ラ行)

レコード

データウィンドウ上での横方向（行）のデータをいいます。レコードには、1 から順にレコード番号が付きます。

列属性

データベースに定義されている列の属性です。

レポート印刷ウィンドウ

EUR のウィンドウのうちの一つです。印刷指示やプリンタの選択をメニューから設定できます。帳票の編集をしたり、ほかの帳票を開いたりできません。

レポート確認ウィンドウ

EUR のウィンドウのうちの一つです。印刷指示やプリンタの選択をメニューから設定できます。ほかの帳票を開いたり、印刷したりできます。帳票の編集はできません。

レポートファイル形式

設計した帳票を、保存する場合のファイル形式です。レポートファイル形式は、帳票の定義情報、入力したデータなど、フォームシートに表示されているすべてをそのままの状態で保存する場合と、帳票の定義情報だけを保存する場合があります。

なお、EUR Professional Edition のバージョン 05-00 以降、EUR Designer および EUR Developer のバージョン 08-00 以降は、レポートファイル形式での保存はできません。

レポートファイル形式は、英語ロケール、中国語ロケールでは使用できません。

ログ採取

エラーが発生したときに出力されたログファイルを保存することです。

索引

A

- Acrobat JavaScript ファイル〔用語解説〕 84
- ActiveX〔EUR Print Manager のインターフェイス〕 74
- ActiveX〔EUR サーバ帳票出力機能のインターフェイス〕 73

C

- COBOL〔EUR Print Manager のインターフェイス〕 74
- CODE128 バーコード〔用語解説〕 84
- CODE39 バーコード〔用語解説〕 84

D

- DLL 関数〔EUR クライアント帳票出力機能のインターフェイス〕 72

E

- EUR 2
- EUR Designer〔製品紹介〕 62
- EUR Designer でのシステム構成 4
- EUR Designer の適用 OS 14
- EUR Developer〔製品紹介〕 63
- EUR Developer でのシステム構成 13
- EUR Developer の適用 OS 14
- eurer コマンド〔用語解説〕 84
- EUR Print Manager - Report Server の適用 OS 15
- EUR Print Manager〔製品紹介〕 65
- EUR Print Manager でのシステム構成 10
- EUR Print Manager の適用 OS 14
- EUR Print Service, または EUR Print Service Enterprise でのシステム構成 6
- EUR Print Service - Cipher option〔製品紹介〕 65
- EUR Print Service - Cipher option の適用 OS 14
- EUR Print Service〔製品紹介〕 64

- EUR Print Service Enterprise〔製品紹介〕 65
- EUR Print Service Enterprise の適用 OS 14
- EUR Print Service の適用 OS 14
- EUR Viewer〔製品紹介〕 64
- EUR Viewer でのシステム構成 5
- EUR Viewer の適用 OS 14
- EUR クライアント帳票出力機能 (EUR Designer) 62
- EUR クライアント帳票出力機能 (EUR Viewer) 64
- EUR クライアント帳票出力機能〔用語解説〕 84
- EUR 形式ファイル 49
- EUR 形式ファイル〔用語解説〕 84
- EUR サーバ帳票出力機能 (EUR Print Service) 64
- EUR サーバ帳票出力機能 (EUR Print Service Enterprise) 65
- EUR サーバ帳票出力機能〔用語解説〕 85
- EUR 帳票作成機能 62
- EUR 帳票作成機能〔用語解説〕 85
- EUR の特長 33
- EUR バージョン 8 の新機能 21

G

- GS1-128 (UCC/EAN-128) バーコード〔用語解説〕 85

I

- ITF バーコード〔用語解説〕 85

J

- JAN 短縮バーコード〔用語解説〕 85
- JAN 標準バーコード〔用語解説〕 85
- Java〔EUR Print Manager のインターフェイス〕 74
- JavaBeans〔EUR サーバ帳票出力機能のインターフェイス〕 73

N

NW-7 バーコード〔用語解説〕 86

O

OCX〔EUR クライアント帳票出力機能のインターフェース〕 72

OLE オートメーション〔EUR クライアント帳票出力機能のインターフェース〕 72

P

PDF 形式ファイルの暗号化仕分け出力 44

PDF 形式ファイルの仕分け出力 44

PDF に出力した帳票を配布できる (PDF 形式ファイルの利用) 48

Adobe Reader の画面の制御 49

PDL ファイル〔用語解説〕 86

Q

QR コード〔用語解説〕 86

S

SQL〔用語解説〕 86

T

TWAIN〔用語解説〕 86

W

Web 環境で帳票を出力するときの特長 48

PDF に出力した帳票を配布できる
(PDF 形式ファイルの利用) 48

Web 環境で伝票を印刷できる (EUR
形式ファイルの利用) 49

Web 上で帳票をダウンロードして印
刷できる 51

環境に応じた柔軟なサーバ構成にでき
る 53

帳票を検索したり再印刷したりできる
53

Web 環境で伝票を印刷できる (EUR 形式
ファイルの利用) 49

精密な伝票の印刷 51

プレビュー画面の表示・非表示を指定
51

問題発生時のログ採取機能 (Web 環
境での印刷) 51

Windows 標準外字ファイル〔用語解説〕 86

あ

アイテム〔用語解説〕 87

網掛けアイテム〔用語解説〕 87

暗号化 44

い

印刷時刻アイテム〔用語解説〕 87

印刷日付アイテム〔用語解説〕 87

インターフェース 72

え

英語, 中国語, 日本語の多国語に対応できる
58

円アイテム〔用語解説〕 87

か

開発環境 62

改ブロック〔用語解説〕 88

改ページ〔用語解説〕 88

各製品で使用できる機能 67

カスタマバーコード〔用語解説〕 88

仮想アイテム〔用語解説〕 88

画像アイテム〔用語解説〕 87

角丸四角アイテム〔用語解説〕 87

可変記号〔用語解説〕 88

環境に応じた柔軟なサーバ構成にできる 53

アプリケーションサーバと帳票サーバ
の切り離し 53

印刷リクエストの並列処理を制御 53

簡単に帳票を設計できる 34

帳票を素早く作成できる 35

データベースを利用できる 34

データを自動でレイアウトできる 36

データを表形式で表示できる 34

- ドラッグアンドドロップでデータを配置できる 34
- 任意の位置にアイテムを配置できる 35
- 任意の書式が指定できる 37
- プロパティでデータを簡単に修飾できる 37
- 文字フォントを自動でリサイズできる 36

関連プログラム 15

き

- キー集計〔用語解説〕 88
- キーブレイク〔用語解説〕 88
- 基準レコード〔用語解説〕 89
- 基準レコード位置〔用語解説〕 89
- 基準レコード幅〔用語解説〕 89
- 既存の資産を活用できる 38
 - Word/Excel 文書の変換 38
 - 帳票定義情報の入出力 40
 - 複数アイテムの部品化 39

く

- 繰り返し〔用語解説〕 89
- 繰り返し下限位置〔用語解説〕 89
- 繰り返し領域〔用語解説〕 89
- グリッド〔用語解説〕 89
- グリッド補正〔用語解説〕 89

こ

- 光学式読み取り装置〔用語解説〕 89
- 固定画像〔用語解説〕 89
- 固定文字列〔用語解説〕 89
- コマンド〔EUR Print Manager のインターフェース〕 74
- コマンド〔EUR クライアント帳票出力機能のインターフェース〕 72
- コマンド〔EUR サーバ帳票出力機能のインターフェース〕 73

さ

- サーバで PDF 形式ファイルを出力できる 43
 - PDF 形式ファイルの仕分け出力 44
- サーバで大量に印刷できる 41
 - 複数の様式をまとめて印刷できる 42
- 最終ページ〔用語解説〕 90
- サブウィンドウ〔用語解説〕 90
- サブ様式グループ〔用語解説〕 90
- サンプルデータ〔用語解説〕 90

し

- 指数〔用語解説〕 90
- システム構成 4
 - EUR Designer でのシステム構成 4
 - EUR Developer でのシステム構成 13
 - EUR Print Manager でのシステム構成 10
 - EUR Print Service , または EUR Print Service Enterprise でのシステム構成 6
 - EUR Viewer でのシステム構成 5
- 実アイテム〔用語解説〕 88
- 実行環境 64
- 地紋透かし〔用語解説〕 91
- 集計〔用語解説〕 91
- 集計アイテム〔用語解説〕 91
- 集計行〔用語解説〕 91
- 条件〔用語解説〕 92
- 条件付きアイテム〔用語解説〕 92
- 使用できる機能 67
- 仕分け〔用語解説〕 92
- 仕分け印刷〔用語解説〕 92
- 仕分け出力〔用語解説〕 92

す

- 図形アイテム〔用語解説〕 87
- スタートコードバー (ITF バーコード)〔用語解説〕 92
- ストップコードバー (ITF バーコード)〔用語解説〕 92
- スプールファイル〔用語解説〕 92

せ

静的モード〔用語解説〕 92
 製品紹介 61
 製品体系 3
 線アイテム〔用語解説〕 87
 先頭ページ〔用語解説〕 92

そ

総集計〔用語解説〕 93

た

タイリング〔用語解説〕 93
 楕円アイテム〔用語解説〕 87
 多階層の集計〔用語解説〕 93
 多角形アイテム〔用語解説〕 87

ち

チェックキャラクタ〔用語解説〕 93
 帳票出力〔用語解説〕 94
 帳票設計〔用語解説〕 94
 帳票セット〔用語解説〕 94
 帳票定義〔用語解説〕 94
 帳票ファイル〔用語解説〕 94
 帳票ヘッダアイテム〔用語解説〕 94
 帳票ヘッダ区切り線〔用語解説〕 94
 帳票ヘッダ集計〔用語解説〕 94
 帳票ヘッダ領域〔用語解説〕 94
 帳票を Excel 形式ファイルに出力できる 44
 帳票を海外拠点で活用するときの特長 58
 英語, 中国語, 日本語の多国語に対応
 できる 58
 帳票を検索したり再印刷したりできる 53
 蓄積した帳票を GUI 画面で操作 55
 ネットワーク負荷の軽減 55
 プリンタスプールの負荷を軽減 55
 帳票をサーバ環境, またはクライアント環境
 で出力するときの特長 41
 サーバで PDF 形式ファイルを出力で
 きる 43
 サーバで大量に印刷できる 41

帳票を Excel 形式ファイルに出力でき
 る 44

帳票を配布してクライアント環境で印
 刷できる 46

帳票を設計するときの特長 34

簡単に帳票を設計できる 34

帳票を配布してクライアント環境で印刷でき
 る 46

帳票の改ざん防止 47

問題発生時のログ採取機能 47

帳票を分散した拠点に配布して印刷できる
 56

拠点サーバでの印刷 56

クライアント PC での印刷 57

つ

次紙ページ〔用語解説〕 96

て

ディクショナリファイル〔用語解説〕 95

訂正レベル〔用語解説〕 95

データキャラクタ〔用語解説〕 95

データファイル〔用語解説〕 95

適用 OS 14

EUR Designer の適用 OS 14

EUR Developer の適用 OS 14

EUR Print Manager - Report Server
 の適用 OS 15

EUR Print Manager の適用 OS 14

EUR Print Service - Cipher option の
 適用 OS 14

EUR Print Service Enterprise の適用
 OS 14

EUR Print Service の適用 OS 14

EUR Viewer の適用 OS 14

と

動的モード〔用語解説〕 95

特殊編集行〔用語解説〕 95

特殊編集レベル〔用語解説〕 96

特殊編集レベルデータ〔用語解説〕 96

は

バーコードアイテム〔用語解説〕 87
貼付域〔用語解説〕 96

ひ

ビューアプレファレンス〔用語解説〕 96
表紙ページ〔用語解説〕 96

ふ

フィールド〔用語解説〕 96
フォームシート〔用語解説〕 96
フォームシートファイル形式〔用語解説〕 96
複数様式〔用語解説〕 97
複数様式での帳票出力 42
ブロック〔用語解説〕 97
分散環境で帳票を出力するときの特長 56
 帳票を分散した拠点に配布して印刷で
 きる 56

へ

ページ〔用語解説〕 97
ページ集計〔用語解説〕 97
ページ番号アイテム〔用語解説〕 87

ま

マッピングデータ〔用語解説〕 97
まとめ表示〔用語解説〕 97

み

見出し辞書〔用語解説〕 98
見出し情報〔用語解説〕 98

め

メインウィンドウ〔用語解説〕 98

も

文字アイテム〔用語解説〕 87

よ

用紙〔用語解説〕 98
様式グループ〔用語解説〕 98

れ

レコード〔用語解説〕 99
列属性〔用語解説〕 99
レポート印刷ウィンドウ〔用語解説〕 99
レポート確認ウィンドウ〔用語解説〕 99
レポートファイル形式〔用語解説〕 99

ろ

ログ採取〔用語解説〕 99